
玉野市 若者の意識と生活に関する
アンケート調査 報告書

令和 7（2025）年 9 月
岡山県 玉野市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
1 性別	3
2 年齢	3
3 居住歴	4
4 世帯構成	5
5 同居家族	6
6 職業	8
III 調査結果	9
【1】結婚の考え方について	9
1 未既婚	9
2 交際中のパートナーの有無	10
3 結婚の予定	11
4 結婚に消極的な理由	12
5 結婚する要件	14
6 結婚相手を決める際に重視する点	16
7 結婚を希望する人に対して力を入れるべき支援	18
【2】仕事と子育てについて	20
1 就労状況	20
2 一日の平均労働時間	21
3 子育てをする人の働きやすさ	22
4 働きやすいと思う理由	23
5 働きやすいと思わない理由	25
6 子育てしながら働きやすい社会環境をつくるために必要なこと	27
【3】子どものことについて	29
1 子どもの有無	29
2 子育てのしやすさ	30
3 子育てしやすいまちにするために必要な支援	31
【4】暮らしの状況について	33
1 関心のある情報の入手方法	33
2 居心地の良い場所（ほっとできる場所）	35
3 居心地の良い場所の要件	37
4 外出頻度	39
5 ほとんど外出しない理由	40
6 孤立感	41
7 将来に不安を感じる事	43
8 不安や悩みがあるときの相談相手	45

9 ヤングケアラーの認知状況-----	47
10 自身のヤングケアラー該当状況-----	48
【5】少子化について-----	49
1 低い出生率への危機感の程度-----	49
2 人口減少に対して力を入れるべき取組-----	50
【6】行政の取組について-----	52
1 まちづくりにおいて関心があること-----	52
2 暮らしやすさ-----	55
3 永住意向-----	57
4 幸福度-----	59
資料 調査票-----	61

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は「玉野市こども・若者計画」の策定にあたり、17歳～39歳の市民に対し、ふだんの生活状況や意見、要望等を把握し、施策を検討する上での基礎資料とすることを目的として実施した。

【調査設計】

調査地域：玉野市全域

調査対象：17歳～39歳の市民

調査方法：郵送配布、インターネットによる回答

調査時期：令和7（2025）年7月

【回答結果】

配布数 ----- 2,360 件

有効回答数 ----- 335 件

有効回答率 ----- 14.2%

【地区別回答結果】（問1回答結果より）

	件数(件)	構成比(%)
田井地区	64	19.1
築港地区	24	7.2
宇野地区	30	9.0
玉・奥玉地区	18	5.4
玉原地区	10	3.0
和田地区	17	5.1
日比・渋川地区	13	3.9
荘内地区	96	28.7
八浜・大崎地区	36	10.7
後閑・山田地区	13	3.9
東児地区	14	4.2
合 計	335	100.0

【報告書の見方について】

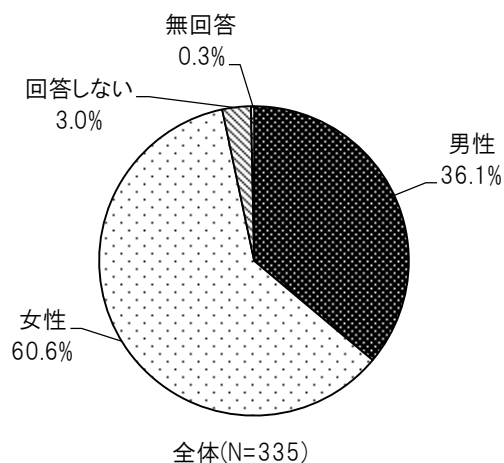
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における性別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、性別でクロス集計する場合における性別の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数(n)の合計と全体の基数(N)は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) 上記のほか、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

Ⅱ 回答者の属性

1 性別

問2 あなたの性別をお答えください。（回答は1つ）

回答者の性別については、「男性」が36.1%、「女性」が60.6%と、女性の割合が男性を上回っている。

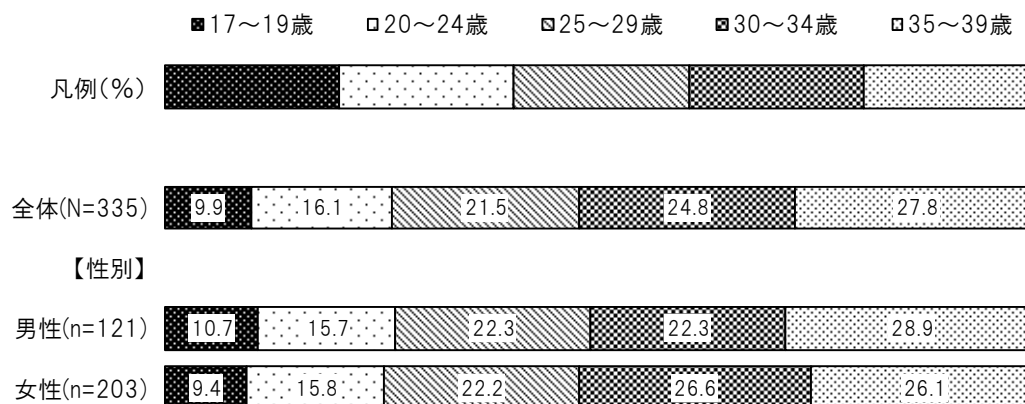


2 年齢

問3 あなたの年齢をお答えください。（回答は1つ）

年齢構成については、「35～39歳」の割合が27.8%と最も高く、次いで「30～34歳」（24.8%）、「25～29歳」（21.5%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「30～34歳」の割合がやや高くなっている。



3 居住歴

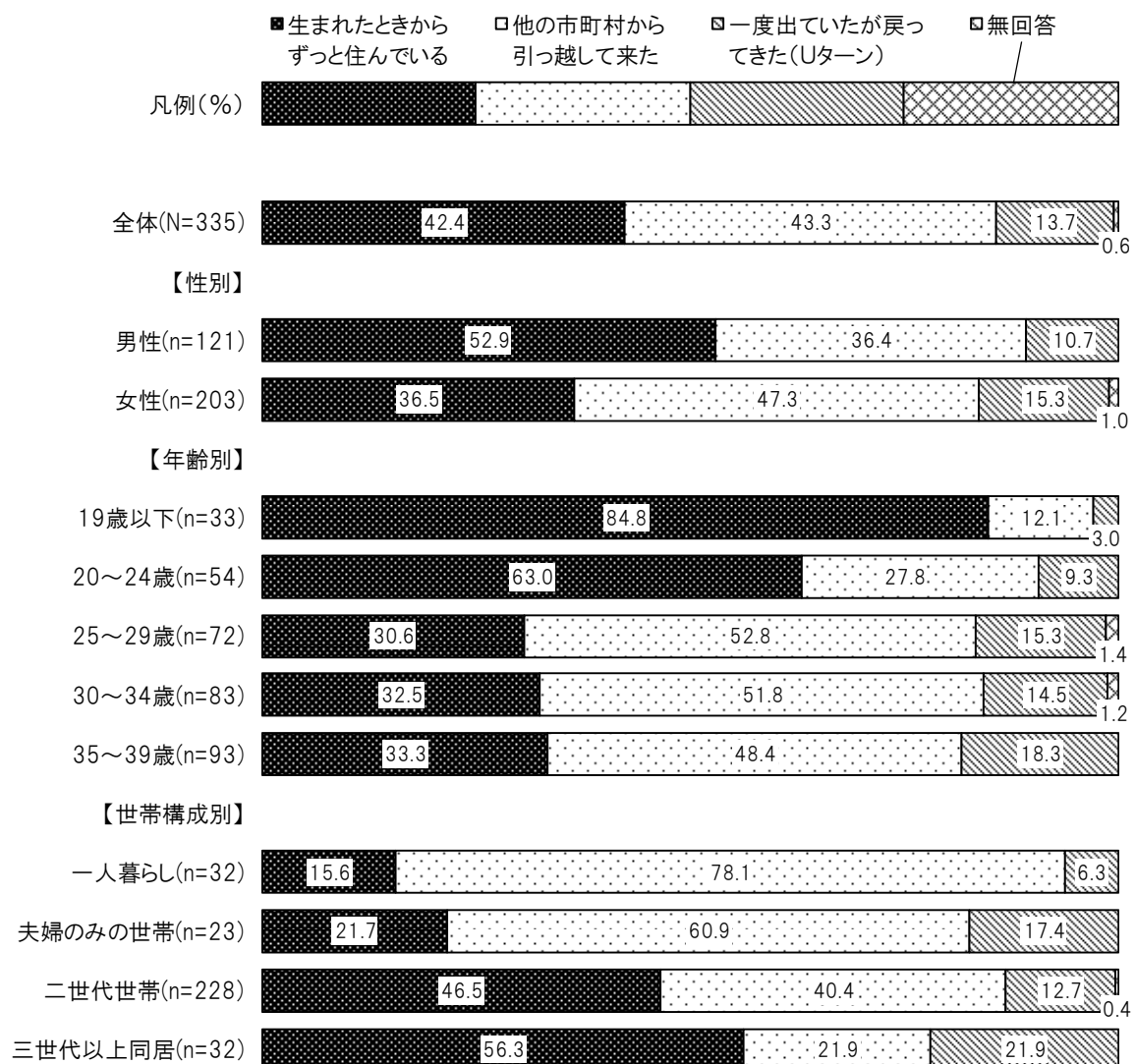
問4 あなたは、生まれたときからずっと玉野市に住んでいますか。（回答は1つ）

居住歴については、「生まれたときからずっと住んでいる」（42.4%）と「他の市町村から引っ越して来た」（43.3%）がほぼ同割合となっており、「一度出ていたが戻ってきた（Uターン）」は13.7%となっている。

性別では、男性は「生まれたときからずっと住んでいる」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「他の市町村から引っ越して来た」「一度出ていたが戻ってきた（Uターン）」の割合が高くなっている。

年齢別では、24歳以下で「生まれたときからずっと住んでいる」、25～39歳で「他の市町村から引っ越して来た」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

世帯構成別では、一人暮らしの約8割（78.1%）、夫婦のみの世帯の6割（60.9%）が「他の市町村から引っ越して来た」と回答している。



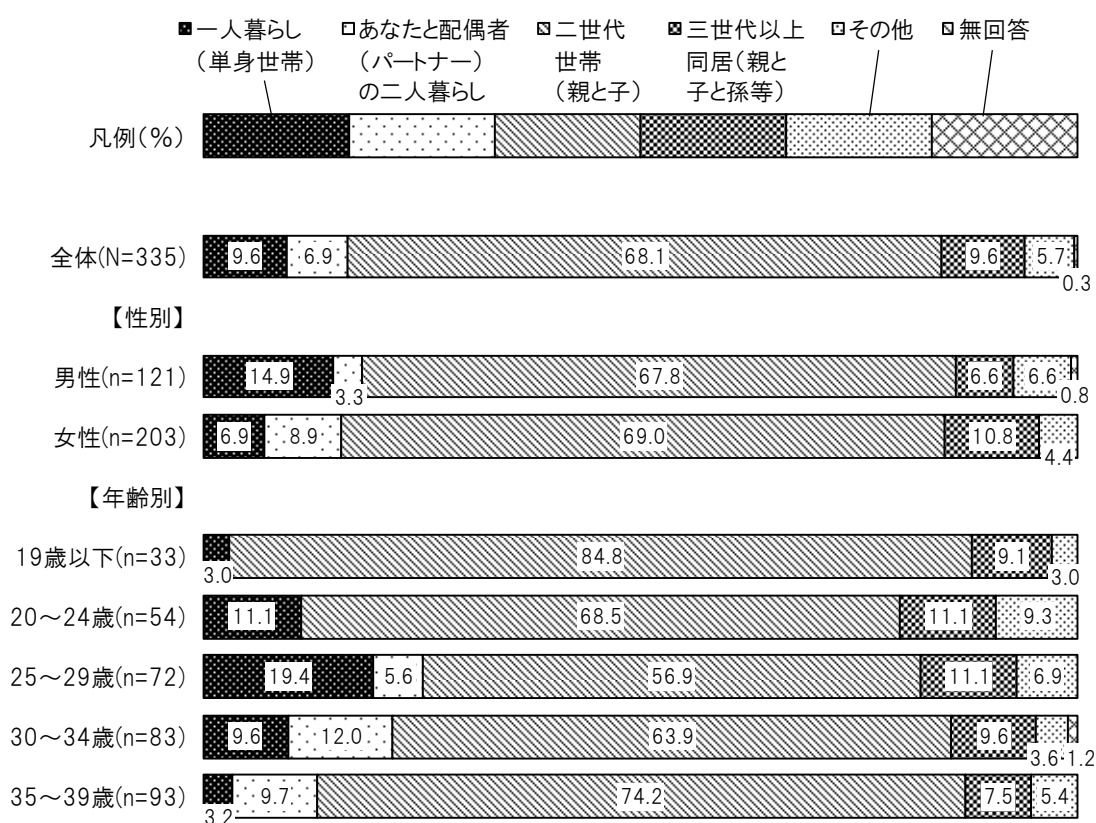
4 世帯構成

問5 あなたの同居家族の構成をお答えください。（回答は1つ）

世帯構成については、「二世帯世帯（親と子）」の割合が68.1%と最も高く、次いで「一人暮らし（単身世帯）」「三世帯以上同居（親と子と孫等）」（各9.6%）、「あなたと配偶者（パートナー）の二人暮らし」（6.9%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「一人暮らし（単身世帯）」の割合が高く、女性は「あなたと配偶者（パートナー）の二人暮らし」「三世帯以上同居（親と子と孫等）」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、19歳以下で「二世帯世帯（親と子）」、25～29歳で「一人暮らし（単身世帯）」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



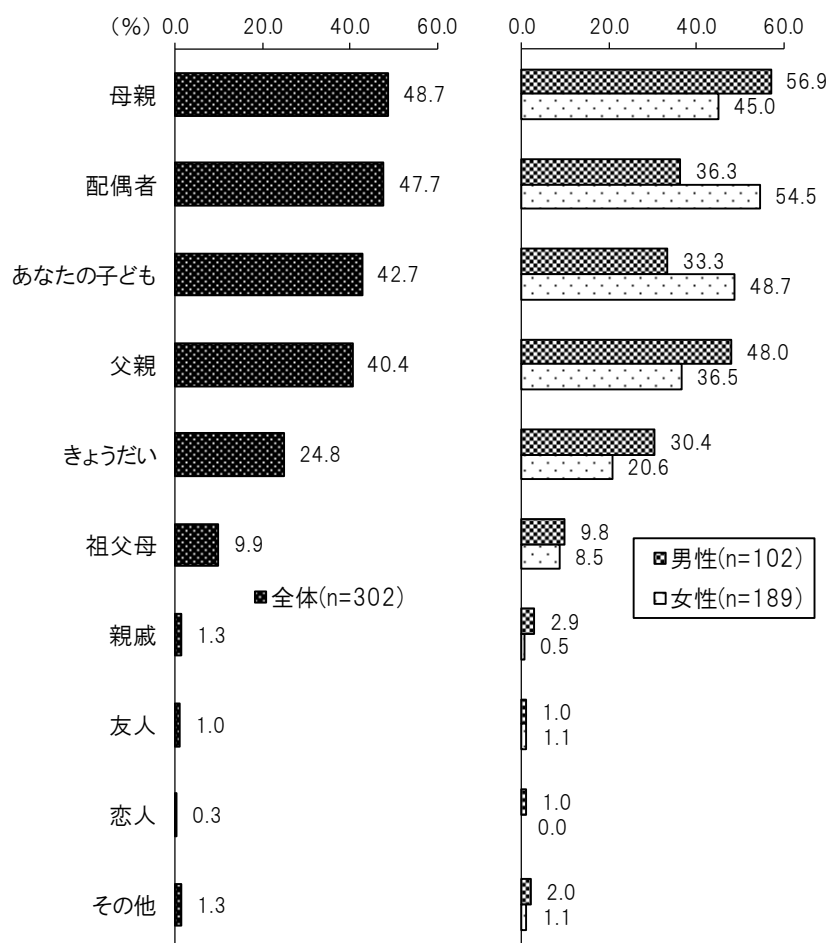
5 同居家族

【問5で「2～5（一人暮らし以外）」と回答した方におたずねします。】

問6 現在、あなたと同居している方をお答えください。（回答はあてはまるもの全て）

同居家族については、「母親」の割合が48.7%と最も高く、次いで「配偶者」（47.7%）、「あなたの子ども」（42.7%）、「父親」（40.4%）、「きょうだい」（24.8%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「母親」「父親」「きょうだい」の割合が高く、女性は「配偶者」「あなたの子ども」の割合が男性を上回っている。



年齢別では、19歳以下で「母親」「父親」「きょうだい」、30～39歳で「配偶者」「あなたの子ども」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	母親	配偶者	あなたの子ども	父親	きょうだい	祖父母	親戚	友人	恋人	その他
全体(n=302)	48.7	47.7	42.7	40.4	24.8	9.9	1.3	1.0	0.3	1.3
【年齢別】										
19歳以下(n=32)	96.9	0.0	0.0	90.6	71.9	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳(n=48)	85.4	0.0	2.1	79.2	54.2	18.8	0.0	2.1	0.0	0.0
25～29歳(n=58)	51.7	43.1	36.2	37.9	22.4	17.2	1.7	1.7	0.0	1.7
30～34歳(n=74)	31.1	70.3	59.5	24.3	9.5	8.1	1.4	0.0	0.0	2.7
35～39歳(n=90)	24.4	74.4	70.0	16.7	6.7	1.1	2.2	1.1	1.1	1.1

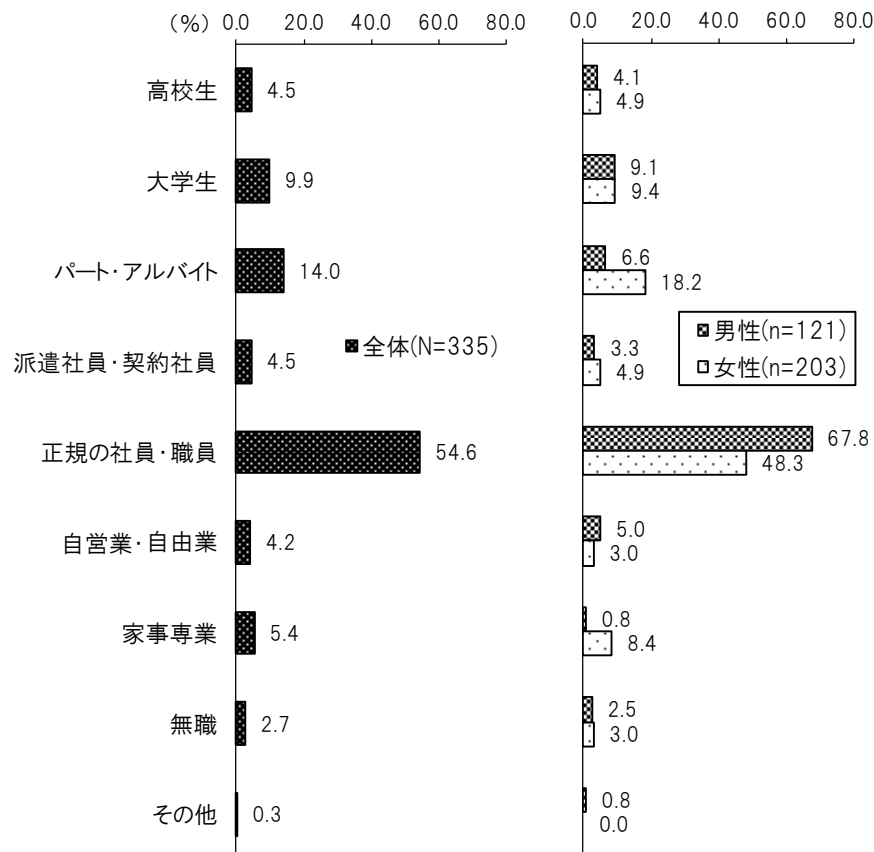
注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（年齢別など）において最も高い割合を示している。
 但し、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目及び「その他」については網掛けしていない。
 また「無回答」は表記から省略している。（本報告書においては、以下同様）

6 職業

問7 あなたの職業をお答えください。（回答は1つ）

職業については、「正規の社員・職員」の割合が54.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」（14.0%）、「大学生」（9.9%）の順となっている。

性別では、男性は「正規の社員・職員」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「パート・アルバイト」「家事専業」の割合が高くなっている。



Ⅲ 調査結果

【1】結婚の考え方について

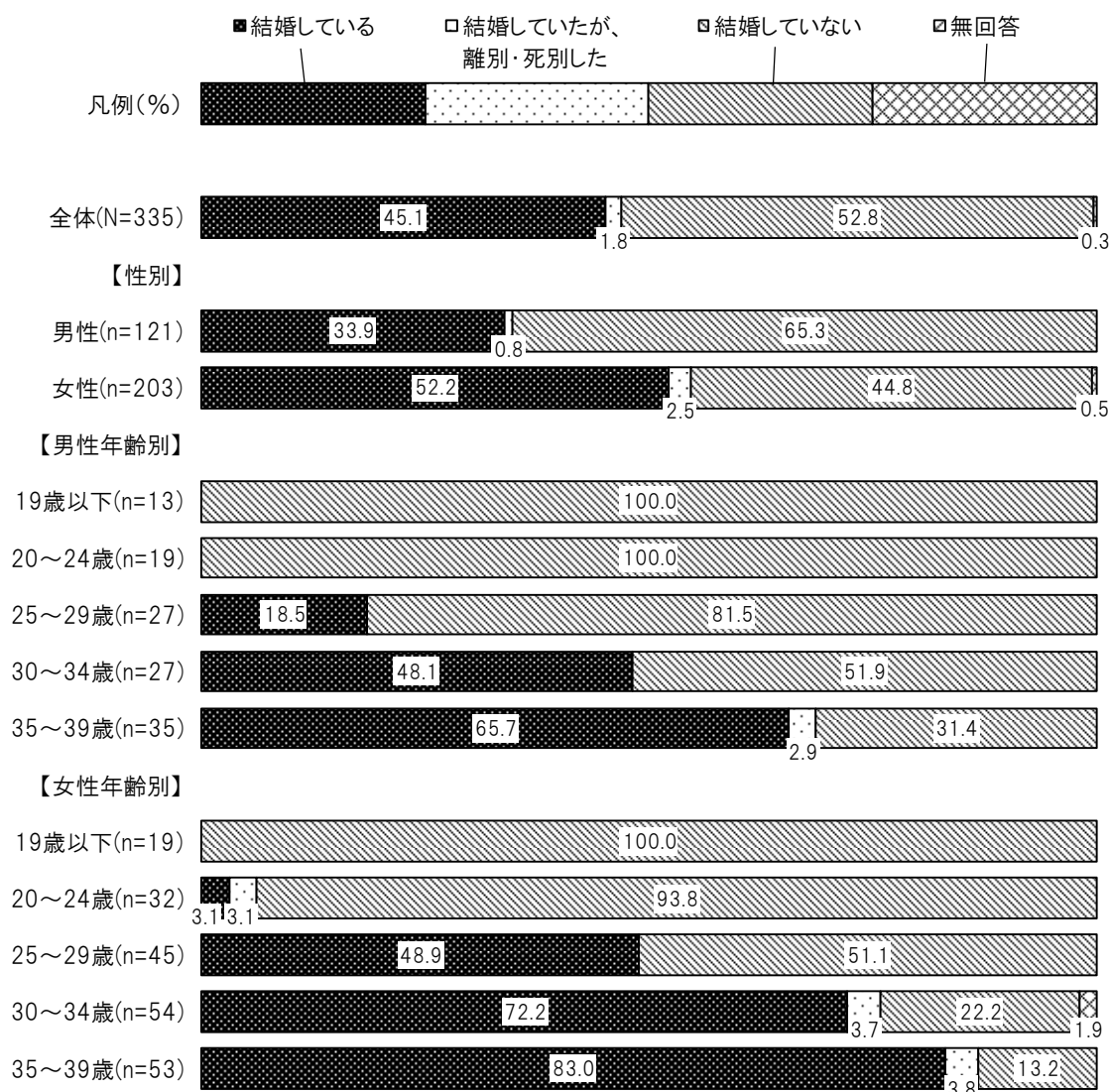
1 未既婚

問8 あなたは結婚（事実婚を含む）をしていますか。（回答は1つ）

未既婚については、「結婚していない」の割合が52.8%と最も高く、次いで「結婚している」が45.1%、「結婚していたが、離別・死別した」が1.8%となっている。

性別では、男性は「結婚していない」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「結婚している」の割合が高くなっている。

年齢別では、男女共に年齢が上がるほど「結婚している」の割合が高くなっている。



2 交際中のパートナーの有無

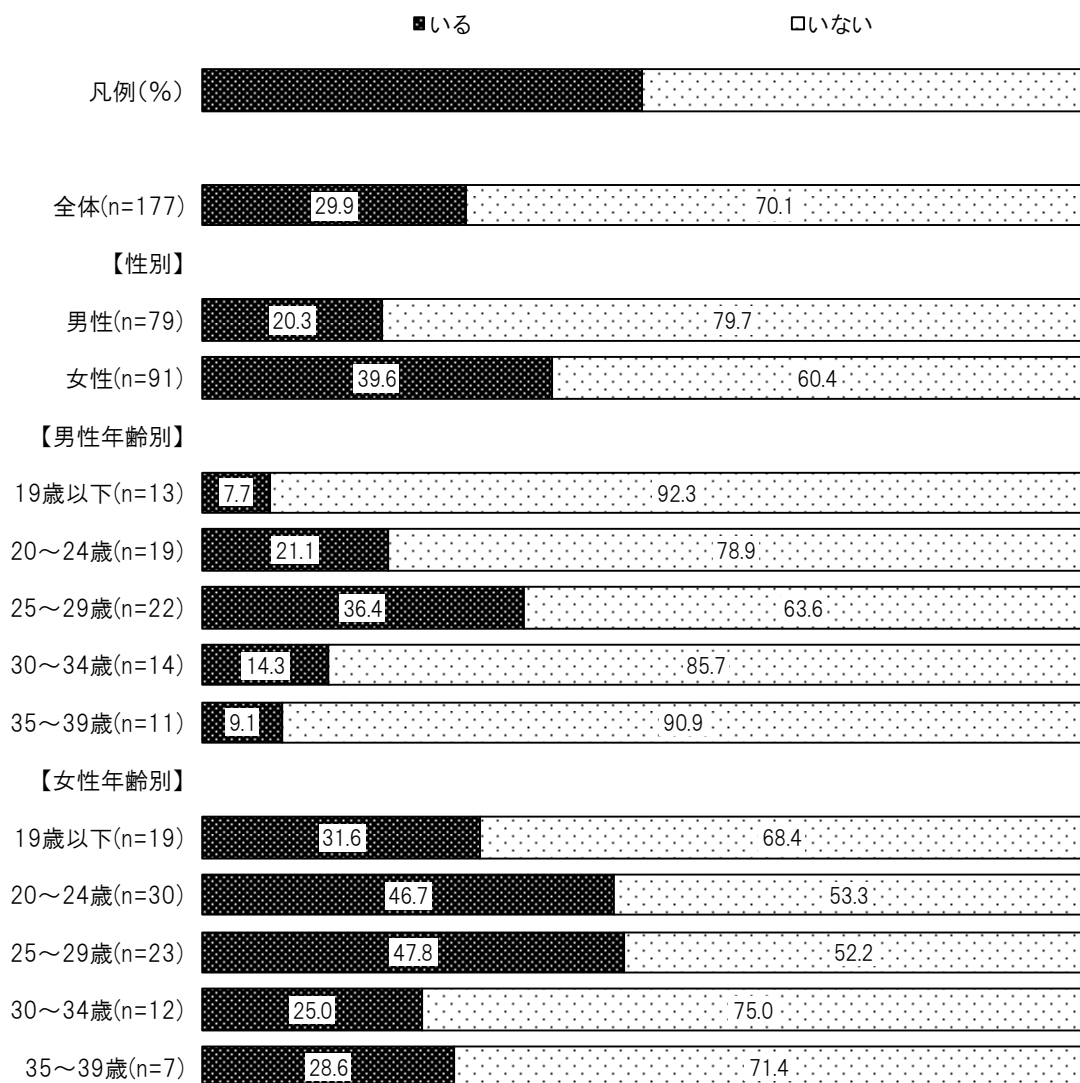
【問8で「3（結婚していない）」と回答した方におたずねします。】

問9 現在、交際中のパートナーはいますか。（回答は1つ）

交際中のパートナーの有無については、「いる」が29.9%、「いない」が70.1%となっている。

性別では、女性は「いる」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、男性の25～29歳、女性の20～29歳で「いる」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



注：女性の35～39歳については、件数（n）が少ないため参考値として参照

3 結婚の予定

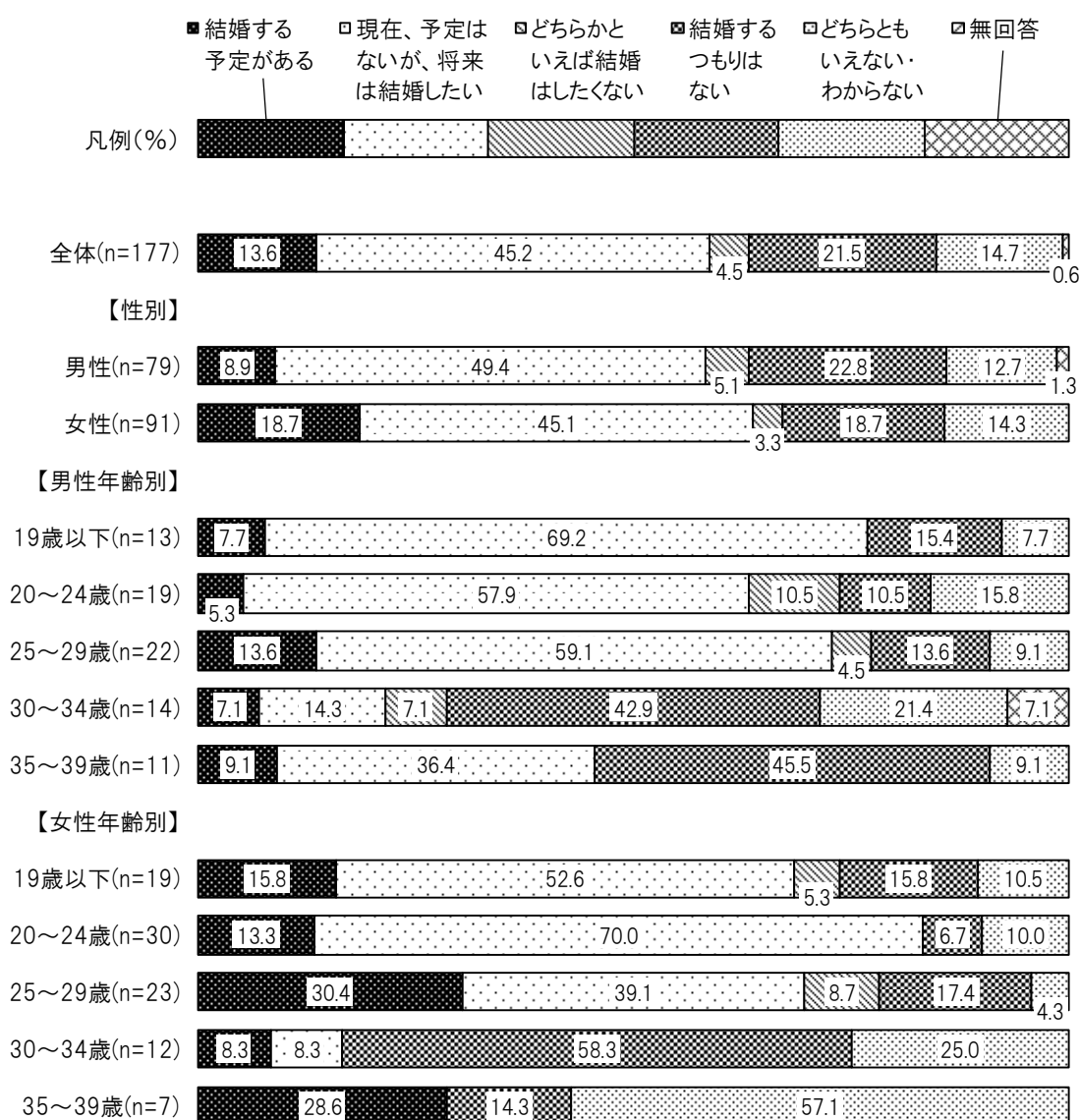
【問8で「3（結婚していない）」と回答した方におたずねします。】

問10 あなたは、現在、結婚する予定がありますか。（回答は1つ）

結婚の予定については、「結婚する予定がある」が13.6%、「現在、予定はないが、将来は結婚したい」が45.2%、合計で58.8%となっている。一方、「どちらかといえば結婚はしたくない」（4.5%）、「結婚するつもりはない」（21.5%）の合計は26.0%となっている。

性別では、女性は「結婚する予定がある」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、女性の25～29歳で「結婚する予定がある」、男性の30～39歳や女性の30～34歳で「結婚するつもりはない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



注：女性の35～39歳については、件数（n）が少ないため参考値として参照

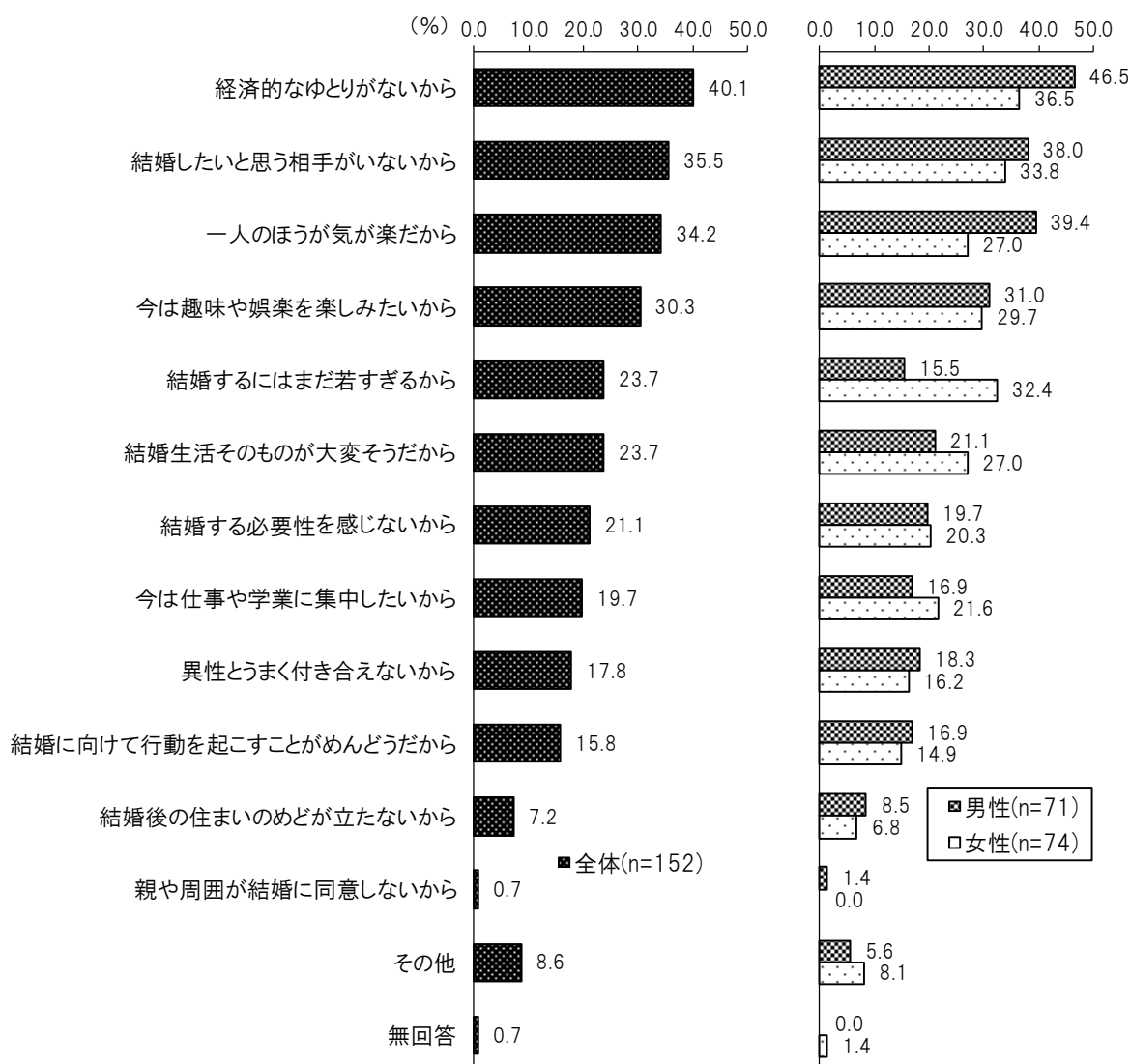
4 結婚に消極的な理由

【問10で「2～5（結婚の予定がない）」と回答した方におたずねします。】

問11 あなたが結婚していない、又は結婚に消極的な理由は何ですか。あなたの気持ちに近いものを選んでください。（回答はあてはまるもの全て）

結婚に消極的な理由については、「経済的なゆとりがないから」の割合が40.1%と最も高く、次いで「結婚したいと思う相手がいないから」（35.5%）、「一人のほうが気が楽だから」（34.2%）、「今は趣味や娯楽を楽しみたいから」（30.3%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「経済的なゆとりがないから」「一人のほうが気が楽だから」の割合が高く、女性は「結婚するにはまだ若すぎるから」「結婚生活そのものが大変そうだから」「今は仕事や学業に集中したいから」の割合が男性を上回っている。



年齢別では、男女共に19歳以下で「結婚するにはまだ若すぎるから」、20～24歳で「今は仕事や学業に集中したいから」、30～34歳で「異性とうまく付き合えないから」「結婚後の住まいのめどが立たないから」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。また、男性の30～39歳で「一人のほうが気が楽だから」「結婚に向けて行動を起こすことがめんどうだから」、女性の25～29歳で「結婚したいと思う相手がいらないから」「結婚生活そのものが大変そうだから」の割合がそれぞれ高くなっている。

単位 (%)	経済的なゆとりがないから	結婚したいと思う相手がいらないから	一人のほうが気が楽だから	今は趣味や娯楽を楽しみたいから	結婚するにはまだ若すぎるから	結婚生活そのものが大変そうだから	結婚する必要性を感じないから	今は仕事や学業に集中したいから	異性とうまく付き合えないから	めんどうだから	結婚に向けて行動を起こすことが	結婚後の住まいのめどが立たないから	親や周囲が結婚に同意しないから	その他
全体(n=152)	40.1	35.5	34.2	30.3	23.7	23.7	21.1	19.7	17.8	15.8	7.2	0.7	8.6	
【男性年齢別】														
19歳以下(n=12)	33.3	33.3	16.7	33.3	58.3	8.3	16.7	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	
20～24歳(n=18)	55.6	44.4	27.8	33.3	16.7	22.2	11.1	38.9	22.2	5.6	5.6	0.0	0.0	
25～29歳(n=19)	52.6	15.8	31.6	31.6	5.3	5.3	21.1	10.5	15.8	10.5	10.5	5.3	10.5	
30～34歳(n=12)	50.0	66.7	66.7	41.7	0.0	58.3	33.3	8.3	25.0	33.3	25.0	0.0	0.0	
35～39歳(n=10)	30.0	40.0	70.0	10.0	0.0	20.0	20.0	0.0	10.0	40.0	0.0	0.0	20.0	
【女性年齢別】														
19歳以下(n=16)	6.3	12.5	31.3	18.8	62.5	18.8	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	
20～24歳(n=26)	50.0	19.2	15.4	30.8	53.8	19.2	7.7	42.3	3.8	11.5	3.8	0.0	0.0	
25～29歳(n=16)	50.0	68.8	25.0	37.5	0.0	43.8	37.5	6.3	18.8	18.8	6.3	0.0	6.3	
30～34歳(n=11)	27.3	36.4	36.4	36.4	0.0	27.3	36.4	0.0	36.4	18.2	27.3	0.0	27.3	
35～39歳(n=5)	40.0	60.0	60.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0	

注：女性の35～39歳については、件数（n）が少ないため参考値として参照

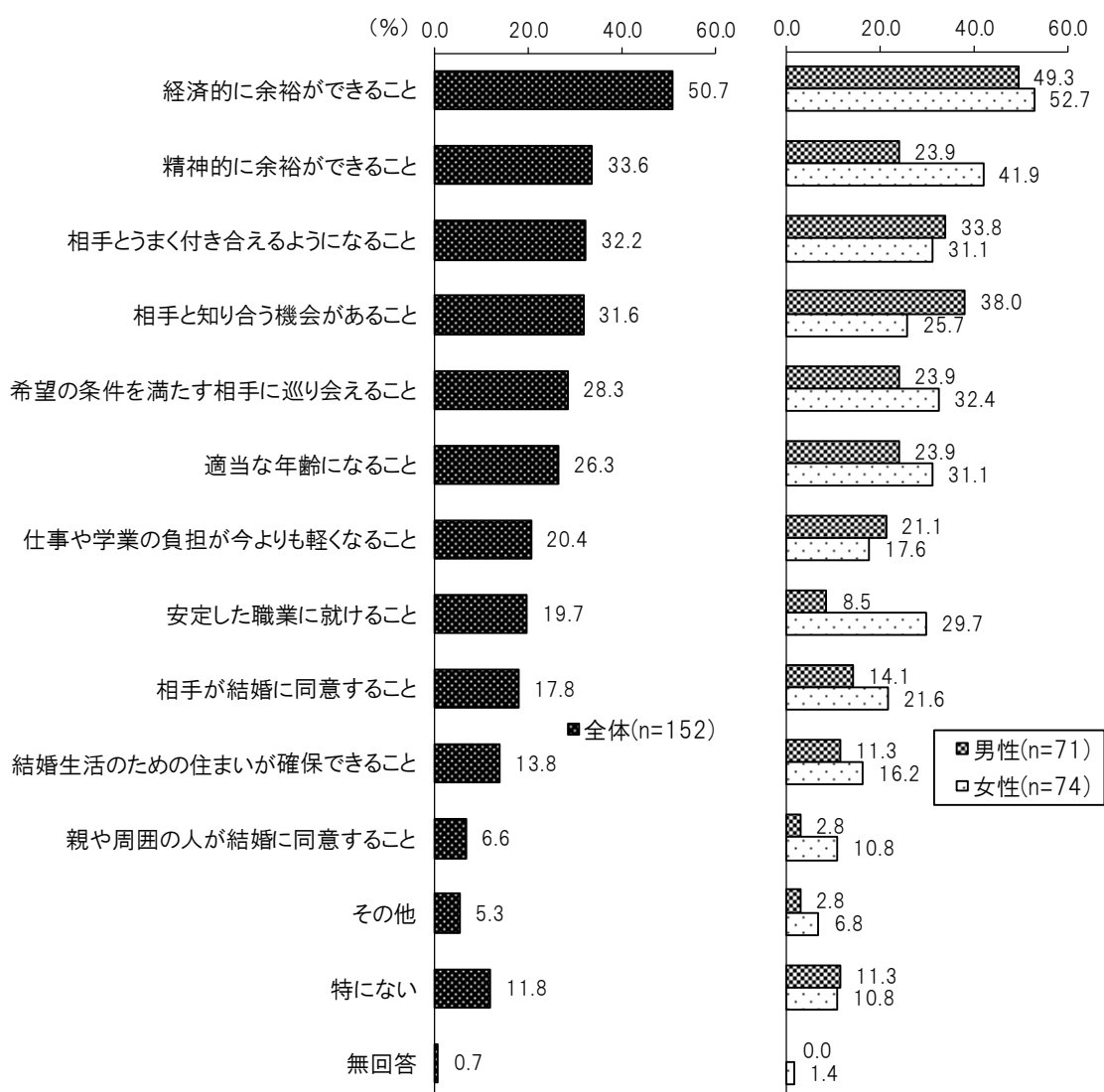
5 結婚する要件

【問10で「2～5（結婚の予定がない）」と回答した方におたずねします。】

問12 あなたは、どのような状況になれば結婚したいと思いますか。あなたの気持ちに近いものを選んでください。（回答はあてはまるもの全て）

結婚する要件については、「経済的に余裕ができること」の割合が50.7%と最も高く、次いで「精神的に余裕ができること」（33.6%）、「相手とうまく付き合えるようになること」（32.2%）、「相手と知り合う機会があること」（31.6%）、「希望の条件を満たす相手に巡り会えること」（28.3%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「相手と知り合う機会があること」の割合が高く、女性は「精神的に余裕ができること」「安定した職業に就けること」などの割合が男性を大きく上回っている。



年齢別では、男女共に19歳以下で「相手とうまく付き合えるようになること」「適当な年齢になること」の割合が高く、男性は若い年齢層ほど「経済的に余裕ができること」の割合が高くなっている。また、男性は30～34歳で「精神的に余裕ができること」「希望の条件を満たす相手に巡り会えること」「仕事や学業の負担が今よりも軽くなること」、35～39歳で「相手と知り合う機会があること」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高く、女性は25～29歳で「相手と知り合う機会があること」「希望の条件を満たす相手に巡り会えること」の割合が高くなっている。

単位 (%)	経済的に余裕ができること	精神的に余裕ができること	相手とうまく付き合えるようになること	相手と知り合う機会があること	希望の条件を満たす相手に巡り会えること	適当な年齢になること	仕事や学業の負担が今よりも軽くなること	安定した職業に就けること	相手が結婚に同意すること	結婚生活のための住まいが確保できること	親や周囲の人が結婚に同意すること	その他	特にない
全体(n=152)	50.7	33.6	32.2	31.6	28.3	26.3	20.4	19.7	17.8	13.8	6.6	5.3	11.8
【男性年齢別】													
19歳以下(n=12)	66.7	8.3	50.0	33.3	16.7	50.0	16.7	8.3	25.0	16.7	8.3	8.3	0.0
20～24歳(n=18)	61.1	33.3	27.8	38.9	27.8	38.9	22.2	11.1	11.1	16.7	0.0	0.0	5.6
25～29歳(n=19)	47.4	21.1	26.3	31.6	15.8	10.5	15.8	5.3	10.5	5.3	0.0	5.3	15.8
30～34歳(n=12)	33.3	41.7	33.3	41.7	41.7	8.3	41.7	16.7	16.7	16.7	8.3	0.0	16.7
35～39歳(n=10)	30.0	10.0	40.0	50.0	20.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0
【女性年齢別】													
19歳以下(n=16)	50.0	50.0	50.0	18.8	43.8	56.3	25.0	43.8	25.0	18.8	0.0	0.0	18.8
20～24歳(n=26)	61.5	53.8	26.9	26.9	23.1	50.0	19.2	34.6	26.9	15.4	15.4	3.8	0.0
25～29歳(n=16)	62.5	43.8	37.5	43.8	50.0	6.3	25.0	18.8	18.8	18.8	18.8	0.0	6.3
30～34歳(n=11)	36.4	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	18.2	18.2	0.0	18.2	36.4
35～39歳(n=5)	20.0	20.0	40.0	40.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0

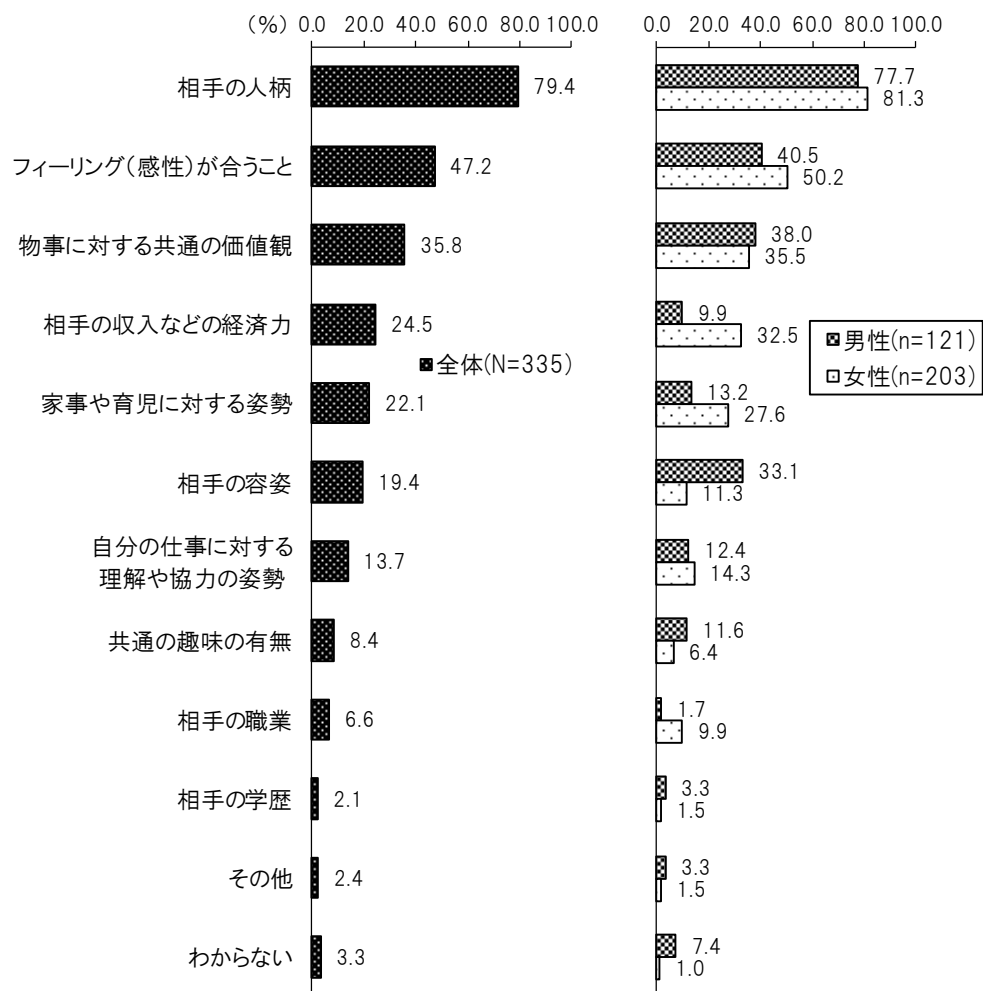
注：女性の35～39歳については、件数（n）が少ないため参考値として参照

6 結婚相手を決める際に重視する点

問 13 あなたは、結婚相手を決める際、どのような点を重視しますか。（重視しましたか。）あなたの気持ちに近いものを選んでください。現在、結婚を考えていない方もお答えください。（回答は3つまで）

結婚相手を決める際に重視する点については、「相手の人柄」の割合が79.4%と最も高く、次いで「フィーリング（感性）が合うこと」（47.2%）、「物事に対する共通の価値観」（35.8%）、「相手の収入などの経済力」（24.5%）、「家事や育児に対する姿勢」（22.1%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「相手の容姿」の割合が高く、女性は「相手の収入などの経済力」「家事や育児に対する姿勢」の割合が男性を大きく上回っている。



年齢別では、男性は19歳以下で「相手の容姿」、30～34歳で「相手の人柄」「フィーリング（感性）が合うこと」、35～39歳で「物事に対する共通の価値観」の割合がそれぞれ高く、女性は19歳以下で「相手の収入などの経済力」、25～34歳で「自分の仕事に対する理解や協力の姿勢」、35～39歳で「相手の人柄」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

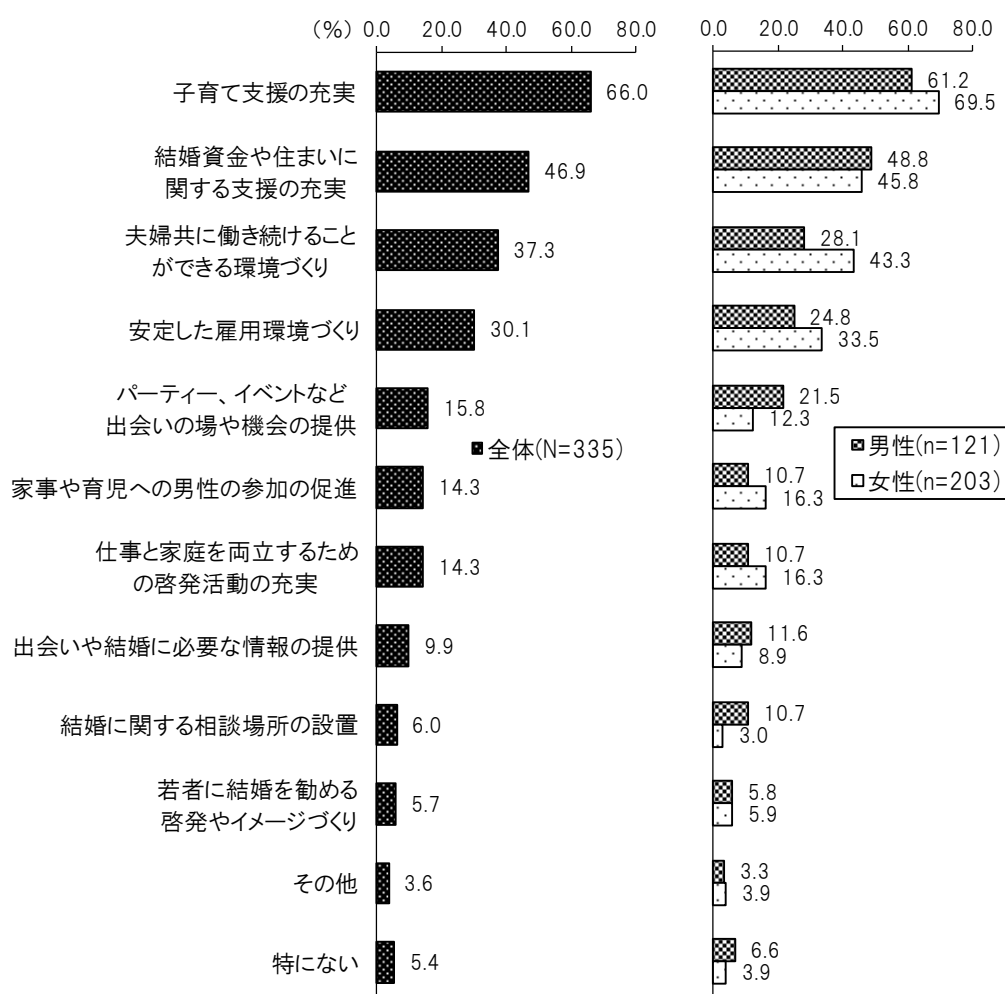
単位 (%)	相手の人柄	フィーリング（感性）が合うこと	物事に対する共通の価値観	相手の収入などの経済力	家事や育児に対する姿勢	相手の容姿	自分の仕事に対する理解や協力の姿勢	共通の趣味の有無	相手の職業	相手の学歴	その他	わからない
全体(N=335)	79.4	47.2	35.8	24.5	22.1	19.4	13.7	8.4	6.6	2.1	2.4	3.3
【男性年齢別】												
19歳以下(n=13)	69.2	30.8	30.8	7.7	15.4	61.5	7.7	7.7	0.0	15.4	0.0	7.7
20～24歳(n=19)	78.9	31.6	36.8	10.5	21.1	21.1	15.8	21.1	0.0	0.0	0.0	5.3
25～29歳(n=27)	70.4	40.7	40.7	11.1	11.1	29.6	18.5	7.4	0.0	7.4	3.7	11.1
30～34歳(n=27)	85.2	48.1	25.9	18.5	7.4	37.0	3.7	11.1	0.0	0.0	7.4	7.4
35～39歳(n=35)	80.0	42.9	48.6	2.9	14.3	28.6	14.3	11.4	5.7	0.0	2.9	5.7
【女性年齢別】												
19歳以下(n=19)	89.5	42.1	42.1	52.6	31.6	10.5	0.0	0.0	5.3	10.5	0.0	0.0
20～24歳(n=32)	71.9	53.1	37.5	34.4	31.3	9.4	12.5	6.3	15.6	0.0	0.0	0.0
25～29歳(n=45)	73.3	53.3	35.6	26.7	31.1	11.1	20.0	2.2	13.3	0.0	2.2	0.0
30～34歳(n=54)	79.6	50.0	35.2	27.8	22.2	13.0	22.2	5.6	5.6	1.9	3.7	3.7
35～39歳(n=53)	92.5	49.1	32.1	34.0	26.4	11.3	7.5	13.2	9.4	0.0	0.0	0.0

7 結婚を希望する人に対して力を入れるべき支援

問 14 あなたは、結婚を希望する人に対して、行政はどのような支援に力を入れるべきだと思いますか。あなたの気持ちに近いものを選んでください。(回答は3つまで)

結婚を希望する人に対して力を入れるべき支援については、「子育て支援の充実」の割合が66.0%と最も高く、次いで「結婚資金や住まいに関する支援の充実」(46.9%)、「夫婦共に働き続けることができる環境づくり」(37.3%)、「安定した雇用環境づくり」(30.1%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「パーティー、イベントなど出会いの場や機会の提供」「結婚に関する相談場所の設置」の割合が高く、女性は「子育て支援の充実」「夫婦共に働き続けることができる環境づくり」「安定した雇用環境づくり」などの割合が男性を上回っている。



年齢別では、男性は24歳以下で「子育て支援の充実」、25～29歳で「安定した雇用環境づくり」の割合がそれぞれ高く、女性は20～29歳で「結婚資金や住まいに関する支援の充実」「仕事と家庭を両立するための啓発活動の充実」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。また、男女共に35～39歳で「パーティー、イベントなど出会いの場や機会の提供」の割合が高くなっている。

単位 (%)	子育て支援の充実	結婚資金や住まいに関する支援の充実	夫婦共に働き続けることができる環境づくり	安定した雇用環境づくり	パーティー、イベントなど出会いの場や機会の提供	家事や育児への男性の参加の促進	仕事と家庭を両立するための啓発活動の充実	出会いや結婚に必要な情報の提供	結婚に関する相談場所の設置	若者に結婚を勧める啓発やイメージづくり	その他	特になし
全体(N=335)	66.0	46.9	37.3	30.1	15.8	14.3	14.3	9.9	6.0	5.7	3.6	5.4
【男性年齢別】												
19歳以下(n=13)	69.2	61.5	38.5	15.4	15.4	15.4	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳(n=19)	68.4	47.4	26.3	10.5	10.5	15.8	15.8	5.3	5.3	5.3	0.0	10.5
25～29歳(n=27)	55.6	44.4	14.8	37.0	25.9	11.1	14.8	14.8	3.7	3.7	11.1	3.7
30～34歳(n=27)	59.3	63.0	37.0	29.6	18.5	7.4	11.1	7.4	14.8	11.1	0.0	7.4
35～39歳(n=35)	60.0	37.1	28.6	22.9	28.6	8.6	5.7	14.3	20.0	5.7	2.9	8.6
【女性年齢別】												
19歳以下(n=19)	63.2	31.6	42.1	36.8	5.3	21.1	5.3	5.3	5.3	10.5	0.0	15.8
20～24歳(n=32)	65.6	56.3	31.3	28.1	15.6	12.5	28.1	9.4	6.3	9.4	3.1	0.0
25～29歳(n=45)	71.1	53.3	46.7	33.3	11.1	13.3	26.7	8.9	4.4	0.0	2.2	2.2
30～34歳(n=54)	72.2	40.7	46.3	33.3	5.6	18.5	11.1	3.7	1.9	1.9	9.3	5.6
35～39歳(n=53)	69.8	43.4	45.3	35.8	20.8	17.0	9.4	15.1	0.0	11.3	1.9	1.9

【2】仕事と子育てについて

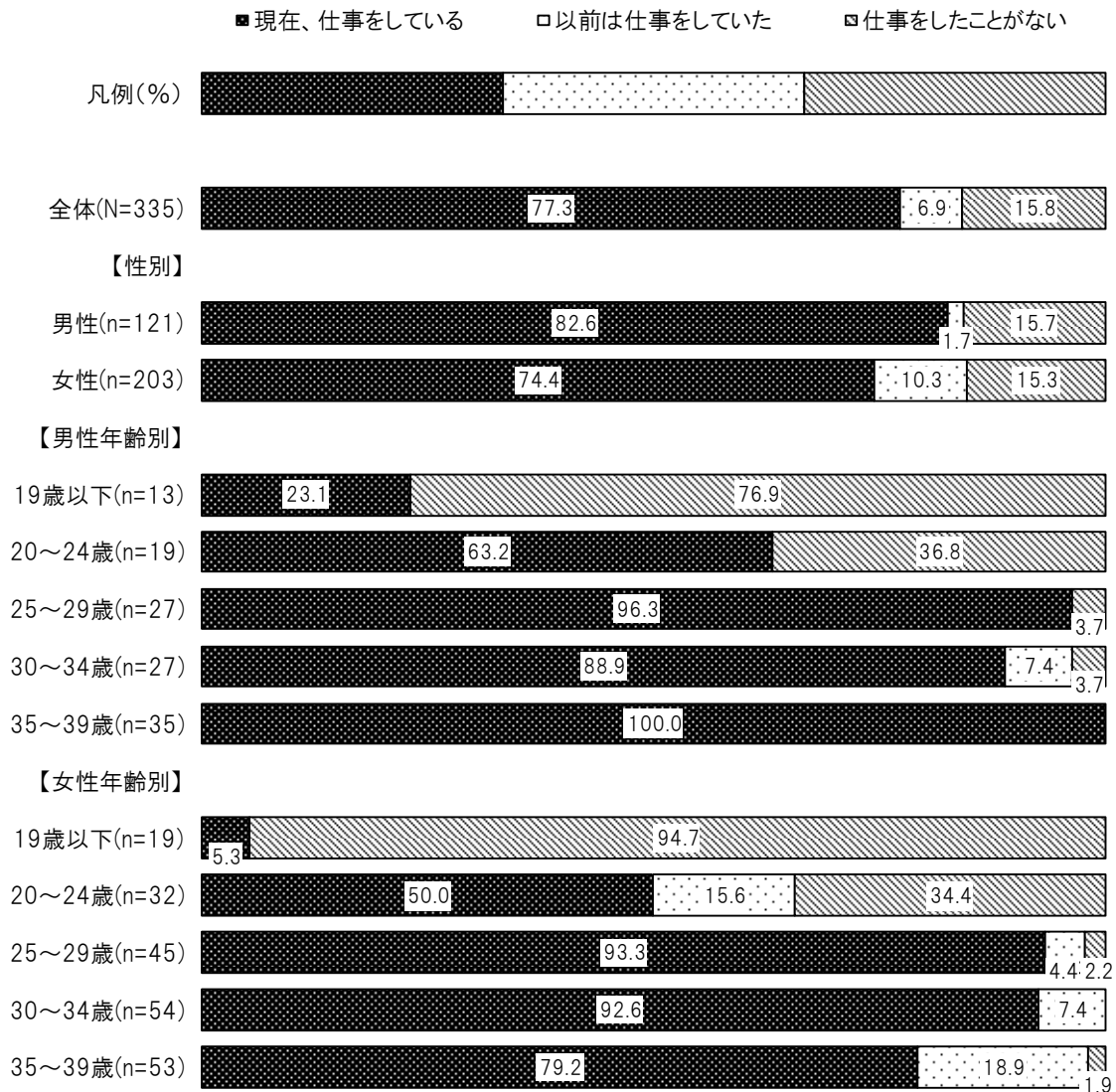
1 就労状況

問 15 あなたは現在、仕事をしていますか。（回答は1つ）

就労状況については、「現在、仕事をしている」の割合が77.3%と最も高く、次いで「仕事をしたことがない」が15.8%、「以前は仕事をしていた」が6.9%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「現在、仕事をしている」の割合が高く、女性は「以前は仕事をしていた」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、男女共に19歳以下で「仕事をしたことがない」、女性の20～24歳や35～39歳で「以前は仕事をしていた」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



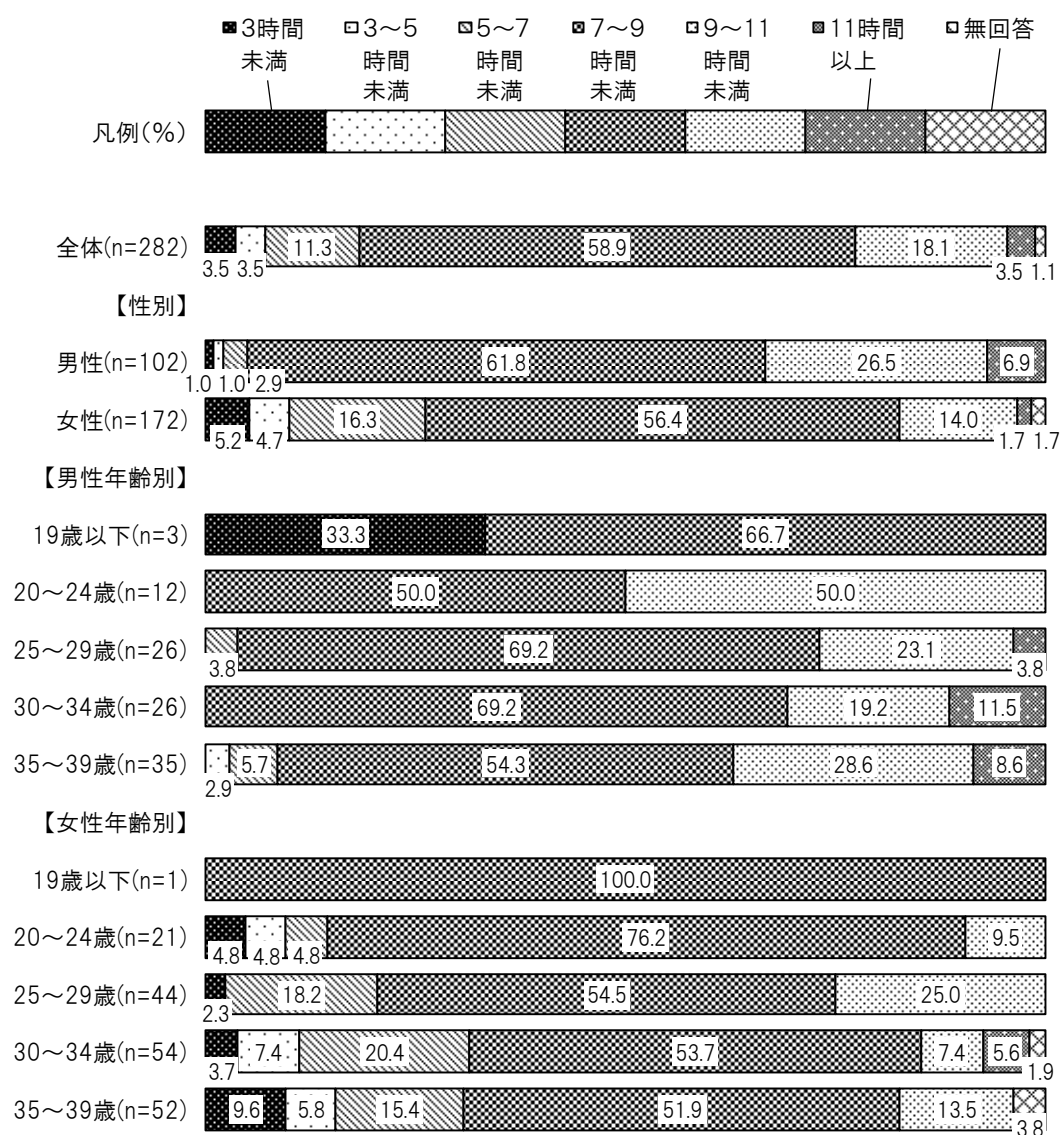
2 一日の平均労働時間

【問15で「1～2（現在仕事をしている又はしていた）」と回答した方におたずねします。】
問16 あなたの一日の平均労働時間は、どれにあてはまりますか。（回答は1つ）

一日の平均労働時間については、「7～9時間未満」の割合が58.9%と最も高く、次いで「9～11時間未満」（18.1%）、「5～7時間未満」（11.3%）の順となっている。

性別では、男性は「9～11時間未満」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「5～7時間未満」の割合が高くなっている。

年齢別では、男性の20～24歳や女性の25～29歳で「9～11時間未満」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



注：19歳以下については、件数（n）が少ないため参考値として参照

3 子育てをする人の働きやすさ

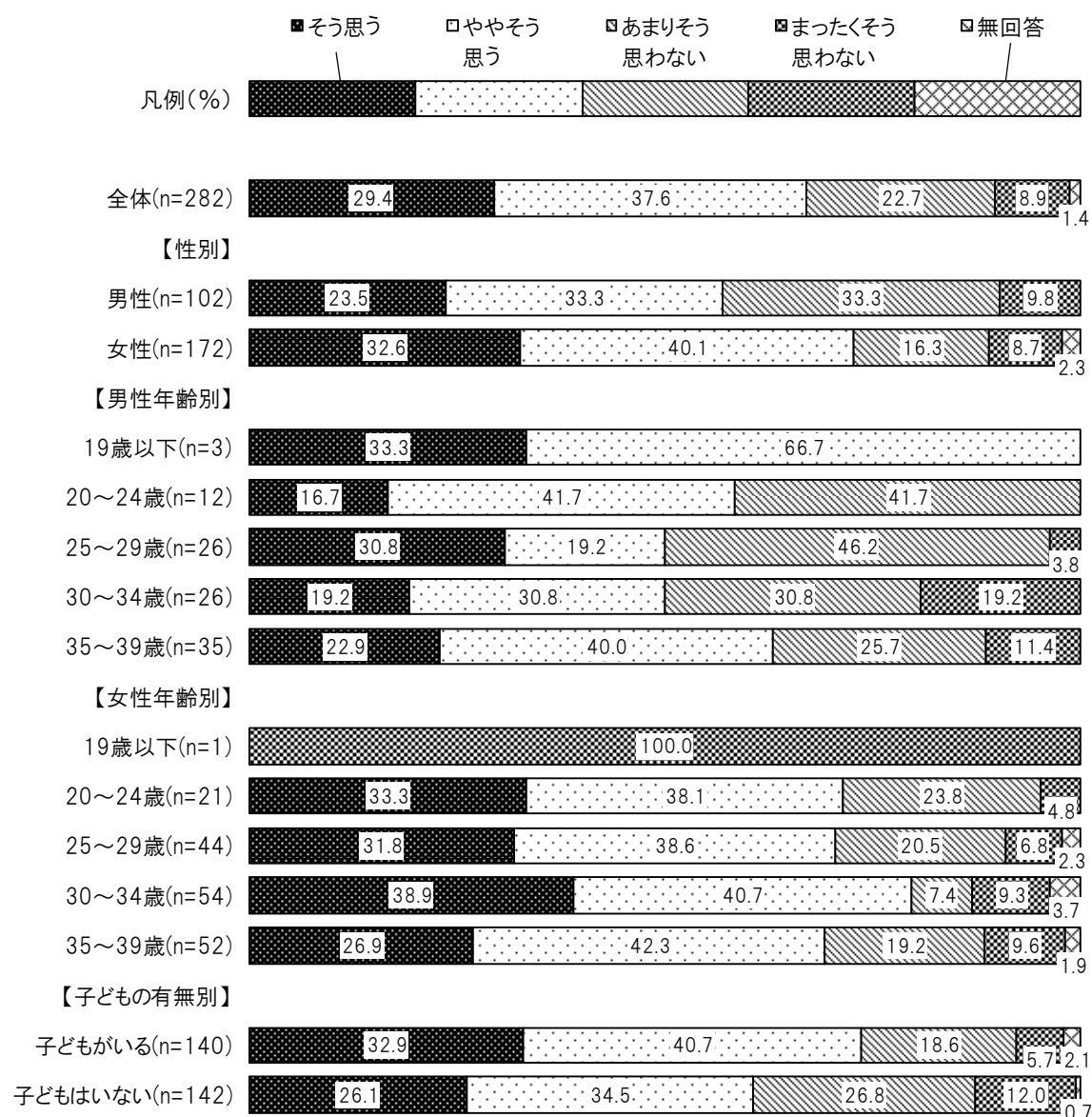
【問15で「1～2（現在仕事をしている又はしていた）と回答した方におたずねします。」
問17 あなたの職場は、子育てをする人にとって働きやすいと思いますか。（回答は1つ）

子育てをする人の働きやすさについては、「そう思う」が29.4%、「ややそう思う」が37.6%、合計で67.0%が『そう思う』と回答している。一方、「あまりそう思わない」(22.7%)、「まったくそう思わない」(8.9%)の合計は31.6%となっている。

性別では、女性は『そう思う（合計）』の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、女性の30～34歳で『そう思う（合計）』の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

子どもの有無別（問21）では、子どもがいる人の7割以上（73.6%）が『そう思う（合計）』と回答している。



注：19歳以下については、件数（n）が少ないため参考値として参照

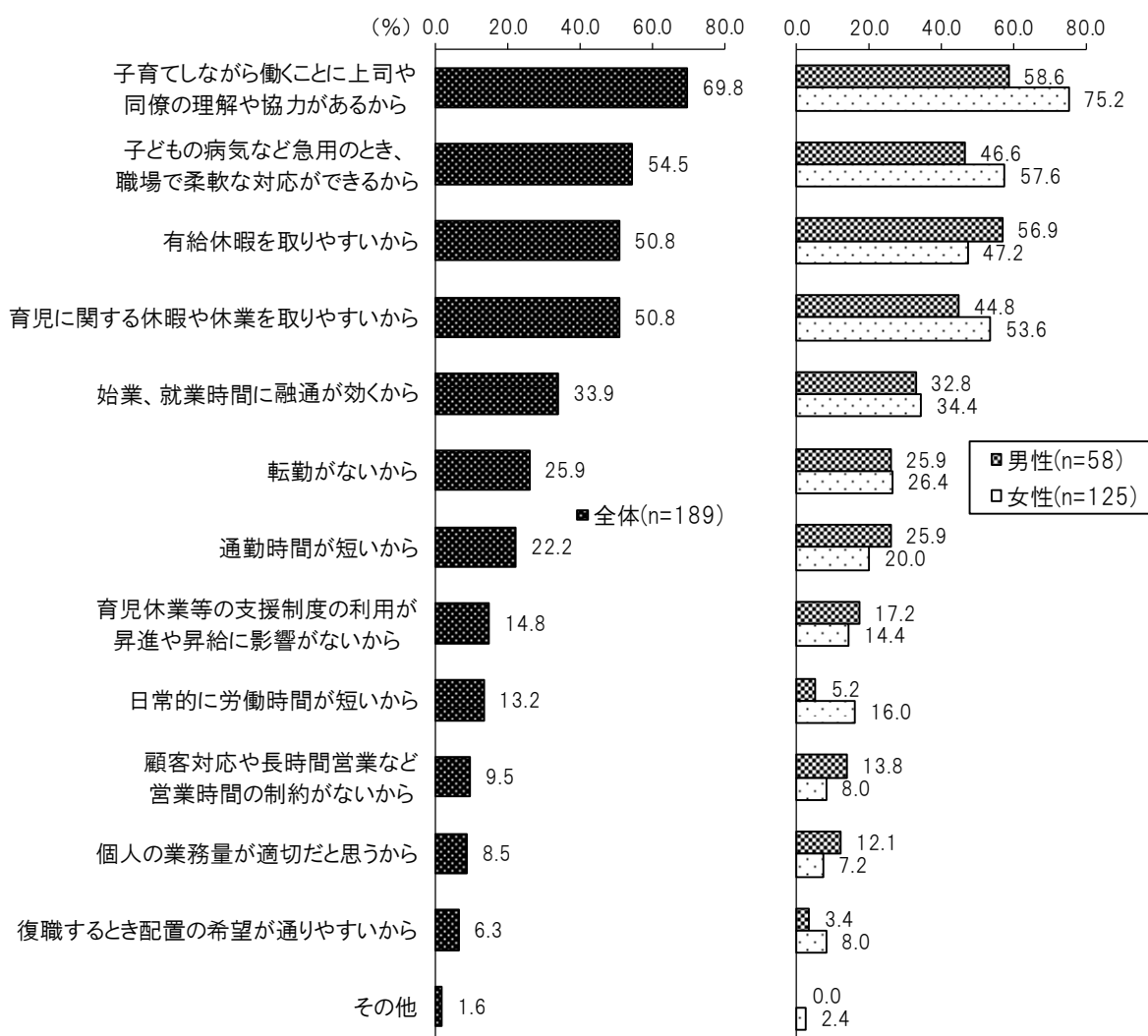
4 働きやすいと思う理由

【問 17 で「1～2（働きやすいと思う）」と回答した方におたずねします。】

問 18 働きやすいと思う理由は何ですか。あなたの気持ちに近いものを選んでください。
（回答はあてはまるもの全て）

働きやすいと思う理由については、「子育てしながら働くことに上司や同僚の理解や協力があるから」の割合が 69.8% と最も高く、次いで「子どもの病気など急用のとき、職場で柔軟な対応ができるから」（54.5%）、「有給休暇を取りやすいから」「育児に関する休暇や休業を取りやすいから」（各 50.8%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「有給休暇を取りやすいから」の割合が高く、女性は「子育てしながら働くことに上司や同僚の理解や協力があるから」「子どもの病気など急用のとき、職場で柔軟な対応ができるから」「育児に関する休暇や休業を取りやすいから」などの割合が男性を上回っている。



年齢別では、30～34歳で「子育てしながら働くことに上司や同僚の理解や協力があるから」、30～39歳で「子どもの病気など急用のとき、職場で柔軟な対応ができるから」「育児に関する休暇や休業を取りやすいから」「始業、就業時間に融通が効くから」などの割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

子どもの有無別でみると、子どもがいる人はいない人に比べて「子育てしながら働くことに上司や同僚の理解や協力があるから」「子どもの病気など急用のとき、職場で柔軟な対応ができるから」の割合が特に高くなっている。

単位 (%)	僚子育 の理 解や 協 力 が あ る こ と に 上 司 や 同	で柔 軟な 対 応 が で き る こ と に 上 司 や 同	有給 休 暇 を 取 り や す い か ら	い育 児に 関 する 休 暇 や 休 業 を 取 り や す	始業、 就業 時間 に 融 通 が 効 く か ら	転勤 が な い か ら	通勤 時間 が 短 い か ら	や育 児休 業等 の支 援制 度の 利用 が 昇 進	日常的 に 労働 時間 が 短 い か ら	顧客 対応 や長 時間 営業 など 営業 時間 の制 約が ない か ら	個人 の業 務量 が適 切だ と思 うか ら	復職 する とき 配置 の希 望が 通り やす い	その他
全体(n=189)	69.8	54.5	50.8	50.8	33.9	25.9	22.2	14.8	13.2	9.5	8.5	6.3	1.6
【年齢別】													
19歳以下(n=3)	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
20～24歳(n=23)	65.2	39.1	47.8	34.8	17.4	26.1	21.7	17.4	13.0	0.0	4.3	13.0	4.3
25～29歳(n=44)	65.9	52.3	54.5	43.2	22.7	25.0	13.6	11.4	2.3	11.4	9.1	13.6	0.0
30～34歳(n=57)	77.2	59.6	45.6	57.9	42.1	21.1	21.1	17.5	15.8	10.5	7.0	3.5	3.5
35～39歳(n=62)	67.7	58.1	54.8	56.5	41.9	30.6	29.0	12.9	17.7	11.3	9.7	1.6	0.0
【子どもの有無別】													
子どもがいる(n=103)	79.6	62.1	54.4	56.3	35.0	27.2	24.3	14.6	14.6	8.7	6.8	2.9	1.0
子どもはいない(n=86)	58.1	45.3	46.5	44.2	32.6	24.4	19.8	15.1	11.6	10.5	10.5	10.5	2.3

注：19歳以下については、件数（n）が少ないため参考値として参照

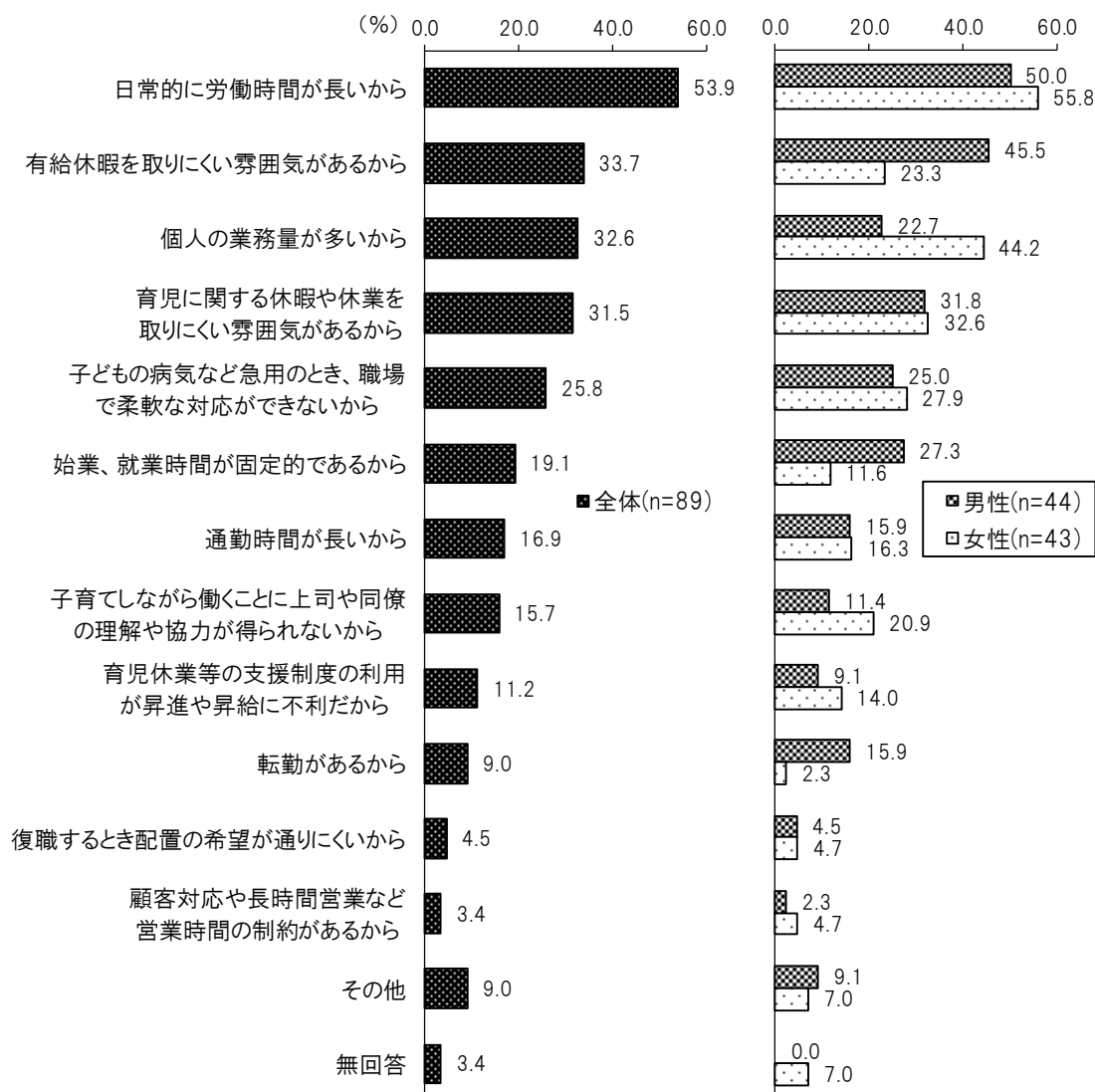
5 働きやすいと思わない理由

【問 17 で「3～4（働きやすいと思わない）と回答した方におたずねします。】

問 19 働きやすいと思わない理由は何ですか。あなたの気持ちに近いものを選んでください。（回答はあてはまるもの全て）

働きやすいと思わない理由については、「日常的に労働時間が長いから」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「有給休暇を取りにくい雰囲気があるから」（33.7%）、「個人の業務量が多いから」（32.6%）、「育児に関する休暇や休業を取りにくい雰囲気があるから」（31.5%）の順となっている。

性別では、男性は「有給休暇を取りにくい雰囲気があるから」「始業、就業時間が固定的であるから」「転勤があるから」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「個人の業務量が多いから」「子育てしながら働くことに上司や同僚の理解や協力が得られないから」の割合が高くなっている。



年齢別では、20～24歳で「日常的に労働時間が長いから」「始業、就業時間が固定的であるから」、25～29歳で「個人の業務量が多いから」「育児に関する休暇や休業を取りにくい雰囲気があるから」「子どもの病気など急用のとき、職場で柔軟な対応ができないから」、30～34歳で「有給休暇を取りにくい雰囲気があるから」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

子どもの有無別でみると、子どもがいる人はいない人に比べて「有給休暇を取りにくい雰囲気があるから」「育児に関する休暇や休業を取りにくい雰囲気があるから」などの割合が高くなっている。

単位 (%)	日常的に労働時間が長いから	有給休暇を取りにくい雰囲気があるから	個人の業務量が多いから	育児に関する休暇や休業を取りにくい雰囲気があるから	子どもの病気など急用のとき、職場で柔軟な対応ができないから	始業、就業時間が固定的であるから	通勤時間が長いから	僚の理解や協力が得られない上司や同僚	育児休業等の支援制度の利用が昇進や昇給に不利だから	転勤があるから	復職するとき配置の希望が通りにくいから	顧客対応や長時間営業など営業時間の制約があるから	その他
全体(n=89)	53.9	33.7	32.6	31.5	25.8	19.1	16.9	15.7	11.2	9.0	4.5	3.4	9.0
【年齢別】													
19歳以下(n=1)	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳(n=11)	63.6	9.1	18.2	27.3	9.1	45.5	18.2	9.1	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0
25～29歳(n=25)	52.0	32.0	44.0	44.0	40.0	20.0	12.0	24.0	16.0	12.0	12.0	4.0	12.0
30～34歳(n=23)	56.5	47.8	34.8	34.8	21.7	13.0	21.7	17.4	4.3	4.3	0.0	4.3	8.7
35～39歳(n=29)	48.3	31.0	24.1	20.7	24.1	13.8	17.2	10.3	13.8	6.9	3.4	0.0	10.3
【子どもの有無別】													
子どもがいる(n=34)	38.2	41.2	35.3	38.2	29.4	11.8	20.6	20.6	17.6	2.9	2.9	2.9	5.9
子どもはいない(n=55)	63.6	29.1	30.9	27.3	23.6	23.6	14.5	12.7	7.3	12.7	5.5	3.6	10.9

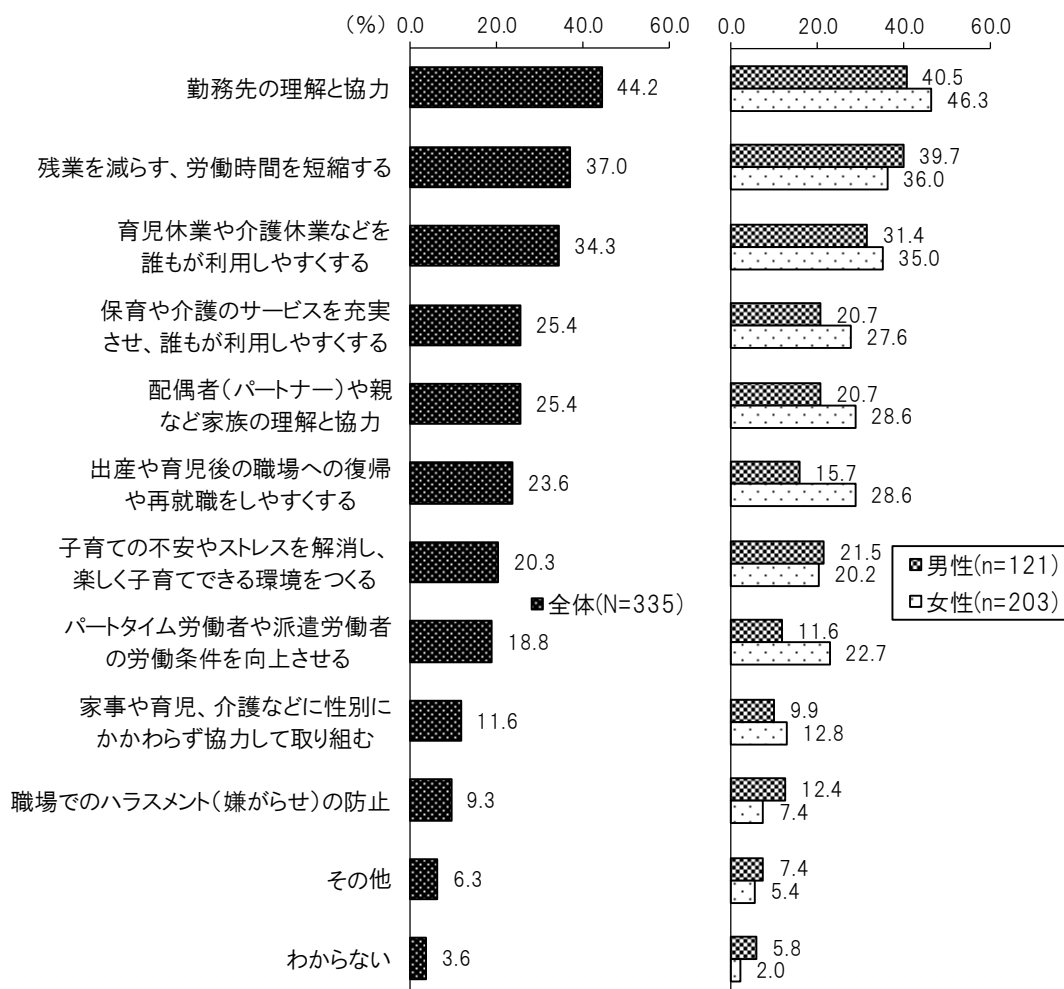
注：19歳以下については、件数（n）が少ないため参考値として参照

6 子育てしながら働きやすい社会環境をつくるために必要なこと

問 20 あなたは、子育てしながらでも働きやすい社会環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの気持ちに近いものを選んでください。
(回答は3つまで)

子育てしながら働きやすい社会環境をつくるために必要なことについては、「勤務先の理解と協力」の割合が44.2%と最も高く、次いで「残業を減らす、労働時間を短縮する」(37.0%)、「育児休業や介護休業などを誰もが利用しやすくする」(34.3%)、「保育や介護のサービスを充実させ、誰もが利用しやすくする」「配偶者(パートナー)や親など家族の理解と協力」(各25.4%)の順となっている。

性別では、女性は「出産や育児後の職場への復帰や再就職をしやすい」「パートタイム労働者や派遣労働者の労働条件を向上させる」などの割合が男性を大きく上回っている。



年齢別では、男性は 19 歳以下で「出産や育児後の職場への復帰や再就職をしやすくする」「職場でのハラスメント（嫌がらせ）の防止」、35～39 歳で「勤務先の理解と協力」「育児休業や介護休業などを誰もが利用しやすくする」の割合がそれぞれ高く、女性は 19 歳以下で「育児休業や介護休業などを誰もが利用しやすくする」、20～24 歳で「子育ての不安やストレスを解消し、楽しく子育てできる環境をつくる」、30～34 歳で「パートタイム労働者や派遣労働者の労働条件を向上させる」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人はいない人に比べて「勤務先の理解と協力」「配偶者（パートナー）や親など家族の理解と協力」などの割合が高くなっている。

単位 (%)	勤務先の理解と協力	残業を減らす、労働時間を短縮する	育児休業や介護休業などを誰もが利用できる	保育や介護のサービスを利用しやすくする	配偶者の理解と協力（パートナー）や親など家族	出産や育児後の職場への復帰や再就職をしやすくする	子育ての不安やストレスを解消し、楽しく子育てできる環境をつくる	パートタイム労働者や派遣労働者の労働条件を向上させる	家事や育児、介護などに性別にかかわらず協力して取り組む	職場でのハラスメント（嫌がらせ）の防止	その他	わからない
全体(N=335)	44.2	37.0	34.3	25.4	25.4	23.6	20.3	18.8	11.6	9.3	6.3	3.6
【男性年齢別】												
19歳以下(n=13)	23.1	38.5	23.1	15.4	7.7	38.5	7.7	0.0	7.7	46.2	7.7	7.7
20～24歳(n=19)	42.1	42.1	26.3	21.1	26.3	21.1	21.1	5.3	10.5	15.8	0.0	5.3
25～29歳(n=27)	25.9	44.4	25.9	18.5	7.4	14.8	22.2	25.9	3.7	7.4	14.8	7.4
30～34歳(n=27)	44.4	33.3	25.9	25.9	33.3	11.1	22.2	7.4	14.8	0.0	11.1	7.4
35～39歳(n=35)	54.3	40.0	45.7	20.0	22.9	8.6	25.7	11.4	11.4	11.4	2.9	2.9
【女性年齢別】												
19歳以下(n=19)	47.4	42.1	47.4	26.3	26.3	21.1	21.1	5.3	10.5	0.0	0.0	5.3
20～24歳(n=32)	43.8	31.3	40.6	18.8	25.0	37.5	37.5	6.3	6.3	12.5	9.4	0.0
25～29歳(n=45)	37.8	28.9	35.6	33.3	20.0	35.6	24.4	24.4	15.6	6.7	2.2	6.7
30～34歳(n=54)	48.1	37.0	22.2	29.6	31.5	27.8	13.0	35.2	7.4	7.4	11.1	0.0
35～39歳(n=53)	52.8	41.5	39.6	26.4	35.8	20.8	13.2	24.5	20.8	7.5	1.9	0.0
【子どもの有無別】												
子どもがいる(n=143)	51.7	37.8	31.5	26.6	35.0	23.1	18.9	23.8	16.1	6.3	4.2	1.4
子どもはいない(n=192)	38.5	36.5	36.5	24.5	18.2	24.0	21.4	15.1	8.3	11.5	7.8	5.2

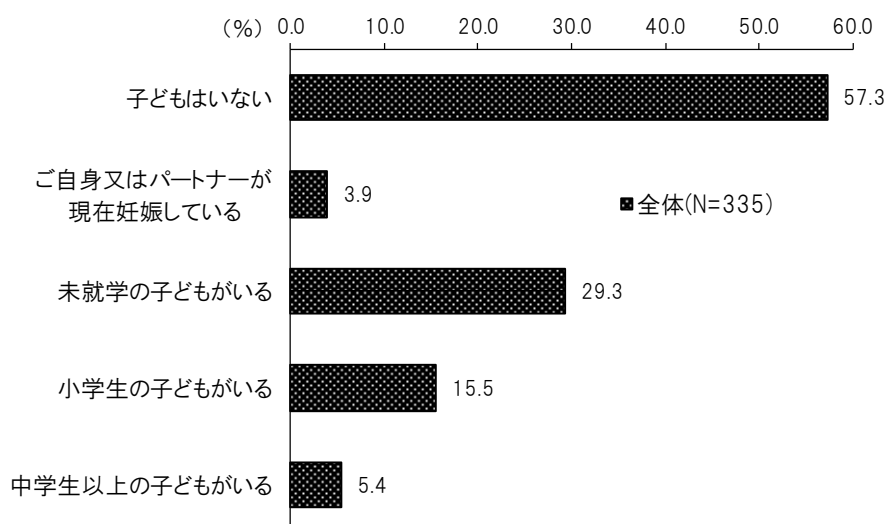
【3】子どものことについて

1 子どもの有無

問 21 あなたにはお子さんはいらっしゃいますか。（回答はあてはまるもの全て）

子どもの有無については、「子どもはいない」の割合が57.3%と最も高く、次いで「未就学の子どもがいる」（29.3%）、「小学生の子どもがいる」（15.5%）の順となっている。

年齢別では、若い年齢層ほど「子どもはいない」の割合が高く、30～34歳で「未就学の子どもがいる」、35～39歳で「小学生の子どもがいる」「中学生以上の子どもがいる」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



単位 (%)	子どもはいない	ご自身又はパートナーが現在妊娠している	未就学の子どもがいる	小学生の子どもがいる	中学生以上の子どもがいる
全体(N=335)	57.3	3.9	29.3	15.5	5.4
【年齢別】					
19歳以下(n=33)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳(n=54)	96.3	0.0	3.7	1.9	0.0
25～29歳(n=72)	66.7	2.8	30.6	2.8	0.0
30～34歳(n=83)	39.8	9.6	48.2	13.3	1.2
35～39歳(n=93)	28.0	3.2	36.6	40.9	18.3

2 子育てのしやすさ

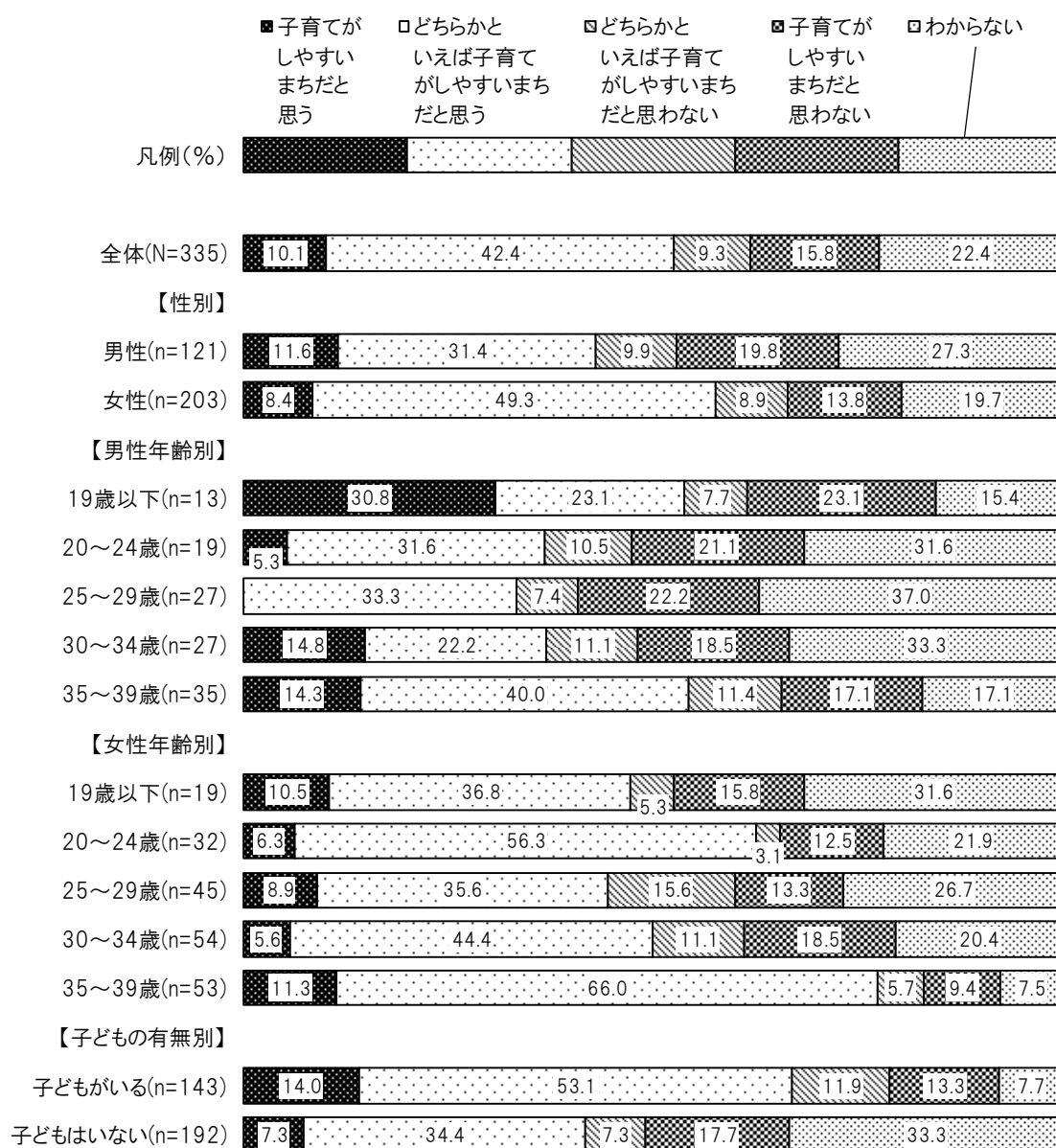
問 22 玉野市は、子育てしやすいまちだと思いますか。現在、お子さんがいない方もお答えください。（回答は1つ）

子育てのしやすさについては、「子育てがしやすいまちだと思う」が10.1%、「どちらかといえば子育てがしやすいまちだと思う」が42.4%、合計で52.5%が『子育てがしやすい』と回答している。一方、「どちらかといえば子育てがしやすいまちだと思わない」(9.3%)、「子育てがしやすいまちだと思わない」(15.8%)の合計は25.1%となっている。

性別では、女性は『子育てがしやすい（合計）』の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、男性の19歳以下や35～39歳、女性の35～39歳で『子育てがしやすい（合計）』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人の7割近く（67.1%）が『子育てがしやすい（合計）』と回答している。

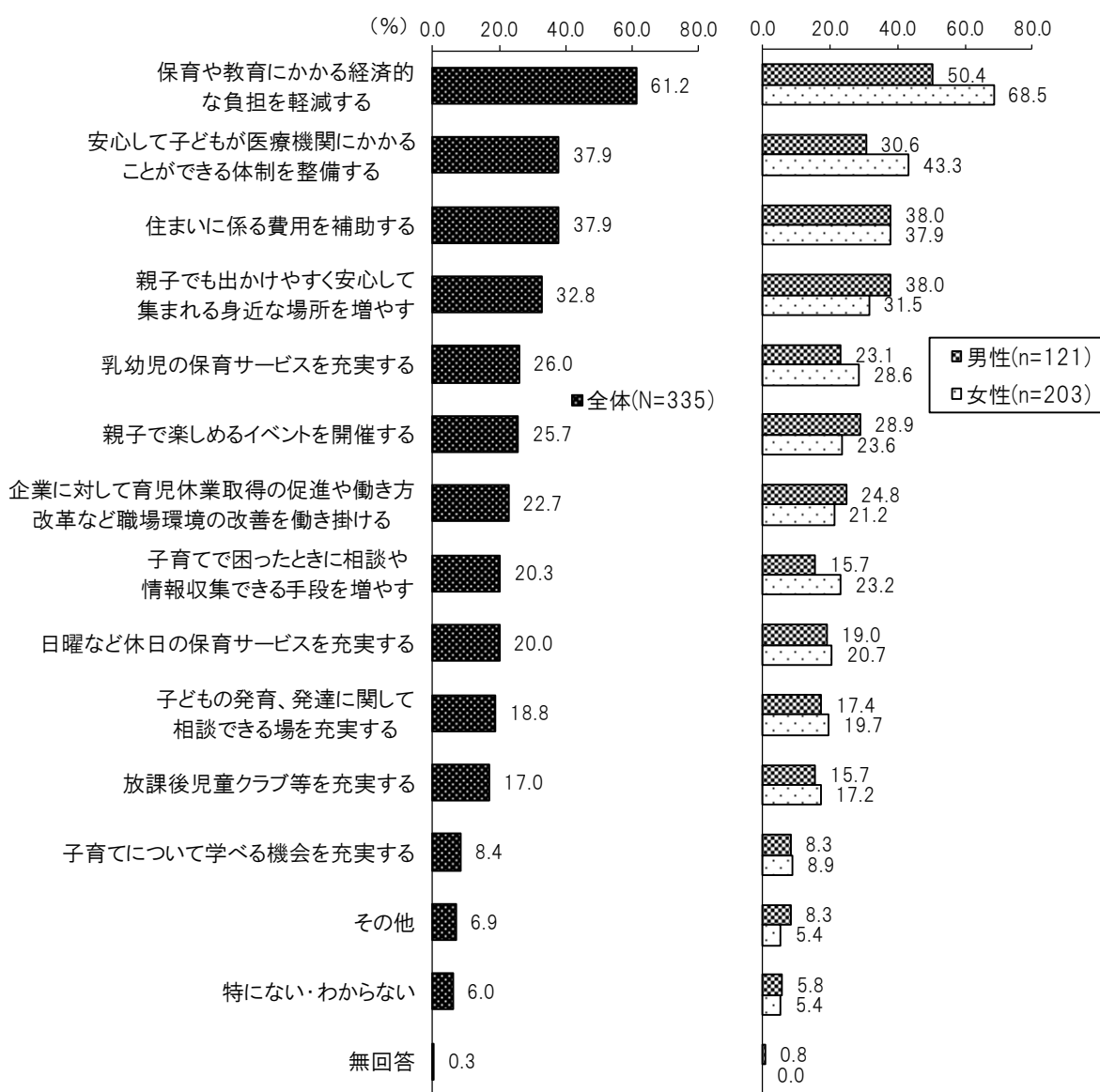


3 子育てしやすいまちにするために必要な支援

問 23 玉野市を子育てしやすいまちにするためには、どのような支援が必要だと思いますか。（回答は5つまで）

子育てしやすいまちにするために必要な支援については、「保育や教育にかかる経済的な負担を軽減する」の割合が61.2%と最も高く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかることができる体制を整備する」「住まいに係る費用を補助する」（各37.9%）、「親子でも出かけやすく安心して集まれる身近な場所を増やす」（32.8%）の順となっている。

性別では、女性は「保育や教育にかかる経済的な負担を軽減する」「安心して子どもが医療機関にかかることができる体制を整備する」の割合が男性を大きく上回っている。



年齢別では、25～34 歳で「住まいに係る費用を補助する」「乳幼児の保育サービスを充実する」、30～34 歳で「親子でも出かけやすく安心して集まれる身近な場所を増やす」「企業に対して育児休業取得の促進や働き方改革など職場環境の改善を働き掛ける」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人はいない人に比べて「保育や教育にかかる経済的な負担を軽減する」「安心して子どもが医療機関にかかることができる体制を整備する」「住まいに係る費用を補助する」などの割合が高くなっている。

単位 (%)	保育や教育にかかる経済的な負担を軽減する	安心して子どもが医療機関にかかることができる体制を整備する	住まいに係る費用を補助する	親子でも出かけやすく安心して集まれる身近な場所を増やす	乳幼児の保育サービスを充実する	親子で楽しめるイベントを開催する	企業に対して育児休業取得の促進や働き方改革など職場環境の改善を働き掛ける	子育てで困ったときに相談や情報収集できる手段を増やす	日曜など休日の保育サービスを充実する	子どもの発育、発達に関して相談できる場を充実する	放課後児童クラブ等を充実する	子育てについて学べる機会を充実する	その他	特にない・わからない
全体(N=335)	61.2	37.9	37.9	32.8	26.0	25.7	22.7	20.3	20.0	18.8	17.0	8.4	6.9	6.0
【年齢別】														
19歳以下(n=33)	54.5	42.4	30.3	21.2	12.1	30.3	21.2	24.2	9.1	21.2	9.1	15.2	6.1	12.1
20～24歳(n=54)	66.7	22.2	29.6	31.5	18.5	20.4	22.2	27.8	22.2	25.9	22.2	16.7	3.7	5.6
25～29歳(n=72)	58.3	36.1	43.1	30.6	31.9	22.2	19.4	12.5	22.2	15.3	15.3	5.6	4.2	9.7
30～34歳(n=83)	56.6	38.6	42.2	39.8	31.3	25.3	27.7	14.5	15.7	18.1	12.0	9.6	10.8	4.8
35～39歳(n=93)	66.7	46.2	37.6	33.3	25.8	30.1	21.5	25.8	24.7	17.2	22.6	2.2	7.5	2.2
【子どもの有無別】														
子どもがいる(n=143)	67.8	44.8	44.1	42.0	31.5	31.5	25.9	16.1	18.9	14.7	18.9	2.1	8.4	1.4
子どもはいない(n=192)	56.3	32.8	33.3	26.0	21.9	21.4	20.3	23.4	20.8	21.9	15.6	13.0	5.7	9.4

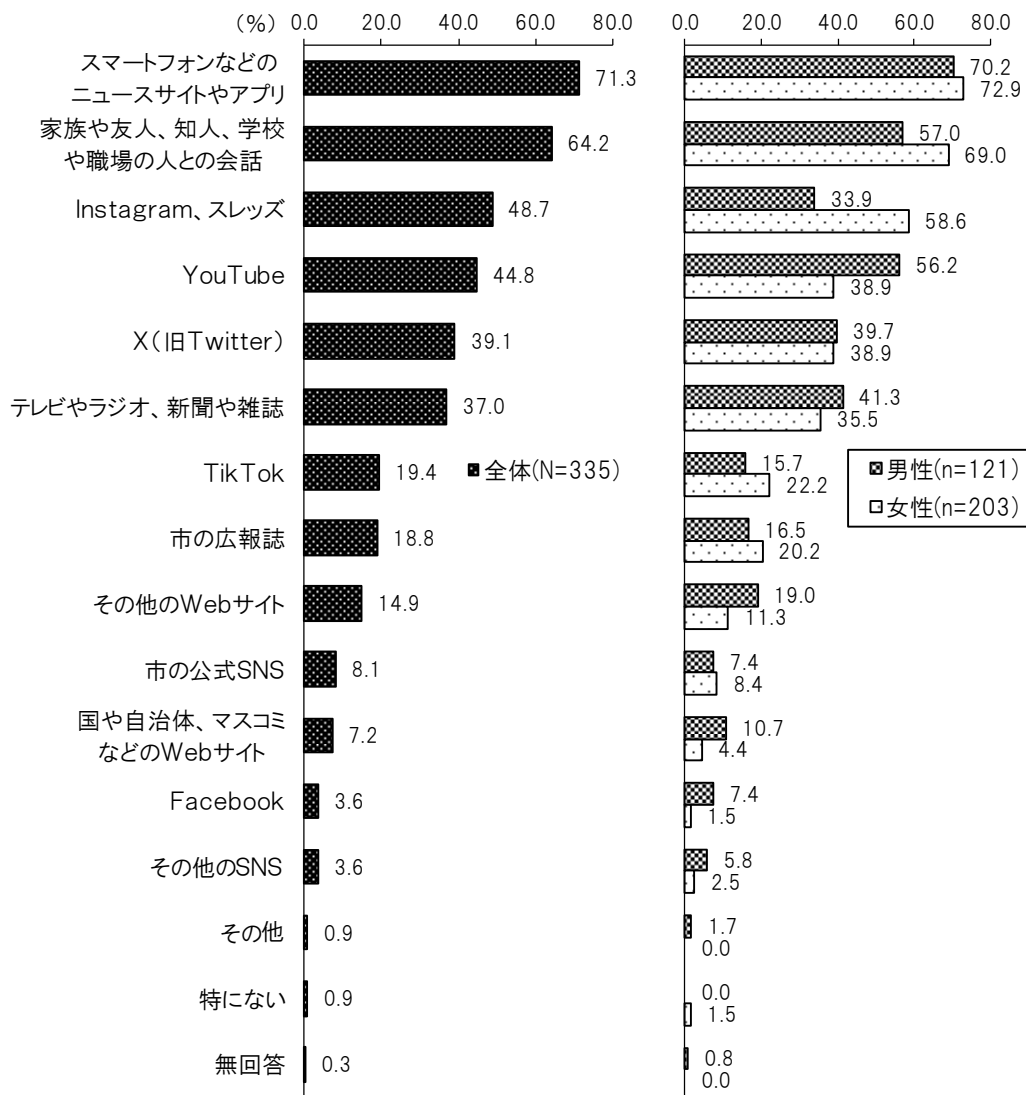
【4】暮らしの状況について

1 関心のある情報の入手方法

問 24 あなたはふだん、関心のある情報を、どのような方法で入手していますか。
(回答はあてはまるもの全て)

関心のある情報の入手方法については、「スマートフォンなどのニュースサイトやアプリ」の割合が71.3%と最も高く、次いで「家族や友人、知人、学校や職場の人との会話」(64.2%)、「Instagram、スレズ」(48.7%)、「YouTube」(44.8%)、「X(旧Twitter)」(39.1%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「YouTube」の割合が高く、女性は「Instagram、スレズ」の割合が男性を大きく上回っている。



年齢別では、19歳以下で「家族や友人、知人、学校や職場の人との会話」「テレビやラジオ、新聞や雑誌」「TikTok」、24歳以下で「YouTube」、30～34歳で「X（旧Twitter）」、35～39歳で「スマートフォンなどのニュースサイトやアプリ」「市の広報誌」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位（％）	スマートフォンなどのニュースサイト	家族や友人、知人、学校や職場の人との会話	Instagram、スレズ	YouTube	X（旧Twitter）	テレビやラジオ、新聞や雑誌	TikTok	市の広報誌	その他のウェブサイト	市の公式SNS	国や自治体、マスコミなどのWebサイト	Facebook	その他のSNS	特にな
全体(N=335)	71.3	64.2	48.7	44.8	39.1	37.0	19.4	18.8	14.9	8.1	7.2	3.6	3.6	0.9
【年齢別】														
19歳以下(n=33)	66.7	75.8	51.5	51.5	39.4	48.5	33.3	9.1	9.1	9.1	6.1	3.0	3.0	3.0
20～24歳(n=54)	66.7	61.1	35.2	53.7	33.3	29.6	24.1	16.7	16.7	3.7	7.4	0.0	1.9	0.0
25～29歳(n=72)	65.3	55.6	50.0	40.3	44.4	36.1	25.0	9.7	15.3	8.3	5.6	6.9	8.3	1.4
30～34歳(n=83)	73.5	67.5	50.6	41.0	48.2	32.5	13.3	22.9	13.3	7.2	9.6	2.4	1.2	0.0
35～39歳(n=93)	78.5	65.6	52.7	44.1	30.1	41.9	12.9	26.9	17.2	10.8	6.5	4.3	3.2	1.1

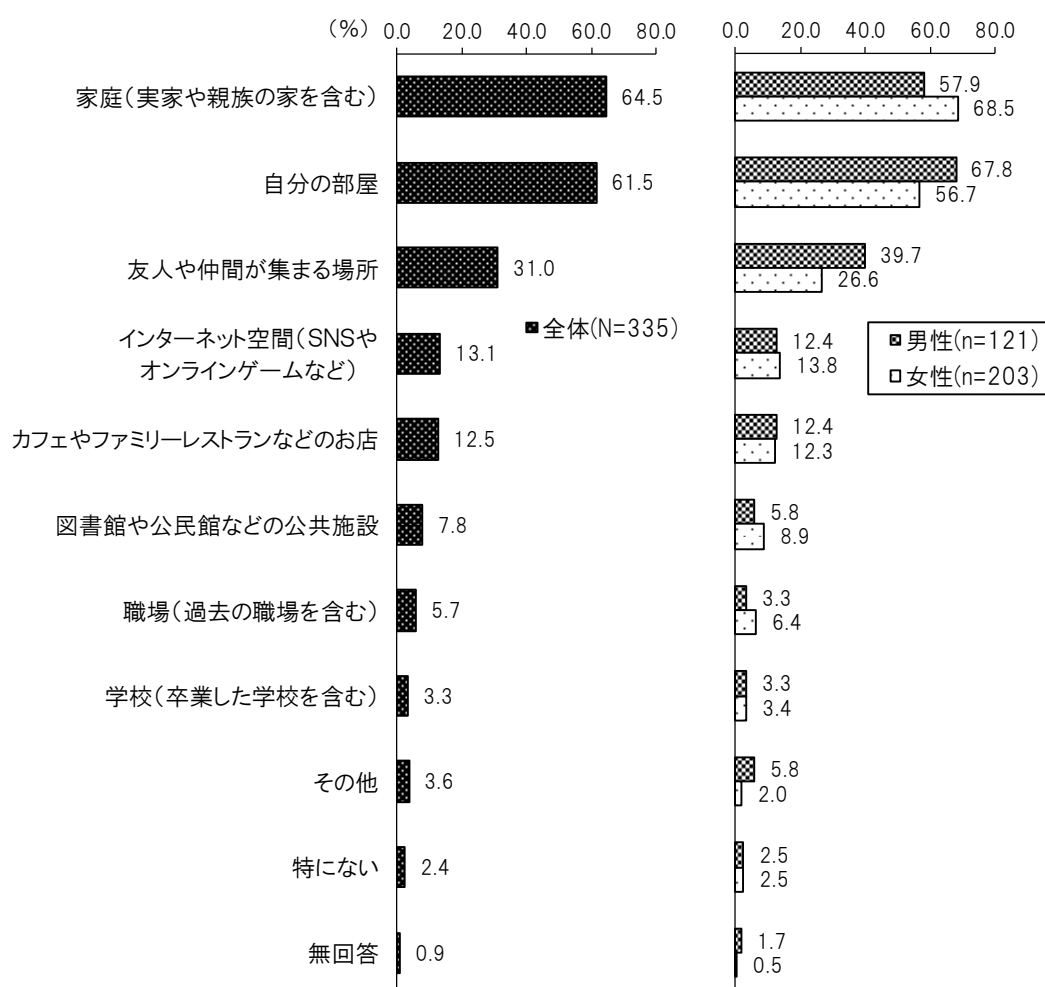
注：「その他」は表記から省略している。

2 居心地の良い場所（ほっとできる場所）

問 25 あなたにとって「居心地の良い場所（ほっとできる場所）」はどこですか。
（回答は3つまで）

居心地の良い場所（ほっとできる場所）については、「家庭（実家や親族の家を含む）」の割合が64.5%と最も高く、次いで「自分の部屋」（61.5%）、「友人や仲間が集まる場所」（31.0%）、「インターネット空間（SNSやオンラインゲームなど）」（13.1%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「自分の部屋」「友人や仲間が集まる場所」の割合が高く、女性は「家庭（実家や親族の家を含む）」の割合が男性を上回っている。



年齢別では、19 歳以下で「自分の部屋」、20～24 歳で「友人や仲間が集まる場所」、30～34 歳で「インターネット空間（SNSやオンラインゲームなど）」「カフェやファミリーレストランなどのお店」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。また、19 歳以下や 35～39 歳で「家庭（実家や親族の家を含む）」の割合が高くなっている。

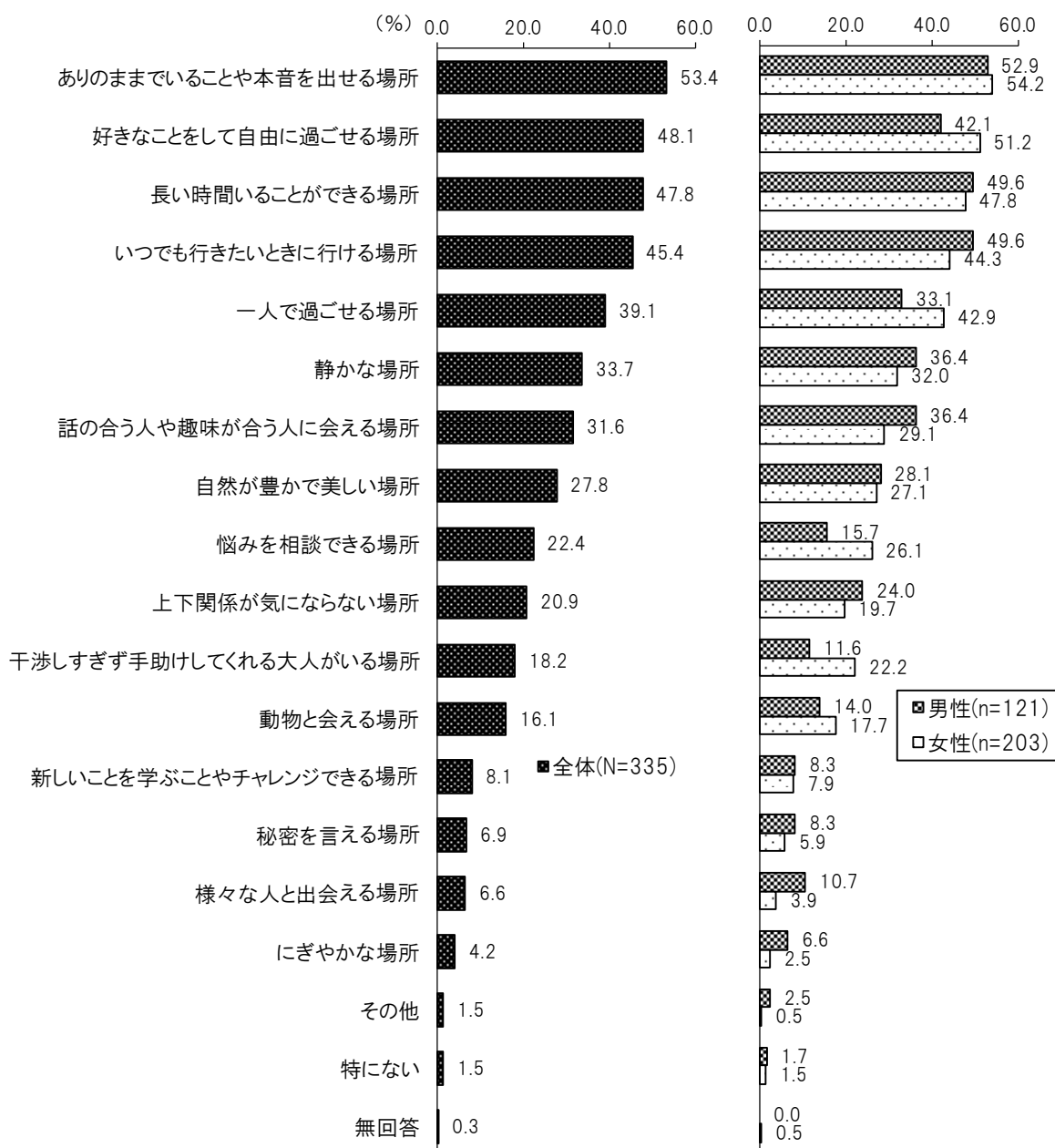
単位 (%)	家庭（実家や親族の家を含む）	自分の部屋	友人や仲間が集まる場所	インターネット空間（SNSやオンラインゲームなど）	カフェやファミリーレストランなどのお店	図書館や公民館などの公共施設	職場（過去の職場を含む）	学校（卒業した学校を含む）	その他	特になし
全体(N=335)	64.5	61.5	31.0	13.1	12.5	7.8	5.7	3.3	3.6	2.4
【年齢別】										
19歳以下(n=33)	69.7	90.9	33.3	9.1	6.1	9.1	0.0	15.2	0.0	3.0
20～24歳(n=54)	55.6	79.6	40.7	13.0	9.3	11.1	1.9	7.4	3.7	0.0
25～29歳(n=72)	62.5	69.4	33.3	12.5	13.9	5.6	0.0	0.0	2.8	2.8
30～34歳(n=83)	61.4	55.4	22.9	16.9	19.3	4.8	9.6	1.2	4.8	2.4
35～39歳(n=93)	72.0	39.8	30.1	11.8	9.7	9.7	10.8	1.1	4.3	3.2

3 居心地の良い場所の要件

問 26 どのような場所であれば、あなたにとって「居心地の良い場所（ほっとできる場所）」になると思いますか。（回答はあてはまるもの全て）

居心地の良い場所の要件については、「ありのままでいることや本音を出せる場所」の割合が 53.4%と最も高く、次いで「好きなことをして自由に過ごせる場所」（48.1%）、「長い時間いることができる場所」（47.8%）、「いつでも行きたいときに行ける場所」（45.4%）、「一人で過ごせる場所」（39.1%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「好きなことをして自由に過ごせる場所」「一人で過ごせる場所」「悩みを相談できる場所」「干渉しすぎず手助けしてくれる大人がいる場所」の割合が高くなっている。



年齢別では、19歳以下で「ありのままでいることや本音を出せる場所」「好きなことをして自由に過ごせる場所」「長い時間いることができる場所」、20～24歳で「話の合う人や趣味が合う人に会える場所」「悩みを相談できる場所」、25～29歳で「干渉しすぎず手助けしてくれる大人がいる場所」、30～34歳で「静かな場所」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	ありのままでいることや本音を出せる場所	好きなことをして自由に過ごせる場所	長い時間いることができる場所	いつでも行きたいときに行ける場所	一人で過ごせる場所	静かな場所	話の合う人や趣味が合う人に会える場所	自然が豊かで美しい場所	悩みを相談できる場所	上下関係が気にならない場所	干渉しすぎず手助けしてくれる大人がいる場所
全体(N=335)	53.4	48.1	47.8	45.4	39.1	33.7	31.6	27.8	22.4	20.9	18.2
【年齢別】											
19歳以下(n=33)	63.6	54.5	54.5	30.3	45.5	39.4	27.3	15.2	21.2	18.2	12.1
20～24歳(n=54)	50.0	48.1	48.1	48.1	33.3	22.2	42.6	33.3	33.3	27.8	16.7
25～29歳(n=72)	51.4	50.0	48.6	50.0	43.1	30.6	27.8	20.8	25.0	27.8	26.4
30～34歳(n=83)	50.6	42.2	48.2	53.0	43.4	45.8	21.7	32.5	16.9	21.7	18.1
35～39歳(n=93)	55.9	49.5	44.1	38.7	33.3	30.1	38.7	30.1	19.4	11.8	15.1

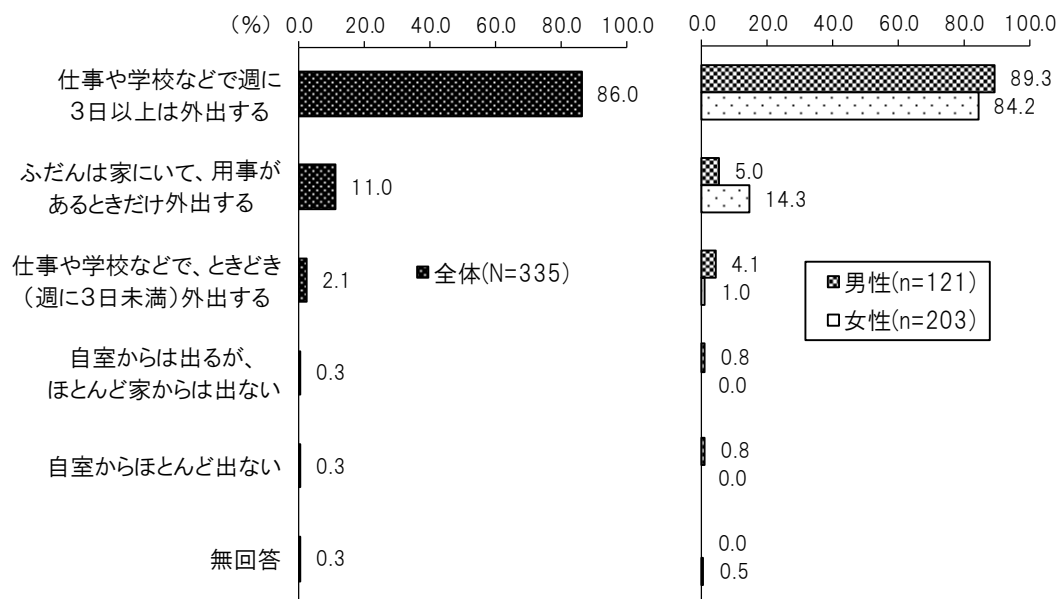
単位 (%)	動物と会える場所	新しいことを学ぶことやチャレンジできる場所	秘密を言える場所	様々な人と出会える場所	にぎやかな場所	その他	特にない
全体(N=335)	16.1	8.1	6.9	6.6	4.2	1.5	1.5
【年齢別】							
19歳以下(n=33)	15.2	3.0	9.1	6.1	9.1	3.0	0.0
20～24歳(n=54)	13.0	13.0	5.6	11.1	3.7	0.0	0.0
25～29歳(n=72)	16.7	6.9	8.3	4.2	2.8	1.4	2.8
30～34歳(n=83)	13.3	3.6	7.2	8.4	2.4	3.6	2.4
35～39歳(n=93)	20.4	11.8	5.4	4.3	5.4	0.0	1.1

4 外出頻度（ひきこもりについての質問項目）

問 27 あなたはふだん、どの程度外出しますか。あなたの行動に最も近いものを選んでください。（回答は1つ）

外出頻度については、「仕事や学校などで週に3日以上は外出する」の割合が86.0%と最も高く、次いで「ふだんは家にいて、用事があるときだけ外出する」（11.0%）が続いている。

性別では、女性は男性に比べ「ふだんは家にいて、用事があるときだけ外出する」の割合が高くなっている。



年齢別では、女性の 25～29 歳で「ふだんは家にいて、用事があるときだけ外出する」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	仕事や学校など週に 3 日以上は外出する	ふだんは家にいて、用事があるときだけ外出する	仕事や学校などで、とき（週に 3 日未満）外出する	自宅からは出るが、ほとんど家からは出ない	自宅からほとんど出ない
全体(N=335)	86.0	11.0	2.1	0.3	0.3
【男性年齢別】					
19歳以下(n=13)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳(n=19)	84.2	10.5	5.3	0.0	0.0
25～29歳(n=27)	81.5	7.4	7.4	0.0	3.7
30～34歳(n=27)	88.9	3.7	3.7	3.7	0.0
35～39歳(n=35)	94.3	2.9	2.9	0.0	0.0
【女性年齢別】					
19歳以下(n=19)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳(n=32)	84.4	12.5	0.0	0.0	0.0
25～29歳(n=45)	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0
30～34歳(n=54)	87.0	13.0	0.0	0.0	0.0
35～39歳(n=53)	81.1	15.1	3.8	0.0	0.0

5 ほとんど外出しない理由

【問 27 で「4～5（ほとんど外出しない）」と回答した方におたずねします。】

問 28 あなたの外出状況が現在の状態となった理由は何ですか。

（回答はあてはまるもの全て）

ほとんど外出しない理由については、「仕事が自分に合わなかったため」「特にない」が各 1 件みられた。

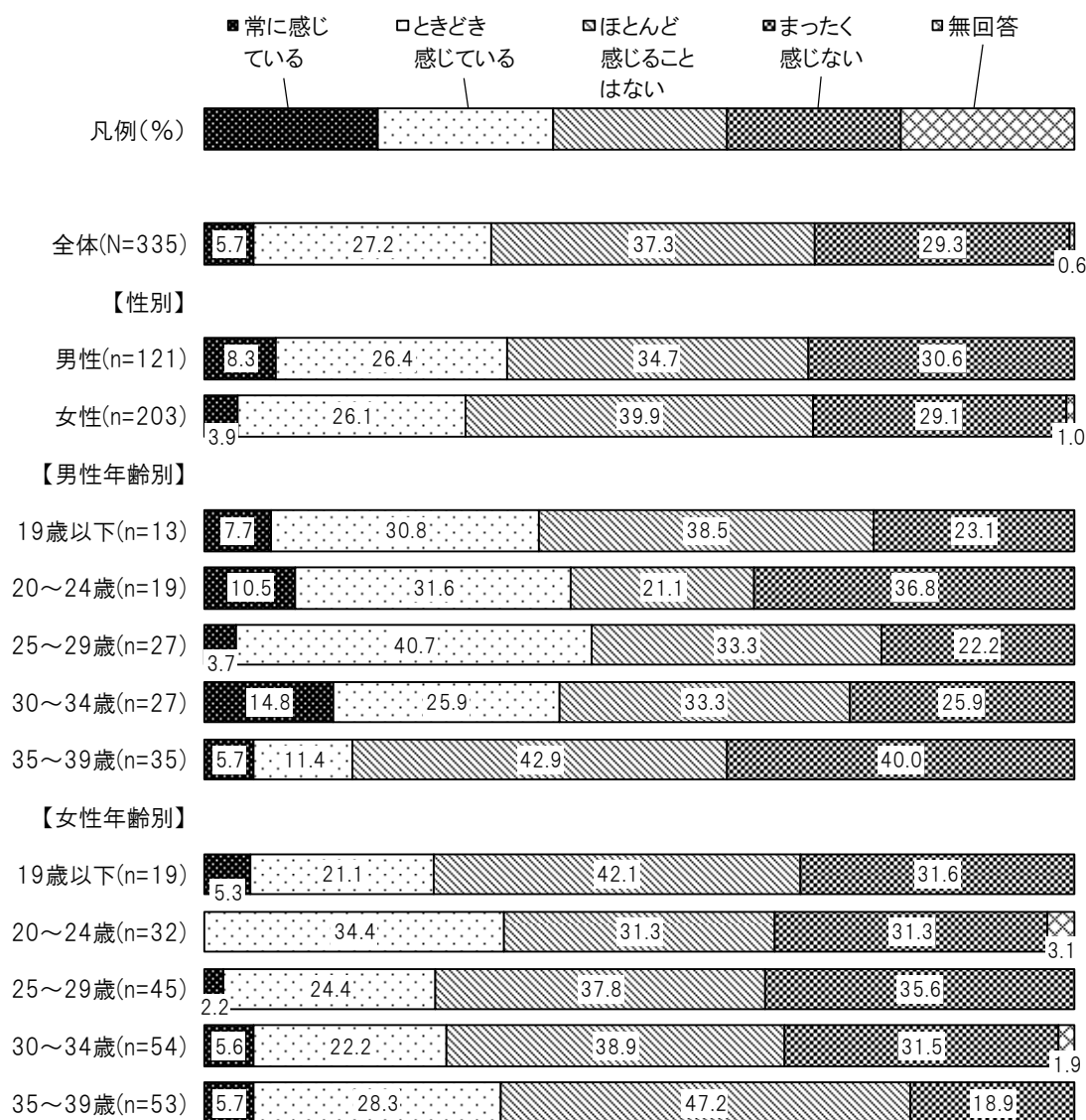
6 孤立感

問 29 あなたは「自分は孤立している」と感じることがありますか。（回答は1つ）

孤立感については、「常を感じている」が5.7%、「ときどき感じている」が27.2%、合計で32.9%が『感じている』と回答している。一方、「ほとんど感じることはない」(37.3%)、「まったく感じない」(29.3%)の合計は66.6%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「常を感じている」の割合がやや高くなっている。

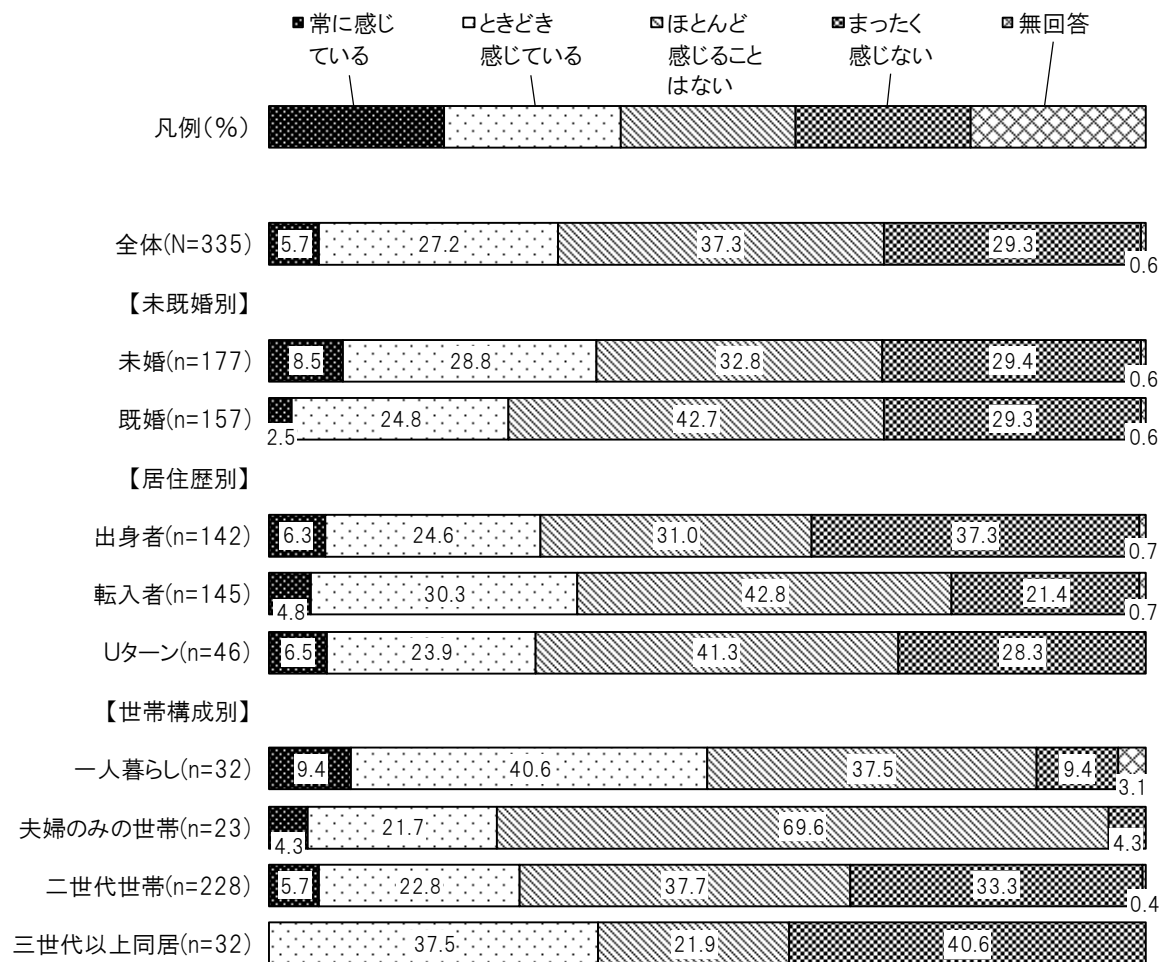
年齢別では、男性の35～39歳で『感じない(合計)』の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



未既婚別（問8）では、未婚は既婚に比べて『感じている（合計）』の割合が高くなっている。

居住歴別（問4）では、出身者で「まったく感じない」、転入者で『感じている（合計）』の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

世帯構成別では、一人暮らしの半数（50.0%）が『感じている（合計）』と回答している。



注：未既婚別について、「既婚」は「結婚している」「結婚していたが、離別・死別した」を合算

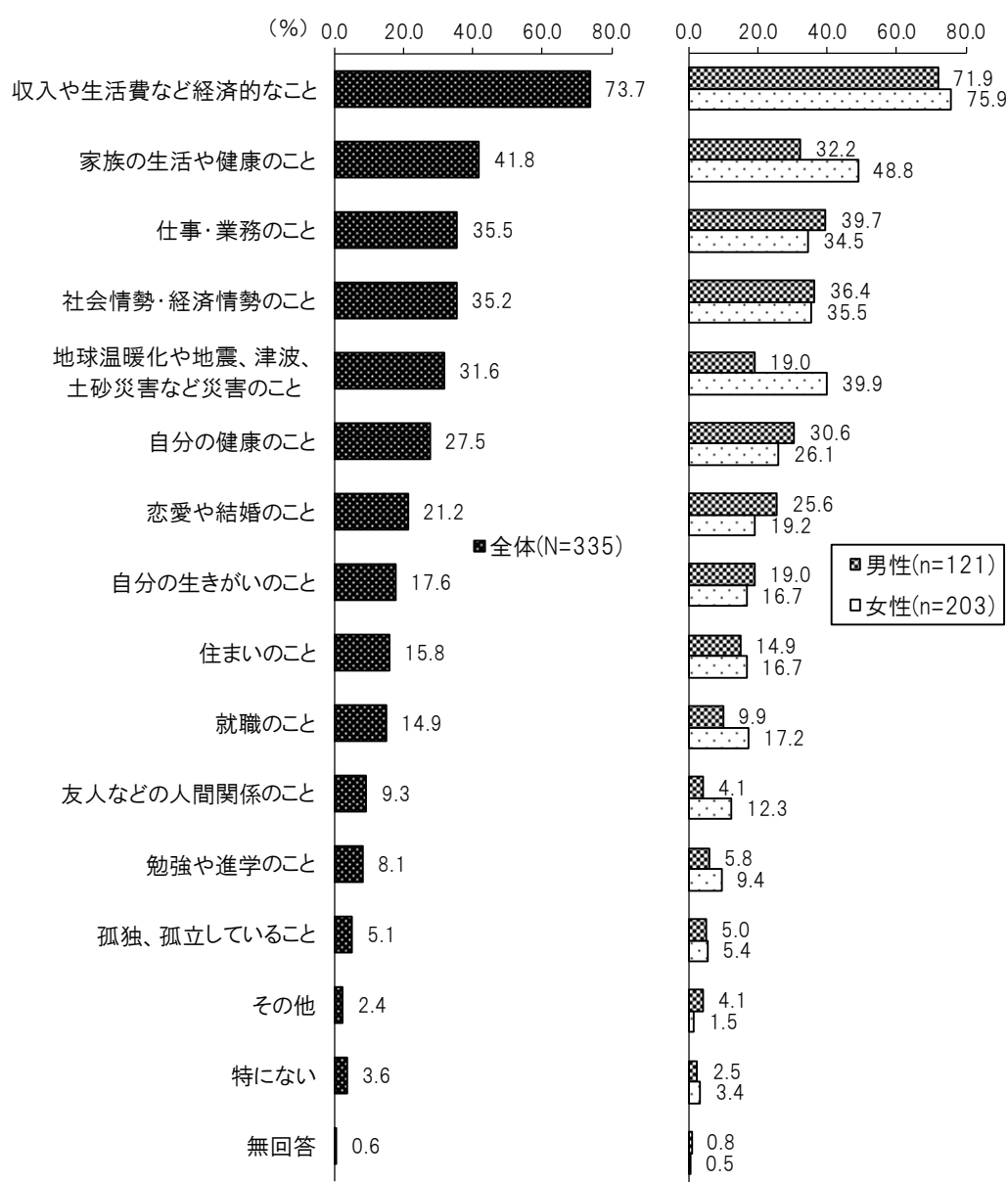
7 将来に不安を感じること

問 30 あなたは、将来に不安を感じていることがありますか。

(回答はあてはまるもの全て)

将来に不安を感じることについては、「収入や生活費など経済的なこと」の割合が73.7%と最も高く、次いで「家族の生活や健康のこと」(41.8%)、「仕事・業務のこと」(35.5%)、「社会情勢・経済情勢のこと」(35.2%)、「地球温暖化や地震、津波、土砂災害など災害のこと」(31.6%)の順となっている。

性別では、女性は「家族の生活や健康のこと」「地球温暖化や地震、津波、土砂災害など災害のこと」の割合が男性を大きく上回っている。



年齢別では、男女共に 19 歳以下で「就職のこと」「勉強や進学のこと」、35～39 歳で「家族の生活や健康のこと」「自分の健康のこと」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。また、男性の 19 歳以下や女性の 20～24 歳で「恋愛や結婚のこと」、女性の 20～24 歳で「友人などの人間関係のこと」、女性の 25～29 歳で「仕事・業務のこと」「地球温暖化や地震、津波、土砂災害など災害のこと」の割合がそれぞれ高くなっている。

単位 (%)	と収入や生活費など経済的なこと	家族の生活や健康のこと	仕事・業務のこと	社会情勢・経済情勢のこと	砂地球温暖化や地震、津波、土砂災害など災害のこと	自分の健康のこと	恋愛や結婚のこと	自分の生きがいのこと	住まいのこと	就職のこと	友人などの人間関係のこと	勉強や進学のこと	孤独、孤立していること	特にな
全体(N=335)	73.7	41.8	35.5	35.2	31.6	27.5	21.2	17.6	15.8	14.9	9.3	8.1	5.1	3.6
【男性年齢別】														
19歳以下(n=13)	61.5	15.4	0.0	15.4	15.4	7.7	53.8	15.4	15.4	30.8	7.7	38.5	7.7	7.7
20～24歳(n=19)	47.4	10.5	42.1	31.6	21.1	10.5	26.3	26.3	21.1	21.1	5.3	0.0	5.3	5.3
25～29歳(n=27)	74.1	18.5	44.4	37.0	22.2	25.9	33.3	25.9	7.4	7.4	3.7	3.7	3.7	3.7
30～34歳(n=27)	81.5	40.7	44.4	40.7	14.8	29.6	14.8	25.9	14.8	7.4	7.4	3.7	3.7	0.0
35～39歳(n=35)	80.0	54.3	45.7	42.9	20.0	54.3	17.1	5.7	17.1	0.0	0.0	0.0	5.7	0.0
【女性年齢別】														
19歳以下(n=19)	42.1	10.5	10.5	10.5	31.6	21.1	36.8	21.1	5.3	57.9	15.8	52.6	5.3	10.5
20～24歳(n=32)	75.0	25.0	37.5	25.0	25.0	12.5	43.8	21.9	15.6	31.3	25.0	12.5	6.3	0.0
25～29歳(n=45)	77.8	51.1	44.4	40.0	55.6	31.1	31.1	15.6	22.2	11.1	13.3	2.2	4.4	6.7
30～34歳(n=54)	83.3	57.4	38.9	44.4	40.7	20.4	1.9	11.1	14.8	5.6	5.6	1.9	7.4	3.7
35～39歳(n=53)	79.2	66.0	28.3	37.7	37.7	37.7	5.7	18.9	18.9	11.3	9.4	5.7	3.8	0.0

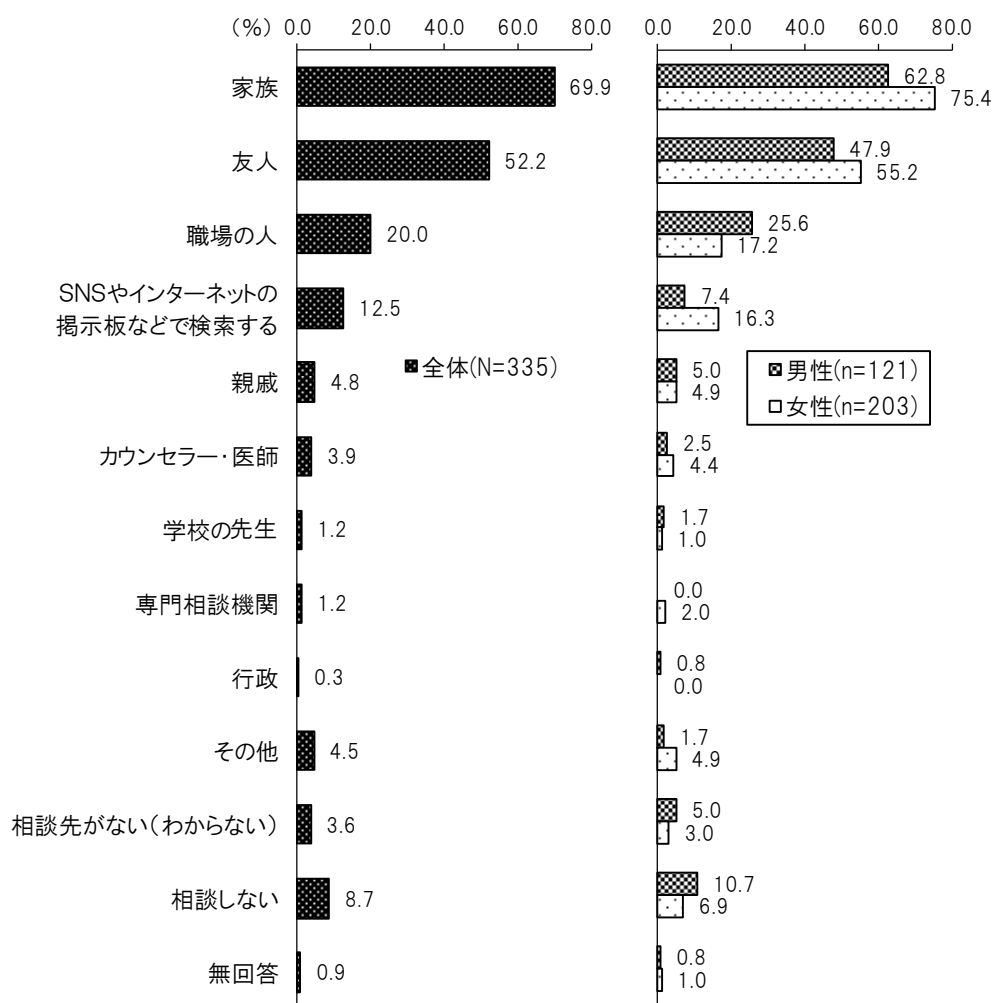
注：「その他」は表記から省略している。

8 不安や悩みがあるときの相談相手

問 31 あなたは、不安や悩み、ストレスがあるとき誰に相談しますか。
(回答はあてはまるもの全て)

不安や悩みがあるときの相談相手については、「家族」の割合が69.9%と最も高く、次いで「友人」(52.2%)、「職場の人」(20.0%)、「SNSやインターネットの掲示板などで検索する」(12.5%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「職場の人」の割合が高く、女性は「家族」「友人」「SNSやインターネットの掲示板などで検索する」の割合が男性を上回っている。



年齢別では、24歳以下で「友人」、30～34歳で「SNSやインターネットの掲示板などで検索する」、35～39歳で「家族」「職場の人」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	家族	友人	職場の人	SNSやインターネットの掲示板などで検索する	親戚	カウンセラー・医師	学校の先生	専門相談機関	行政	その他	相談先がない（わからない）	相談しない
全体(N=335)	69.9	52.2	20.0	12.5	4.8	3.9	1.2	1.2	0.3	4.5	3.6	8.7
【年齢別】												
19歳以下(n=33)	54.5	66.7	6.1	0.0	6.1	3.0	3.0	0.0	0.0	6.1	0.0	15.2
20～24歳(n=54)	64.8	70.4	11.1	13.0	1.9	3.7	5.6	1.9	0.0	7.4	1.9	5.6
25～29歳(n=72)	63.9	44.4	16.7	12.5	5.6	1.4	0.0	0.0	0.0	2.8	5.6	11.1
30～34歳(n=83)	71.1	45.8	20.5	20.5	6.0	2.4	0.0	0.0	0.0	4.8	6.0	9.6
35～39歳(n=93)	81.7	48.4	32.3	9.7	4.3	7.5	0.0	3.2	1.1	3.2	2.2	5.4

9 ヤングケアラーの認知状況

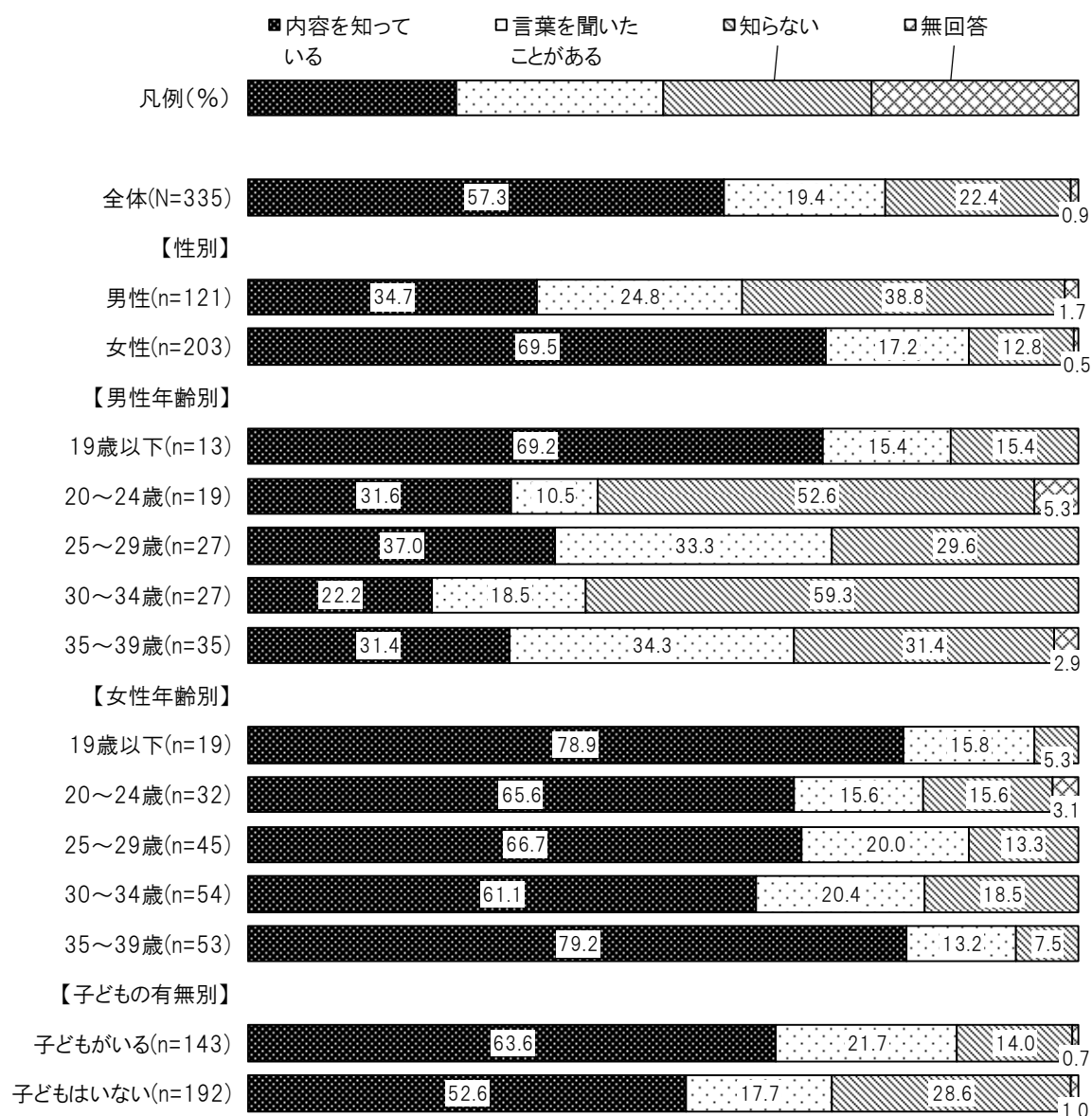
問 32 あなたは「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。（回答は1つ）

ヤングケアラーの認知状況については、「内容を知っている」が57.3%、「言葉を聞いたことがある」が19.4%、合計で76.7%となっている。一方、約2割（22.4%）が「知らない」と回答している。

性別では、男性は女性に比べ「知らない」の割合が高く、女性は「内容を知っている」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、男性の19歳以下で「内容を知っている」、男性の20～24歳や30～34歳で「知らない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人はいない人に比べて「内容を知っている」の割合が高くなっている。

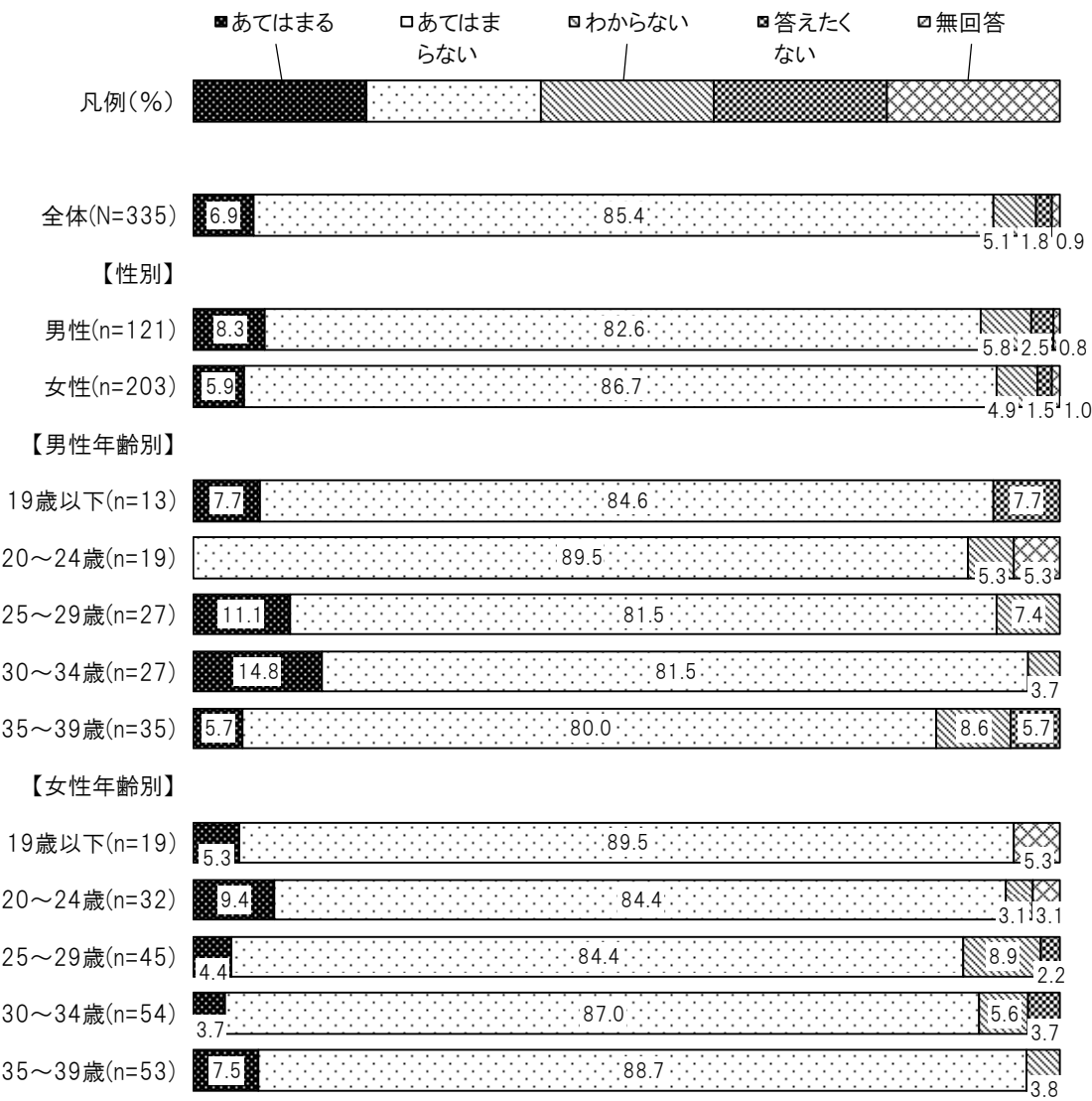


10 自身のヤングケアラー該当状況

問 33 あなたご自身がおおむね中学生くらいまでの時代のことについてお尋ねします。
当時のご自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。（回答は1つ）

自身のヤングケアラー該当状況については、「あてはまる」が6.9%、「あてはまらない」が85.4%となっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では男性の30～34歳で「あてはまる」の割合が他の年齢層に比べてやや高くなっている。



【5】少子化について

1 低い出生率への危機感の程度

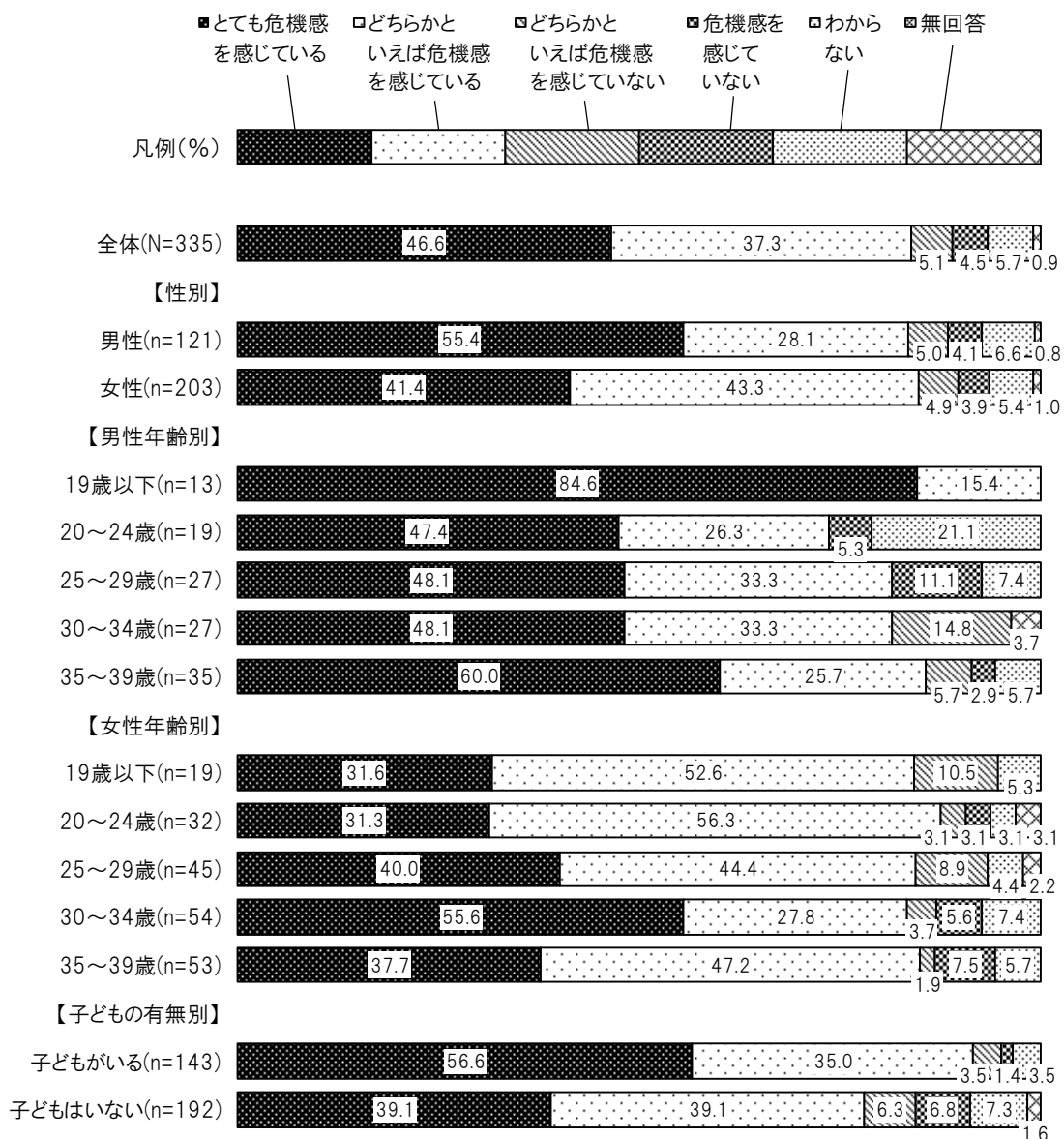
問 34 近年、我が国では人口の減少と共に少子高齢化が進行しており、子どもが少なくなっています。現在の低い出生率が続くことについて、将来にどの程度危機感を感じますか。（回答は1つ）

低い出生率への危機感の程度については、「とても危機感を感じている」が46.6%、「どちらかといえば危機感を感じている」が37.3%、合計で83.9%が『危機感を感じている』と回答している。一方、「どちらかといえば危機感を感じていない」(5.1%)、「危機感を感じていない」(4.5%)の合計は9.6%となっている。

性別では、男性は「とても危機感を感じている」の割合が女性を大きく上回っている。

年齢別では、男性の19歳以下や女性の30～34歳で「とても危機感を感じている」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人はいない人に比べて「とても危機感を感じている」の割合が高くなっている。

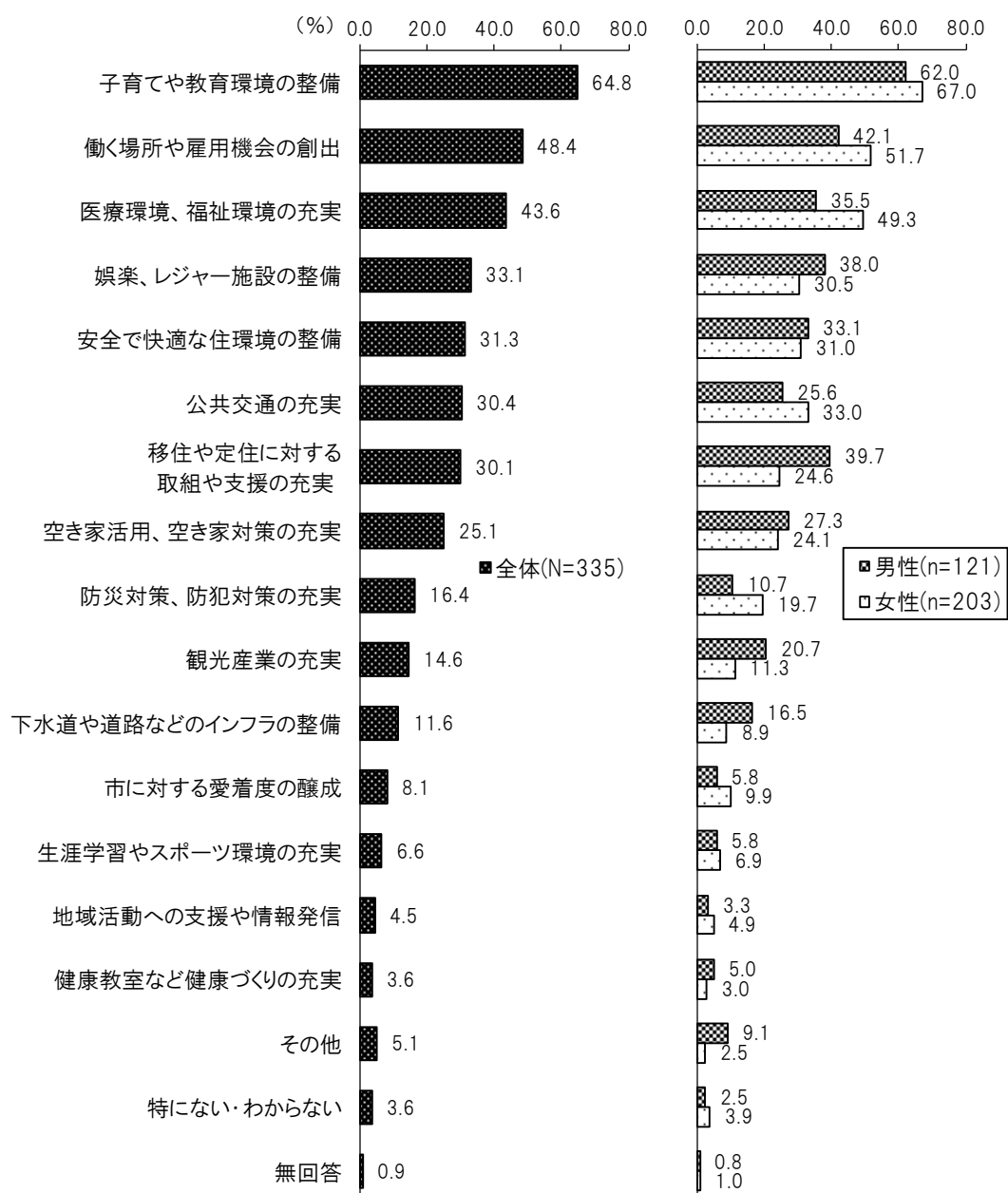


2 人口減少に対して力を入れるべき取組

問 35 人口減少が進行する中、今後、玉野市はどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。（回答は5つまで）

人口減少に対して力を入れるべき取組については、「子育てや教育環境の整備」の割合が64.8%と最も高く、次いで「働く場所や雇用機会の創出」（48.4%）、「医療環境、福祉環境の充実」（43.6%）、「娯楽、レジャー施設の整備」（33.1%）、「安全で快適な住環境の整備」（31.3%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「移住や定住に対する取組や支援の充実」の割合が高く、女性は「働く場所や雇用機会の創出」「医療環境、福祉環境の充実」などの割合が男性を上回っている。



年齢別では、20～24歳で「安全で快適な住環境の整備」「公共交通の充実」、25～29歳で「下水道や道路などのインフラの整備」、30～34歳で「働く場所や雇用機会の創出」、35～39歳で「子育てや教育環境の整備」「医療環境、福祉環境の充実」「防災対策、防犯対策の充実」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	子育てや教育環境の整備	働く場所や雇用機会の創出	医療環境、福祉環境の充実	娯楽、レジャー施設の整備	安全で快適な住環境の整備	公共交通の充実	移住や定住に対する取組や支援の充実	空き家活用、空き家対策の充実	防災対策、防犯対策の充実	観光産業の充実
全体(N=335)	64.8	48.4	43.6	33.1	31.3	30.4	30.1	25.1	16.4	14.6
【年齢別】										
19歳以下(n=33)	48.5	24.2	39.4	15.2	21.2	27.3	15.2	12.1	15.2	18.2
20～24歳(n=54)	57.4	35.2	27.8	35.2	40.7	37.0	35.2	16.7	9.3	18.5
25～29歳(n=72)	62.5	52.8	43.1	33.3	36.1	29.2	30.6	29.2	15.3	11.1
30～34歳(n=83)	66.3	57.8	42.2	37.3	24.1	27.7	28.9	25.3	15.7	12.0
35～39歳(n=93)	75.3	52.7	55.9	34.4	32.3	31.2	33.3	31.2	22.6	16.1

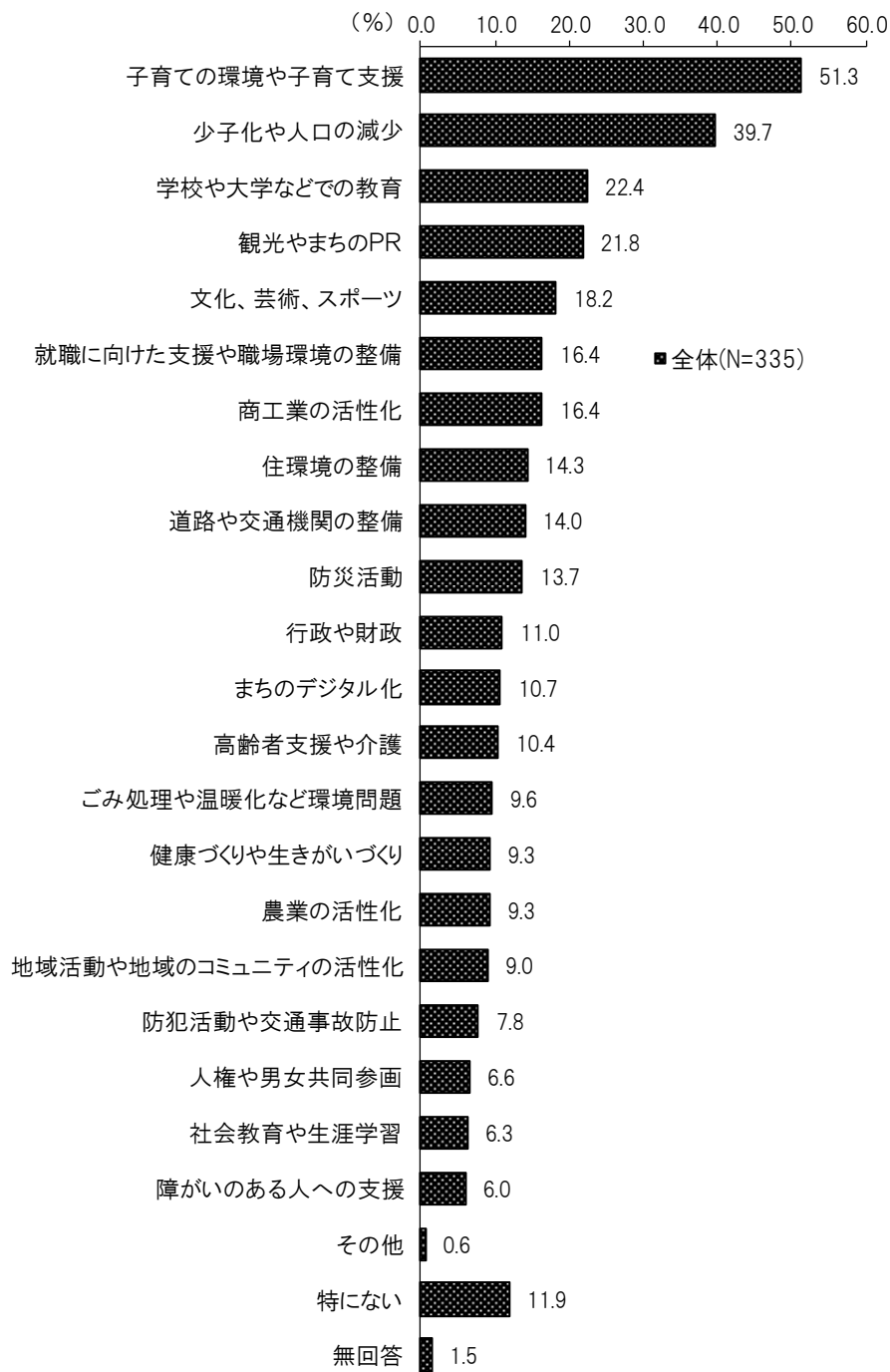
単位 (%)	下水道や道路などのインフラの整備	市に対する愛着度の醸成	生涯学習やスポーツ環境の充実	地域活動への支援や情報発信	健康教室など健康づくりの充実	その他	特にない・わからない
全体(N=335)	11.6	8.1	6.6	4.5	3.6	5.1	3.6
【年齢別】							
19歳以下(n=33)	6.1	9.1	9.1	12.1	12.1	3.0	12.1
20～24歳(n=54)	9.3	9.3	5.6	9.3	5.6	1.9	1.9
25～29歳(n=72)	18.1	8.3	6.9	0.0	2.8	4.2	4.2
30～34歳(n=83)	10.8	6.0	7.2	3.6	2.4	9.6	2.4
35～39歳(n=93)	10.8	8.6	5.4	3.2	1.1	4.3	2.2

【6】行政の取組について

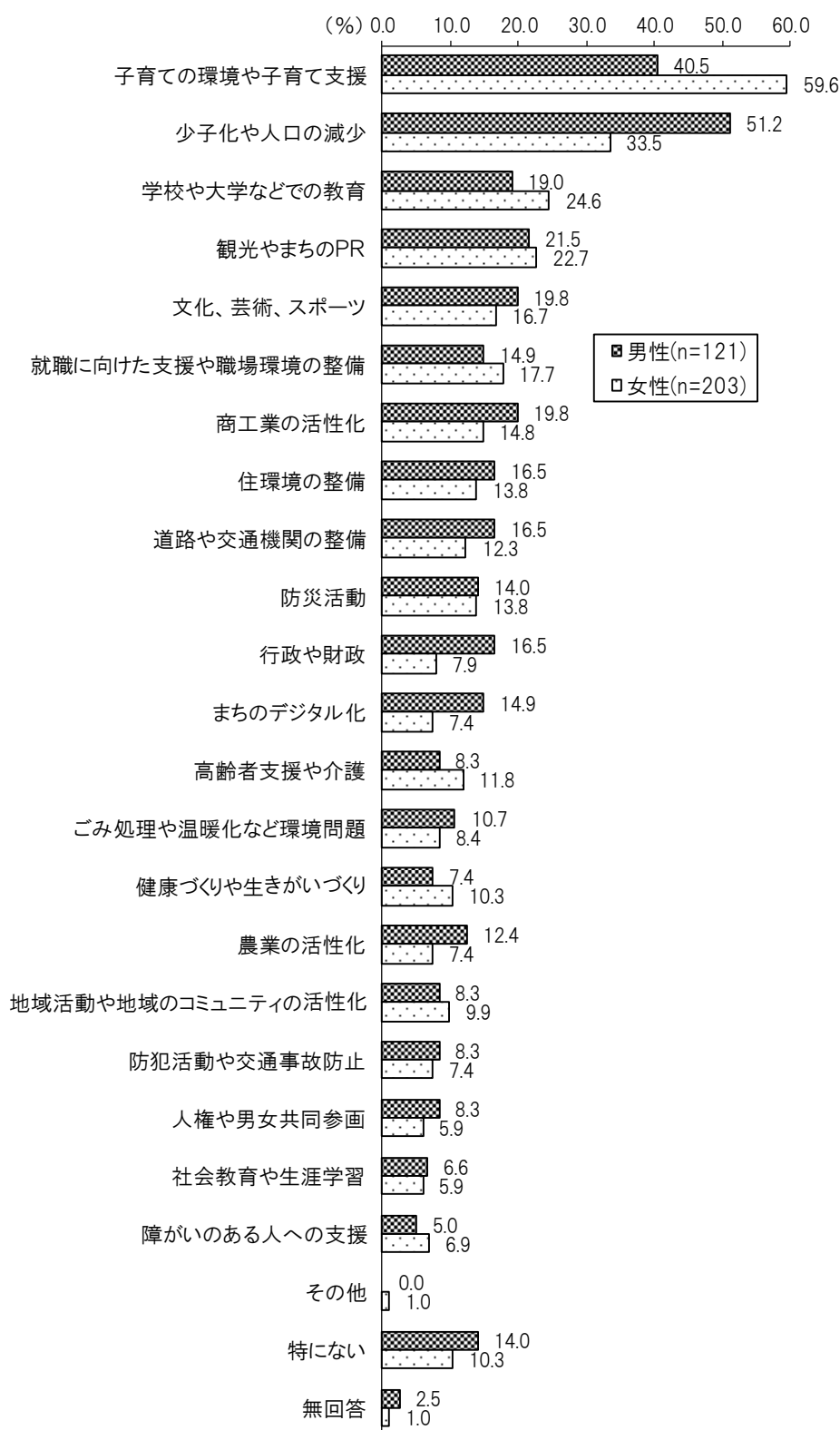
1 まちづくりにおいて関心があること

問 36 あなたは、玉野市の行政やまちづくりについて、どのようなことに関心がありますか。（回答はあてはまるもの全て）

まちづくりにおいて関心があることについては、「子育ての環境や子育て支援」の割合が51.3%と最も高く、次いで「少子化や人口の減少」（39.7%）、「学校や大学などでの教育」（22.4%）、「観光やまちのPR」（21.8%）、「文化、芸術、スポーツ」（18.2%）の順となっている。



性別では、男性は女性に比べ「少子化や人口の減少」の割合が高く、女性は「子育ての環境や子育て支援」の割合が男性を大きく上回っている。



年齢別では、19歳以下で「文化、芸術、スポーツ」、20～24歳で「地域活動や地域のコミュニティの活性化」、25～29歳で「道路や交通機関の整備」「防災活動」、30～34歳で「商工業の活性化」、35～39歳で「子育ての環境や子育て支援」「少子化や人口の減少」「学校や大学などでの教育」「住環境の整備」などの割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	子育ての環境や子育て支援	少子化や人口の減少	学校や大学などでの教育	観光やまちのPR	文化、芸術、スポーツ	就職に向けた支援や職場環境の整備	商工業の活性化	住環境の整備	道路や交通機関の整備	防災活動	行政や財政	まちのデジタル化
全体(N=335)	51.3	39.7	22.4	21.8	18.2	16.4	16.4	14.3	14.0	13.7	11.0	10.7
【年齢別】												
19歳以下(n=33)	33.3	24.2	12.1	24.2	27.3	9.1	9.1	3.0	12.1	6.1	6.1	6.1
20～24歳(n=54)	42.6	38.9	24.1	25.9	18.5	22.2	13.0	13.0	3.7	1.9	7.4	14.8
25～29歳(n=72)	47.2	38.9	18.1	19.4	22.2	18.1	11.1	18.1	22.2	23.6	16.7	11.1
30～34歳(n=83)	55.4	41.0	21.7	22.9	12.0	14.5	24.1	7.2	14.5	10.8	13.3	7.2
35～39歳(n=93)	62.4	45.2	29.0	19.4	17.2	16.1	18.3	22.6	14.0	18.3	8.6	12.9

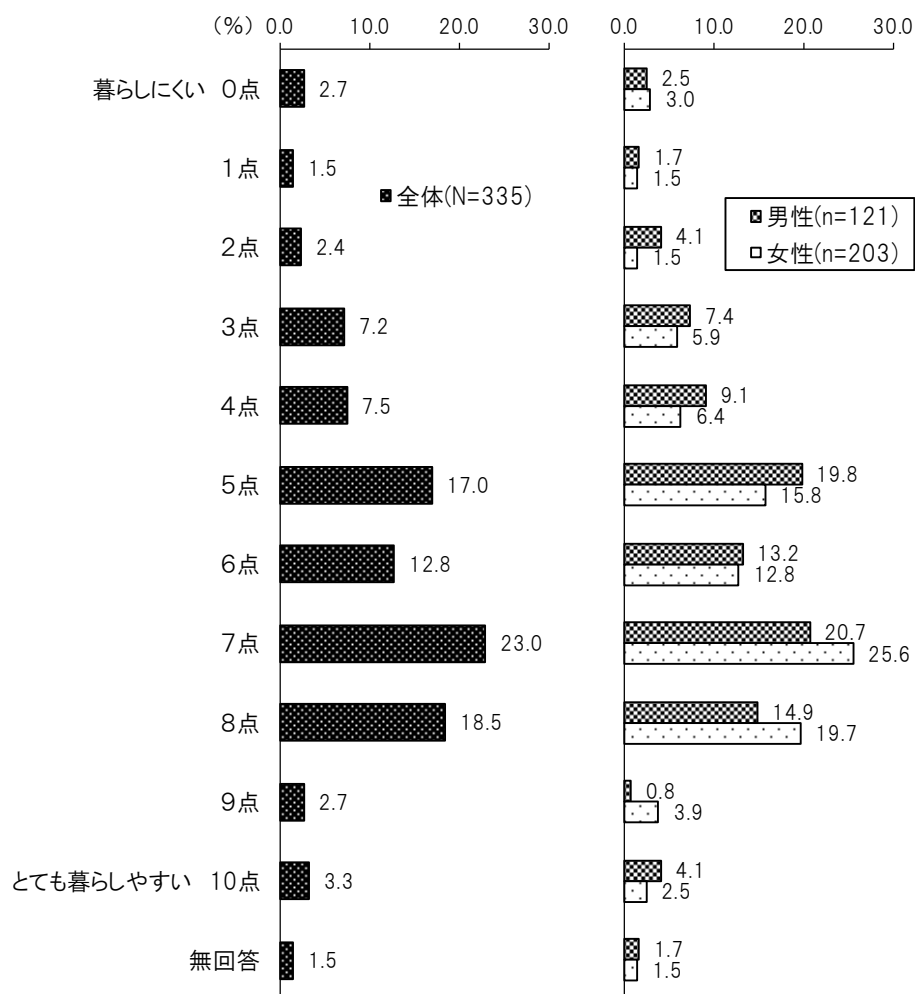
単位 (%)	高齢者支援や介護	ごみ処理や温暖化など環境問題	健康づくりや生きがいづくり	農業の活性化	地域活動や地域のコミュニティの活性化	防犯活動や交通事故防止	人権や男女共同参画	社会教育や生涯学習	障がいのある人への支援	その他	特になし
全体(N=335)	10.4	9.6	9.3	9.3	9.0	7.8	6.6	6.3	6.0	0.6	11.9
【年齢別】											
19歳以下(n=33)	9.1	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0	9.1	0.0	3.0	0.0	21.2
20～24歳(n=54)	7.4	3.7	5.6	7.4	18.5	3.7	3.7	9.3	5.6	0.0	9.3
25～29歳(n=72)	12.5	6.9	15.3	9.7	11.1	12.5	9.7	5.6	1.4	0.0	11.1
30～34歳(n=83)	4.8	6.0	6.0	8.4	3.6	7.2	3.6	4.8	6.0	2.4	13.3
35～39歳(n=93)	16.1	20.4	11.8	12.9	8.6	9.7	7.5	8.6	10.8	0.0	9.7

2 暮らしやすさ

問 37 あなたにとって、玉野市は暮らしやすいまちだと思いますか。「とても暮らしやすい」を10点、「暮らしにくい」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。（回答は1つ）

暮らしやすさについては、「7点」の割合が23.0%と最も高く、次いで「8点」(18.5%)、「5点」(17.0%)、「6点」(12.8%)の順となっており、全体の平均点数は6.0点となっている。

性別では、女性は男性に比べ「7点」「8点」の割合が高くなっている。



	平均(点)
全体(N=335)	6.0
男性(n=121)	5.7
女性(n=203)	6.1

年齢別では、男性の25～29歳で平均点数がやや低くなっている。また、男女共に30～34歳で「8点」、35～39歳で「7点」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人はいない人に比べて「7点」「8点」の割合が高くなっている。

居住歴別では、転入者で「7点」「8点」の割合が他の層に比べてやや高くなっている。

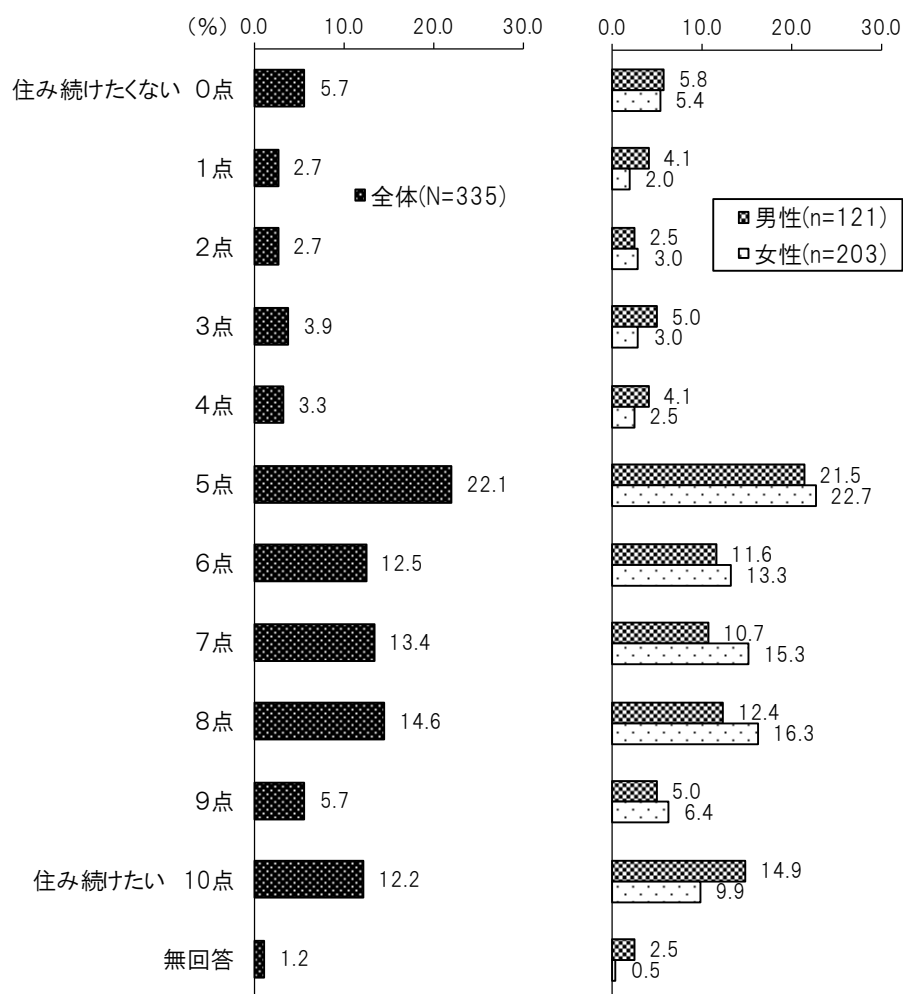
単位 (%)	0点 暮らしにくい	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 とても暮らしやすい	平均(点)
全体(N=335)	2.7	1.5	2.4	7.2	7.5	17.0	12.8	23.0	18.5	2.7	3.3	6.0
【男性年齢別】												
19歳以下(n=13)	0.0	0.0	0.0	7.7	23.1	15.4	15.4	23.1	15.4	0.0	0.0	5.7
20～24歳(n=19)	0.0	0.0	0.0	15.8	15.8	21.1	15.8	15.8	10.5	0.0	5.3	5.6
25～29歳(n=27)	7.4	3.7	11.1	3.7	7.4	14.8	18.5	7.4	14.8	0.0	11.1	5.3
30～34歳(n=27)	0.0	3.7	3.7	7.4	3.7	25.9	14.8	18.5	18.5	0.0	0.0	5.7
35～39歳(n=35)	2.9	0.0	2.9	5.7	5.7	20.0	5.7	34.3	14.3	2.9	2.9	6.1
【女性年齢別】												
19歳以下(n=19)	5.3	0.0	0.0	5.3	10.5	15.8	10.5	26.3	15.8	5.3	5.3	6.1
20～24歳(n=32)	0.0	3.1	0.0	0.0	6.3	15.6	25.0	18.8	12.5	12.5	3.1	6.5
25～29歳(n=45)	2.2	0.0	0.0	11.1	8.9	15.6	6.7	28.9	17.8	2.2	2.2	6.0
30～34歳(n=54)	5.6	3.7	3.7	0.0	3.7	16.7	9.3	22.2	33.3	1.9	0.0	6.0
35～39歳(n=53)	1.9	0.0	1.9	11.3	5.7	15.1	15.1	30.2	13.2	1.9	3.8	6.0
【子どもの有無別】												
子どもがいる(n=143)	2.8	0.0	2.8	5.6	6.3	15.4	14.0	25.9	21.0	1.4	3.5	6.1
子どもはいない(n=192)	2.6	2.6	2.1	8.3	8.3	18.2	12.0	20.8	16.7	3.6	3.1	5.8
【居住歴別】												
出身者(n=142)	2.8	1.4	2.1	7.7	9.9	17.6	12.0	21.8	15.5	4.9	4.2	5.9
転入者(n=145)	2.8	1.4	3.4	6.9	6.2	15.2	13.1	25.5	22.1	0.7	1.4	5.9
Uターン(n=46)	2.2	2.2	0.0	6.5	4.3	19.6	15.2	19.6	17.4	2.2	6.5	6.2

3 永住意向

問 38 あなたは、これからも玉野市に住み続けたいと思いますか。「住み続けたい」を10点、「住み続けたくない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。
(回答は1つ)

永住意向については、「5点」の割合が22.1%と最も高く、次いで「8点」(14.6%)、「7点」(13.4%)、「6点」(12.5%)の順となっており、全体の平均点数は6.1点となっている。

性別では、男性は女性に比べ「10点」の割合が高く、女性は「7点」「8点」の割合が男性をやや上回っている。



	平均(点)
全体(N=335)	6.1
男性(n=121)	6.0
女性(n=203)	6.2

年齢別では、男女共におおむね年齢が上がるほど平均点数が高くなっており、特に男性の35～39歳で「10点」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人はいない人に比べて「8点」「10点」の割合が高く、子どもがいない人で「5点」の割合が高くなっている。

居住歴別では、Uターンで平均点数が他の層に比べて高くなっている。

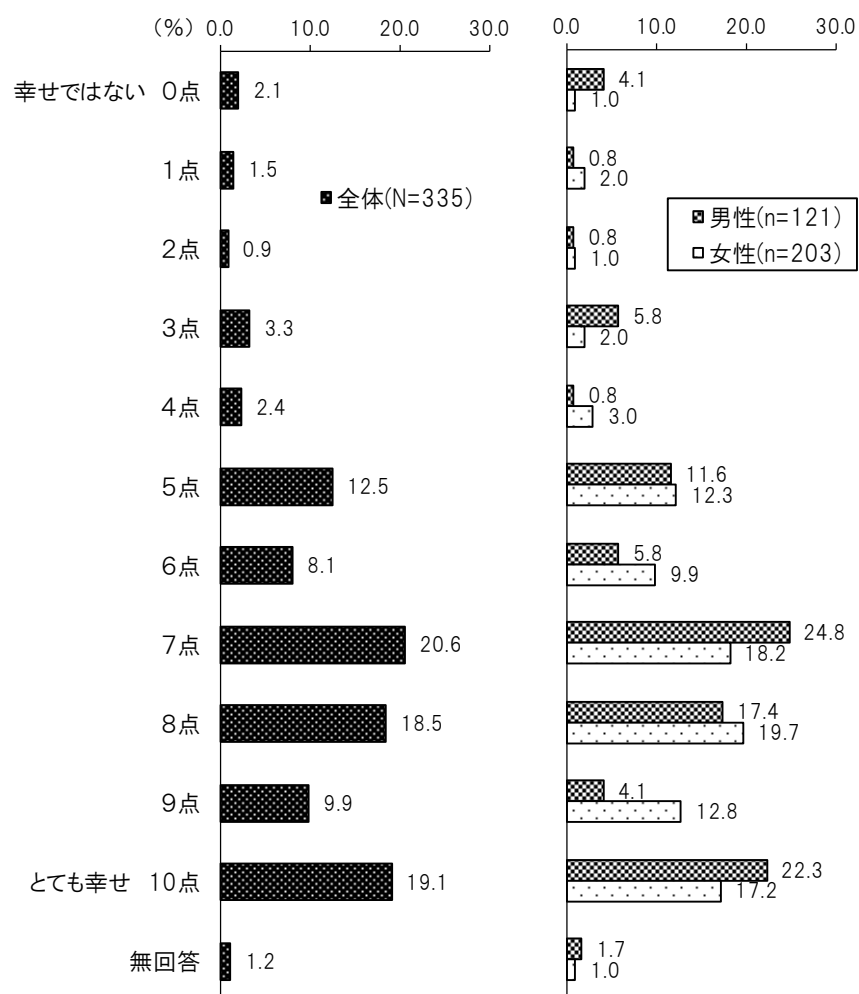
単位 (%)	く 0 な い	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	た 1 い 0 点	平 均 (点)
全体(N=335)	5.7	2.7	2.7	3.9	3.3	22.1	12.5	13.4	14.6	5.7	12.2	6.1
【男性年齢別】												
19歳以下(n=13)	15.4	7.7	0.0	7.7	7.7	23.1	0.0	0.0	7.7	15.4	15.4	5.3
20～24歳(n=19)	0.0	5.3	0.0	15.8	10.5	21.1	21.1	15.8	5.3	0.0	5.3	5.3
25～29歳(n=27)	7.4	0.0	7.4	3.7	0.0	25.9	18.5	11.1	7.4	0.0	14.8	5.7
30～34歳(n=27)	0.0	7.4	3.7	0.0	3.7	29.6	14.8	7.4	18.5	0.0	11.1	6.0
35～39歳(n=35)	8.6	2.9	0.0	2.9	2.9	11.4	2.9	14.3	17.1	11.4	22.9	6.9
【女性年齢別】												
19歳以下(n=19)	15.8	0.0	0.0	0.0	10.5	31.6	10.5	21.1	10.5	0.0	0.0	5.0
20～24歳(n=32)	3.1	6.3	0.0	6.3	0.0	31.3	12.5	21.9	6.3	3.1	9.4	5.8
25～29歳(n=45)	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	15.6	8.9	15.6	15.6	4.4	15.6	6.2
30～34歳(n=54)	5.6	0.0	5.6	1.9	0.0	24.1	9.3	9.3	18.5	14.8	11.1	6.5
35～39歳(n=53)	3.8	0.0	1.9	1.9	1.9	18.9	22.6	15.1	22.6	3.8	7.5	6.4
【子どもの有無別】												
子どもがいる(n=143)	5.6	0.0	2.1	2.8	1.4	16.8	12.6	14.7	18.2	8.4	16.8	6.7
子どもはいない(n=192)	5.7	4.7	3.1	4.7	4.7	26.0	12.5	12.5	12.0	3.6	8.9	5.6
【居住歴別】												
出身者(n=142)	6.3	4.2	3.5	3.5	2.1	23.2	10.6	13.4	13.4	3.5	15.5	6.0
転入者(n=145)	5.5	1.4	2.1	4.1	4.1	23.4	13.1	15.2	15.9	6.9	7.6	6.1
Uターン(n=46)	4.3	2.2	2.2	4.3	4.3	13.0	17.4	8.7	15.2	8.7	17.4	6.6

4 幸福度

問 39 あなたは、今の暮らしを、どの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「幸せではない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。
(回答は1つ)

幸福度については、「7点」の割合が20.6%と最も高く、次いで「10点」(19.1%)、「8点」(18.5%)、「5点」(12.5%)の順となっており、全体の平均点数は7.1点となっている。

性別では、男性は女性に比べ「7点」「10点」の割合が高く、女性は「9点」の割合が男性を上回っている。



	平均(点)
全体(N=335)	7.1
男性(n=121)	7.0
女性(n=203)	7.2

年齢別では、男性の25～29歳で平均点数が他の年齢層に比べて低くなっている。

子どもの有無別では、子どもがいる人はいない人に比べて「8点」「10点」の割合が高く、子どもがいない人で「5点」「6点」の割合が高くなっている。

居住歴別では、出身者で「10点」、Uターンで「7点」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	0点 幸せではない	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 とても幸せ	平均(点)
全体(N=335)	2.1	1.5	0.9	3.3	2.4	12.5	8.1	20.6	18.5	9.9	19.1	7.1
【男性年齢別】												
19歳以下(n=13)	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	30.8	7.7	7.7	30.8	7.2
20～24歳(n=19)	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	10.5	5.3	26.3	26.3	0.0	26.3	7.6
25～29歳(n=27)	3.7	3.7	0.0	18.5	0.0	14.8	3.7	22.2	11.1	3.7	18.5	6.2
30～34歳(n=27)	7.4	0.0	0.0	3.7	0.0	18.5	7.4	22.2	22.2	0.0	14.8	6.5
35～39歳(n=35)	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	5.7	8.6	25.7	17.1	8.6	25.7	7.6
【女性年齢別】												
19歳以下(n=19)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	15.8	21.1	31.6	15.8	10.5	7.7
20～24歳(n=32)	0.0	0.0	3.1	3.1	3.1	15.6	15.6	21.9	6.3	6.3	21.9	7.0
25～29歳(n=45)	2.2	2.2	0.0	0.0	6.7	13.3	17.8	8.9	17.8	13.3	15.6	7.0
30～34歳(n=54)	1.9	1.9	0.0	3.7	0.0	7.4	5.6	18.5	24.1	14.8	22.2	7.6
35～39歳(n=53)	0.0	3.8	1.9	1.9	3.8	17.0	1.9	22.6	20.8	13.2	13.2	7.0
【子どもの有無別】												
子どもがいる(n=143)	1.4	2.1	1.4	2.1	1.4	9.8	4.2	18.9	23.8	10.5	23.8	7.5
子どもはいない(n=192)	2.6	1.0	0.5	4.2	3.1	14.6	10.9	21.9	14.6	9.4	15.6	6.9
【居住歴別】												
出身者(n=142)	2.8	1.4	1.4	2.8	1.4	14.1	8.5	21.1	15.5	9.2	21.8	7.1
転入者(n=145)	1.4	2.1	0.7	4.1	2.8	12.4	7.6	17.9	21.4	10.3	17.9	7.1
Uターン(n=46)	2.2	0.0	0.0	2.2	4.3	8.7	8.7	26.1	19.6	10.9	15.2	7.2

資料 調査票

玉野市 若者の意識と生活に関するアンケート調査

【 ご協力お願い 】

本市では、全ての子どもや若者が健やかに成長でき、将来にわたって幸せに生活できる「こどもまんなか社会」をつくっていくための法律である「こども基本法」に基づき「玉野市こども・若者計画」の策定に取り組んでいます。

この調査は、計画の策定にあたって、17 歳～39 歳の方に、ふだんの生活の状況やご意見、ご要望などをお伺いし、今後、取り組むべき施策を検討する上での基礎的な資料とさせていただきますことを目的として実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和 7（2025）年 7 月
玉野市

このアンケートはインターネットで 7 月 29 日（火）までに回答をお願いします。

【 回答方法について 】

■ スマートフォンで回答する場合

右の二次元コードを読み取り、回答画面を開いてください。

■ パソコンで回答する場合

以下の URL より回答画面を開いてください。

https://gyosei.qualtrics.com/jfe/form/SV_55dEV5smwRsvVXM



○ 回答は無記名で統計的に処理し、本調査の目的以外に利用することはありません。

調査のお問い合わせ先

玉野市 健康福祉部 こどもみらい課
〒706-8510 岡山県玉野市宇野 1 丁目 27 番 1 号
電 話（0863）32-5554
メール kodomo@city.tamano.lg.jp



【あなたご自身のことについてお尋ねします。】

問1 あなたがお住まいの地区はどこですか。（回答は1つ）

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|----------|
| 1 田井地区 | 2 築港地区 | 3 宇野地区 | 4 玉・奥玉地区 |
| 5 玉原地区 | 6 和田地区 | 7 日比・渋川地区 | 8 荘内地区 |
| 9 八浜・大崎地区 | 10 後閑・山田地区 | 11 東児地区 | |

問2 あなたの性別をお答えください。（回答は1つ）

- | | | |
|------|------|---------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 回答しない |
|------|------|---------|

問3 あなたの年齢をお答えください。（回答は1つ）

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 17～19 歳 | 2 20～24 歳 | 3 25～29 歳 | 4 30～34 歳 | 5 35～39 歳 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|

問4 あなたは、生まれたときからずっと玉野市に住んでいますか。（回答は1つ）

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 生まれたときからずっと住んでいる | 2 他の市町村から引っ越して来た |
| 3 一度出ていたが戻ってきた（Uターン） | |

問5 あなたの同居家族の構成をお答えください。（回答は1つ）

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 一人暮らし（単身世帯）→ 問7へ | 2 あなたと配偶者（パートナー）の二人暮らし |
| 3 二世帯世帯（親と子） | 4 三世帯以上同居（親と子と孫等） |
| 5 その他（ ） | |

【問5で「2～5」と回答した方におたずねします。】

問6 現在、あなたと同居している方をお答えください。（回答はあてはまるもの全て）

- | | | | |
|-------|-----------|---------|--------|
| 1 母親 | 2 父親 | 3 きょうだい | 4 配偶者※ |
| 5 祖父母 | 6 あなたの子ども | 7 親戚 | 8 恋人 |
| 9 友人 | 10 その他（ ） | | |

※「配偶者」には「事実婚」の状態にあるパートナーも含まれます。「事実婚」は、お互いが現に婚姻しているという意思があること、同居していること、生計が同一であることの3つを満たす場合とします。それ以外は「8 恋人」を選んでください。

問7 あなたの職業をお答えください。（回答は1つ）

- | | | |
|-------------|--------------------------|--|
| 1 高校生 | 2 大学生※ ¹ | 3 パート・アルバイト※ ² |
| 4 派遣社員・契約社員 | 5 正規の社員・職員※ ³ | 6 自営業※ ⁴ ・自由業※ ⁵ |
| 7 家事専業 | 8 無職 | 9 その他（ ） |

※¹ 予備校生、専門学校生、短大生を含む。※² 学生を除く。※³ 代表者、役員等を含む。

※⁴ 商工業、サービス業等 ※⁵ 開業医、弁護士等

【結婚の考え方についてお尋ねします。】

問8 あなたは結婚（事実婚を含む）をしていますか。（回答は1つ）

- 1 結婚している → 問13へ
- 2 結婚していたが、離別・死別した → 問13へ
- 3 結婚していない

【問8で「3（結婚していない）」と回答した方におたずねします。】

問9 現在、交際中のパートナーはいますか。（回答は1つ）

- 1 いる
- 2 いない

【問8で「3（結婚していない）」と回答した方におたずねします。】

問10 あなたは、現在、結婚する予定がありますか。（回答は1つ）

- 1 結婚する予定がある → 問13へ
- 2 現在、予定はないが、将来は結婚したい
- 3 どちらかといえば結婚はしたくない
- 4 結婚するつもりはない
- 5 どちらともいえない・わからない

【問10で「2～5（結婚の予定がない）」と回答した方におたずねします。】

問11 あなたが結婚していない、又は結婚に消極的な理由は何ですか。あなたの気持ちに近いものを選んでください。（回答はあてはまるもの全て）

- 1 結婚するにはまだ若すぎるから
- 2 結婚したいと思う相手がいないから
- 3 結婚に向けて行動を起こすことがめんどうだから
- 4 結婚生活そのものが大変そうだから
- 5 経済的なゆとりがないから
- 6 結婚する必要性を感じないから
- 7 今は仕事や学業に集中したいから
- 8 今は趣味や娯楽を楽しみたいから
- 9 一人のほうが気が楽だから
- 10 異性とうまく付き合えないから
- 11 結婚後の住まいのめどが立たないから
- 12 親や周囲が結婚に同意しないから
- 13 その他（ ）

【問10で「2～5」（結婚の予定がない）と回答した方におたずねします。】

問12 あなたは、どのような状況になれば結婚すると思いますか。あなたの気持ちに近いものを選んでください。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 適当な年齢になること | 2 仕事や学業の負担が今よりも軽くなること |
| 3 経済的に余裕ができること | 4 相手と知り合う機会があること |
| 5 相手とうまく付き合えるようになること | 6 希望の条件を満たす相手に巡り会えること |
| 7 相手が結婚に同意すること | 8 親や周囲の人が結婚に同意すること |
| 9 安定した職業に就けること | 10 精神的に余裕ができること |
| 11 結婚生活のための住まいが確保できること | 12 その他（ ） |
| 13 特にない | |

問13 あなたは、結婚相手を決める際、どのような点を重視しますか。（重視しましたか。）あなたの気持ちに近いものを選んでください。現在、結婚を考えていない方もお答えください。（回答は3つまで）

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 相手の学歴 | 2 相手の職業 |
| 3 相手の収入などの経済力 | 4 相手の人柄 |
| 5 相手の容姿 | 6 物事に対する共通の価値観 |
| 7 フィーリング（感性）が合うこと | 8 共通の趣味の有無 |
| 9 自分の仕事に対する理解や協力の姿勢 | 10 家事や育児に対する姿勢 |
| 11 その他（ ） | 12 わからない |

問14 あなたは、結婚を希望する人に対して、行政はどのような支援に力を入れるべきだと思いますか。あなたの気持ちに近いものを選んでください。（回答は3つまで）

- | |
|---------------------------|
| 1 パーティー、イベントなど出会いの場や機会の提供 |
| 2 結婚に関する相談場所の設置 |
| 3 出会いや結婚に必要な情報の提供 |
| 4 若者に結婚を勧める啓発やイメージづくり |
| 5 夫婦共に働き続けることができる環境づくり |
| 6 安定した雇用環境づくり |
| 7 結婚資金や住まいに関する支援の充実 |
| 8 子育て支援の充実 |
| 9 家事や育児への男性の参加の促進 |
| 10 仕事と家庭を両立するための啓発活動の充実 |
| 11 その他（ ） |
| 12 特にない |

【仕事と子育てについてお尋ねします。】

問 15 あなたは現在、仕事をしていますか。（回答は1つ）

- 1 現在、仕事をしている※
- 2 以前は仕事をしていた
- 3 仕事をすることがない → 問 20 へ

※ 学生のアルバイトは除く。

【問 15 で「1～2（現在仕事をしている又はしていた）と回答した方におたずねします。】

問 16 あなたの一日の平均労働時間は、どれにあてはまりますか。（回答は1つ）

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1 3時間未満 | 2 3～5時間未満 | 3 5～7時間未満 |
| 4 7～9時間未満 | 5 9～11時間未満 | 6 11時間以上 |

【問 15 で「1～2（現在仕事をしている又はしていた）と回答した方におたずねします。】

問 17 あなたの職場は、子育てをする人にとって働きやすいと思いますか。（回答は1つ）

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 そう思う | 2 ややそう思う |
| 3 あまりそう思わない → 問 19 へ | 4 まったくそう思わない → 問 19 へ |

【問 17 で「1～2（働きやすいと思う）と回答した方におたずねします。】

問 18 働きやすいと思う理由は何ですか。あなたの気持ちに近いものを選んでください。
（回答はあてはまるもの全て）

- 1 子育てしながら働くことに上司や同僚の理解や協力があるから
- 2 日常的に労働時間が短いから
- 3 通勤時間が短いから
- 4 始業、就業時間に融通が効くから
- 5 顧客対応や長時間営業など営業時間の制約がないから
- 6 個人の業務量が適切だと思うから
- 7 有給休暇を取りやすいから
- 8 育児に関する休暇や休業を取りやすいから
- 9 育児休業等の支援制度の利用が昇進や昇給に影響がないから
- 10 転勤がないから
- 11 子どもの病気など急用のとき、職場で柔軟な対応ができるから
- 12 復職するとき配置の希望が通りやすいから
- 13 その他（ ）



次は問 20 へお進みください

【問17で「3～4（働きやすいと思わない）」と回答した方におたずねします。】

問19 働きやすいと思わない理由は何ですか。あなたの気持ちに近いものを選んでください。
（回答はあてはまるもの全て）

- 1 子育てしながら働くことに上司や同僚の理解や協力が得られないから
- 2 日常的に労働時間が長いから
- 3 通勤時間が長いから
- 4 始業、就業時間が固定的であるから
- 5 顧客対応や長時間営業など営業時間の制約があるから
- 6 個人の業務量が多いから
- 7 有給休暇を取りにくい雰囲気があるから
- 8 育児に関する休暇や休業を取りにくい雰囲気があるから
- 9 育児休業等の支援制度の利用が昇進や昇給に不利だから
- 10 転勤があるから
- 11 子どもの病気など急用のとき、職場で柔軟な対応ができないから
- 12 復職するとき配置の希望が通りにくいから
- 13 その他（ ）

問20 あなたは、子育てしながらでも働きやすい社会環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの気持ちに近いものを選んでください。（回答は3つまで）

- 1 残業を減らす、労働時間を短縮する
- 2 パートタイム労働者や派遣労働者の労働条件を向上させる
- 3 育児休業や介護休業などを誰もが利用しやすくする
- 4 出産や育児後の職場への復帰や再就職をしやすくする
- 5 保育や介護のサービスを充実させ、誰もが利用しやすくする
- 6 子育ての不安やストレスを解消し、楽しく子育てできる環境をつくる
- 7 家事や育児、介護などに性別にかかわらず協力して取り組む
- 8 配偶者（パートナー）や親など家族の理解と協力
- 9 勤務先の理解と協力
- 10 職場でのハラスメント（嫌がらせ）の防止
- 11 その他（ ）
- 12 わからない

【お子さんのことについてお尋ねします。】

問 21 あなたにはお子さんはいらっしゃいますか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1 子どもはいない | 2 ご自身又はパートナーが現在妊娠している |
| 3 未就学の子どもがいる | 4 小学生の子どもがいる |
| 5 中学生以上の子どもがいる | |

問 22 玉野市は、子育てしやすいまちだと思いますか。現在、お子さんがいない方もお答えください。
（回答は1つ）

- | |
|----------------------------|
| 1 子育てがしやすいまちだと思う |
| 2 どちらかといえば子育てがしやすいまちだと思う |
| 3 どちらかといえば子育てがしやすいまちだと思わない |
| 4 子育てがしやすいまちだと思わない |
| 5 わからない |

問 23 玉野市を子育てしやすいまちにするためには、どのような支援が必要だと思いますか。
（回答は5つまで）

- | |
|--|
| 1 親子でも出かけやすく安心して集まれる身近な場所を増やす |
| 2 親子で楽しめるイベントを開催する |
| 3 子育てで困ったときに相談や情報収集できる手段を増やす |
| 4 子どもの発育、発達に関して相談できる場を充実する |
| 5 乳幼児の保育サービスを充実する |
| 6 日曜など休日の保育サービスを充実する |
| 7 放課後児童クラブ等を充実する |
| 8 保育や教育にかかる経済的な負担を軽減する |
| 9 安心して子どもが医療機関にかかることができる体制を整備する |
| 10 企業に対して育児休業取得の促進や働き方改革など職場環境の改善を働き掛ける |
| 11 子育てについて学べる機会を充実する |
| 12 住まいに係る費用を補助する |
| 13 その他（ ） |
| 14 特にない・わからない |

【暮らしの状況についてお尋ねします。】

問 24 あなたはふだん、関心のある情報を、どのような方法で入手していますか。

(回答はあてはまるもの全て)

- 1 家族や友人、知人、学校や職場の人との会話
- 2 テレビやラジオ、新聞や雑誌
- 3 市の広報誌
- 4 スマートフォンなどのニュースサイトやアプリ
- 5 国や自治体、マスコミなどのWebサイト
- 6 その他のWebサイト
- 7 YouTube
- 8 TikTok
- 9 X (旧Twitter)
- 10 Instagram、スレッズ
- 11 Facebook
- 12 市の公式SNS
- 13 その他のSNS
- 14 その他 ()
- 15 特にな

問 25 あなたにとって「居心地の良い場所 (ほっとできる場所)」はどこですか。(回答は3つまで)

- | | |
|------------------|------------------------------|
| 1 自分の部屋 | 2 家庭 (実家や親族の家を含む) |
| 3 学校 (卒業した学校を含む) | 4 職場 (過去の職場を含む) |
| 5 図書館や公民館などの公共施設 | 6 カフェやファミリーレストランなどのお店 |
| 7 友人や仲間が集まる場所 | 8 インターネット空間 (SNSやオンラインゲームなど) |
| 9 その他 () | 10 特にな |

問 26 どのような場所であれば、あなたにとって「居心地の良い場所 (ほっとできる場所)」になると思いますか。(回答はあてはまるもの全て)

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 いつでも行きたいときに行ける場所 | 2 長い時間いることができる場所 |
| 3 ありのままでいることや本音を出せる場所 | 4 秘密を言える場所 |
| 5 悩みを相談できる場所 | 6 話の合う人や趣味が合う人に会える場所 |
| 7 上下関係が気にならない場所 | 8 干渉しすぎず手助けしてくれる大人がいる場所 |
| 9 静かな場所 | 10 にぎやかな場所 |
| 11好きなことをして自由に過ごせる場所 | 12 新しいことを学ぶことやチャレンジできる場所 |
| 13 一人で過ごせる場所 | 14 様々な人と出会える場所 |
| 15 自然が豊かで美しい場所 | 16 動物と会える場所 |
| 17 その他 () | 18 特にな |

問 27 あなたはふだん、どの程度外出しますか。あなたの行動に最も近いものを選んでください。
(回答は1つ)

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 | 仕事や学校などで週に3日以上は外出する → 問 29 へ |
| 2 | 仕事や学校などで、ときどき（週に3日未満）外出する → 問 29 へ |
| 3 | ふだんは家にいて、用事があるときだけ外出する → 問 29 へ |
| 4 | 自室からは出るが、ほとんど家からは出ない |
| 5 | 自室からほとんど出ない |

【問 27 で「4～5（ほとんど外出しない）」と回答した方におたずねします。】

問 28 あなたの外出状況が現在の状態となった理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | | | |
|---|----------------------|----|----------------|
| 1 | 在宅勤務のため | 2 | 退職したため |
| 3 | 妊娠したため | 4 | 病気の治療や療養のため |
| 5 | 人間関係がうまくいかなかったため | 6 | 学校になじめなかったため |
| 7 | 希望する進学先や就職先に進めなかったため | 8 | 仕事が自分に合わなかったため |
| 9 | その他（ | 10 | 特にない |

問 29 あなたは「自分は孤立している」と感じるがありますか。（回答は1つ）

- | | | | |
|---|--------------|---|-----------|
| 1 | 常に感じている | 2 | ときどき感じている |
| 3 | ほとんど感じることはない | 4 | まったく感じない |

問 30 あなたは、将来に不安を感じていることがありますか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | | | |
|----|-------------------------|----|--------------|
| 1 | 収入や生活費など経済的なこと | 2 | 勉強や進学のこと |
| 3 | 就職のこと | 4 | 仕事・業務のこと |
| 5 | 家族の生活や健康のこと | 6 | 自分の健康のこと |
| 7 | 恋愛や結婚のこと | 8 | 自分の生きがいのこと |
| 9 | 孤独、孤立していること | 10 | 友人などの人間関係のこと |
| 11 | 住まいのこと | 12 | 社会情勢・経済情勢のこと |
| 13 | 地球温暖化や地震、津波、土砂災害など災害のこと | 14 | その他（ |
| 15 | 特にない | | ） |

問 31 あなたは、不安や悩み、ストレスがあるとき誰に相談しますか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | | | |
|----|------------------------|----|-----------|
| 1 | 家族 | 2 | 親戚 |
| 3 | 友人 | 4 | 職場の人 |
| 5 | 学校の先生 | 6 | カウンセラー・医師 |
| 7 | 行政 | 8 | 専門相談機関 |
| 9 | SNSやインターネットの掲示板などで検索する | 10 | その他（ |
| 11 | 相談先がない（わからない） | 12 | 相談しない |

1 内容を知っている	2 言葉を聞いたことがある	3 知らない
------------	---------------	--------

ヤングケアラーとは「大人が行うと考えられている家事や家族の世話などを、心だん、子どもが行っていることで、まわりの子どもより遊ぶ時間や勉強する時間、寝る時間が少なくなる、学校に行けない、子ども自身がやりたいことができないなど、子どもの権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。

- 【 少子化についてお尋ねします。】

1 とても危機感を感じている 2 どちらかといえば危機感を感じている
3 どちらかといえば危機感を感じていない 4 危機感を感じていない
5 わからない

1	働く場所や雇用機会の創出	2	安全で快適な住環境の整備
3	子育てや教育環境の整備	4	生涯学習やスポーツ環境の充実
5	健康教室など健康づくりの充実	6	医療環境、福祉環境の充実
7	防災対策、防犯対策の充実	8	移住や定住に対する取組や支援の充実
9	空き家活用、空き家対策の充実	10	市に対する愛着度の醸成
11	観光産業の充実	12	下水道や道路などのインフラの整備
13	公共交通の充実	14	地域活動への支援や情報発信
15	娯楽、レジャー施設の整備	16	その他（ ）
17	特にない・わからない		

【 行政の取組についてお尋ねします。 】

問 36 あなたは、玉野市の行政やまちづくりについて、どのようなことに関心がありますか。

(回答はあてはまるもの全て)

- | | | | |
|----|--------------------|----|----------------|
| 1 | 少子化や人口の減少 | 2 | 子育ての環境や子育て支援 |
| 3 | 学校や大学などでの教育 | 4 | 高齢者支援や介護 |
| 5 | 障がいのある人への支援 | 6 | 文化、芸術、スポーツ |
| 7 | 健康づくりや生きがいづくり | 8 | 社会教育や生涯学習 |
| 9 | 就職に向けた支援や職場環境の整備 | 10 | 防災活動 |
| 11 | 防犯活動や交通事故防止 | 12 | ごみ処理や温暖化など環境問題 |
| 13 | 観光やまちのPR | 14 | 道路や交通機関の整備 |
| 15 | 商工業の活性化 | 16 | 農業の活性化 |
| 17 | 地域活動や地域のコミュニティの活性化 | 18 | 住環境の整備 |
| 19 | まちのデジタル化 | 20 | 行政や財政 |
| 21 | 人権や男女共同参画 | 22 | その他（ ） |
| 23 | 特になし | | |

問 37 あなたにとって、玉野市は暮らしやすいまちだと思いますか。「とても暮らしやすい」を 10 点、「暮らしにくい」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。（回答は 1 つ）

暮らしにくい ←————→ とても暮らしやすい										
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

問 38 あなたは、これからも玉野市に住み続けたいと思いますか。「住み続けたい」を 10 点、「住み続けたくない」を 0 点とすると、何点くらいになるとと思いますか。（回答は 1 つ）

住み続けたくない ←————→ 住み続けたい										
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

問 39 あなたは、今の暮らしを、どの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を 10 点、「幸せではない」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。（回答は 1 つ）

幸せではない ← → とても幸せ										
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

問 40 若者が暮らしやすいまちづくりに向けて、玉野市に対するご意見やご要望、アイデアなどがありましたら、自由にお書きください。

～ ご協力ありがとうございました。～

玉野市 若者の意識と生活に関するアンケート調査
報告書

発 行／令和7（2025）年9月
発 行 者／玉野市 健康福祉部 こどもみらい課
〒706-8510 岡山県玉野市宇野1丁目27番1号
電 話（0863）32-5554
メー ル kodomo@city.tamano.lg.jp
